

岡山県院内がん登録報告書

2018 年版



2021 年 3 月

発行：岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

写真提供：岡山県観光連盟

目 次

はじめに	3
岡山県院内がん登録の概況	4
2018 年岡山県院内がん登録集計対象等	5
参加施設（13 施設）・担当者	6
岡山大学病院	8
岡山済生会総合病院	11
岡山赤十字病院	14
岡山医療センター	17
倉敷中央病院	20
川崎医科大学附属病院	23
津山中央病院	26
金田病院	29
高梁中央病院	32
岡山労災病院	35
岡山市立市民病院	38
川崎医科大学総合医療センター	41
倉敷成人病センター	44
岡山県院内がん登録 全登録数・初回治療数 集計結果	48
胃	60
大腸	66
肝臓	72
肺	78
乳房	84
膵臓	90
子宮（頸部）	94
子宮（体部）	98
前立腺	102
血液腫瘍	106
小児・AYA 世代	112
希少がん	116
（奥付）	

はじめに

2018年版岡山県院内がん登録集計結果報告書を上梓いたします。本報告書は岡山県で多くのがん診療を担う国指定の“がん診療連携拠点病院”7施設と“地域がん診療病院”2施設、さらに岡山県指定の“がん診療連携推進病院”4施設において、2018年にこれらのがん拠点病院でがん診療を受けられた約21,000例の院内がん登録情報を集計したものです。隣接する県外から県内の拠点病院で診療を受けられた方が含まれる一方、県内でもこれらの拠点病院以外で診療を受けられた方と県外の拠点病院で診療を受けられた方が含まれておりませんが、比較可能な2016年のデータを参照すると、これら13の病院で岡山県のがん患者さんの7割強を診療しており、本報告書のデータは岡山県のがん患者さんの受療動向を概ね代表していると考えられます。昨年に引き続き、診断時の居住地ごとの受療動向を視覚化したデータを加えております。今後岡山県で必要ながん対策を検討する際の資料として役立つことを祈念いたしております。

また、国の第3期がん対策推進基本計画（平成30年）で目標として「がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する」ことが謳われています。現状でのサポートの不足から今後の取り組みの必要性が強調されているAYA世代（Adolescent and Young Adult、思春期・若年成人世代）、仕事とがん治療の両立の支援が必要な就業世代、データの乏しい希少がんについて注目した集計結果を昨年に引き続き収載いたしました。がんになっても自分らしく生きられる岡山県を目指す取り組みに資することができますと幸いです。

本報告書の作成にあたり、データ収集・クリーニングの実務を担って頂きました岡山県がん診療連携協議会・がん登録部会の皆様、報告書作成実務を担当して頂きました岡山大学病院がん登録室の皆様、多大な助言を賜りました岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野 頼藤貴志教授、市民の皆様へのメッセージを頂戴いたしました各がん拠点病院施設長の先生方に深謝申し上げます。

岡山大学病院腫瘍センター

センター長 田端 雅弘

岡山県院内がん登録の概況

【全体の動向】

2018 年の全登録数は 17,786 件、うち初回治療数は 14,107 件と、2017 年の全登録数 17,365 件より、421 件増加しています。

【初回治療：全体の動向】

部位別でみると、全体では大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、血液腫瘍の順に多く、男性では胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、血液腫瘍の順、女性では乳がん、大腸がん、肺がん、子宮がん（頸部）、胃がん、血液腫瘍の順と、順位が異なってきます。

年齢階級別にみると、70-74 歳の年齢階級でがんの初回治療数が最も多く、また初回治療数全体の 71.4% を 65 歳以上の登録数が占めており、高齢化に伴って今後もがん患者の増加が予想されます。

また、男性では、初回治療を受ける方は、全てのがんにおいて 70-79 歳の年齢階級で最も多くなります。一方、女性では、がんによりばらつきがあり、多くのがんでは 70-79 歳の年齢階級で初回治療を受ける方が多くなりますが、乳がんは 60-69 歳、子宮がん（頸部）は 30-39 歳、子宮がん（体部）は 50-59 歳、卵巣がんは 60-69 歳と、男性とは異なった発生分布を呈しており、それを考慮した予防や検診が必要になってくると思われます。

希少がん（表 4 に定義）は 1,058 件で全体の 7.5%、小児がん（15 歳未満）は 42 件で全体の 0.3% となっています。

二次保健医療圏別にみると、県南東部・県南西部保健医療圏で約 75% の登録があります。どの圏域でも、上位 4 種類のがん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳房がん）の 2 割から 2 割強程度が、がん検診・健康診断・人間ドックによって発見されています。

【初回治療：がん種別の動向】

30 頁からは、がんそれぞれの記述が紹介されています。

胃がんは、男女とも 70-74 歳で発見される方が最も多く、Ⅰ期に発見される患者が 65% を占めており、がん検診・健康診断・人間ドックで発見される割合は 20% となっています。

大腸がんは、男女により若干年齢階級別の発生数が異なりますが、男女とも 65-69 歳を境に発症数が急速に増加します。大腸がんでは、胃がんとは対照的に、Ⅲ期以上の進行がんで発見される割合が増え、早期発見・早期治療が大きな課題となっています。胃がんと同様に約 20% の患者が、がん検診・健康診断・人間ドックで発見されています。

肝臓がんは、男性では 70-74 歳に、女性では 80-84 歳に発見のピークがあります。全体の約 75% が他疾患経過観察中に偶然発見され、その 36% がⅡ期以上のがんであることから、肝機能障害を有するなどのハイリスク高齢者の一般診療においては、定期的な検査が望まれます。

肺がんは、男女とも 70-74 歳で発見される方が最も多くなっています。がん検診等で発見される患者の 71% が早期がん（Ⅰ期・Ⅱ期）で発見されていますが、有症状受診等では 74% がⅢ期以上の進行がんとなっています。

乳がんは40歳から急増し、65-69歳に発見のピークがあります。がん検診等で29%が発見されており、他のがんよりは多くなっています。全体の74%がⅠ期又はⅡ期で発見されていますが、有症状受診等では14%がⅢ期以上の進行がんとなっています。

膵臓がんは、男女とも60歳から急増し、発見時Ⅲ期以上の進行がんが半数以上を占め、早期発見が困難となっています。がん検診等で発見される患者は6%しかおらず、有症状受診等では63%がⅢ期以上の進行がんとなっています。

子宮がん（頸部）は、患者のほとんどが20歳代から50歳代となっています。がん検診等で発見される割合は、29%で他のがんよりは多く、その94%がⅠ期又はⅡ期での発見となっています。有症状受診等での発見では38%がⅡ期以上のがんとなっています。

子宮がん（体部）は、55-59歳で発見される方が最も多くなっています。Ⅰ期に発見される患者が74%を占めており、がん検診等で発見される割合は13%となっています。

前立腺がんは、70-74歳で発見される方が最も多くなっています。Ⅰ期に発見される患者が47%を占めており、がん検診等で発見される割合は27%となっています。

小児・AYA世代のがんとしては、20歳前半までは男女差はありませんが、20歳代後半より子宮がん（頸部）が増加するため、女性でがんの発見が多くなっています。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野

教授 頼藤 貴志

2018 年岡山県院内がん登録集計対象等

○参加施設（13 施設）

がん診療連携拠点病院（7 施設）

- ・岡山大学病院
- ・社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院
- ・総合病院 岡山赤十字病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター
- ・公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院
- ・一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

地域がん診療病院（2 施設）

- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・医療法人 清梁会 高梁中央病院

がん診療連携推進病院（4 施設）

- ・独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院
- ・地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
- ・一般財団法人 倉敷成人病センター

○集計対象期間は診断日が 2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日までの症例

○集計対象症例は「国際疾病分類－腫瘍学 第 3 版（ICD-O-3）」において性状コード 2（上皮性悪性腫瘍）もしくは性状コード 3（悪性腫瘍）の症例（例外として脳・中枢神経系腫瘍の性状コード 0（良性）と性状コード 1（良悪性の別不詳）の症例と胃腸間質腫瘍（GIST）の性状コード 0（良性）と性状コード 1（良悪性の別不詳）の症例、一部の卵巣腫瘍の性状コード 1 の症例）

○UICC「TNM 悪性腫瘍分類 第 8 版」を適用

UICC 病期分類が存在しない部位や取り扱われない組織型のステージは「該当せず」で登録

○施設における対象症例は入院・外来を問わず自施設における新規初回症例もしくは初診症例で、初発・再発例ともに含まれるが、登録済みの症例について経過観察中に再発を来した症例は登録対象とはならない

○原則、1 腫瘍 1 登録、多重がんの判断は国立がんセンターの登録ルールに基づき登録

○同一患者が複数の施設を受診し、それぞれの施設で重複登録された症例では集計参加施設のがん診療情報を明らかにするため名寄せは行わず、各施設で計上

○小児がんについては、診断時年齢 15 歳未満、AYA 世代については 15 歳から 39 歳に発生した上記条件の悪性および良性の新生物で集計

○希少がんについては、我が国において明確な定義はなく、本報告書ではヨーロッパの定義をもとに 56 ページにあげられている症例を集計

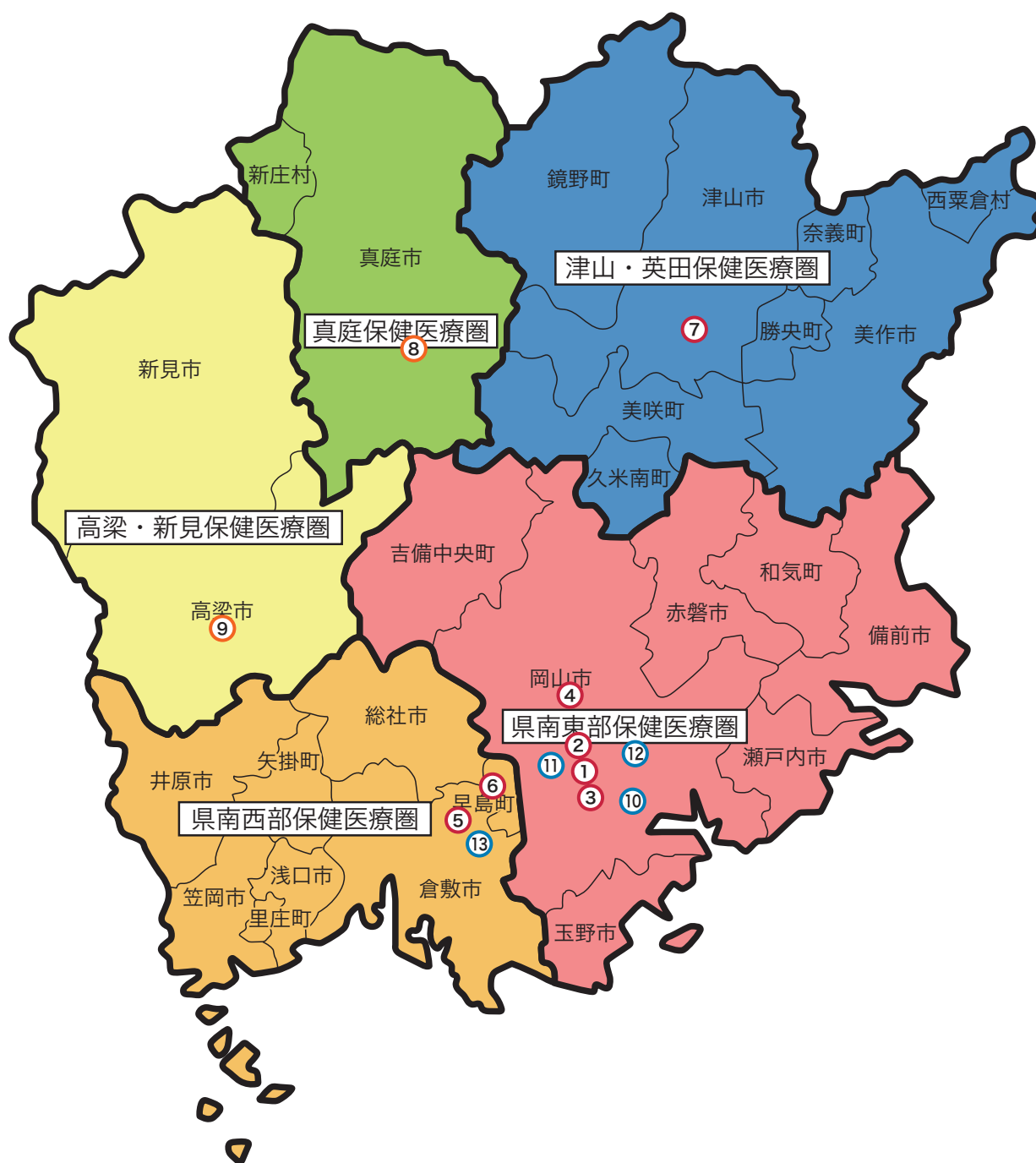
○表の中で 10 未満の数値については「1～3、4～6、7～9」で表記

参考

国立がん研究センター がん情報サービス

http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html

参加施設（13 施設）・担当者



地域がん診療病院（2 施設）

- ⑧ 社会医療法人 緑社会 金田病院**
 海野正俊 田澤利政 長田寛子 高田真奈美
- ⑨ 医療法人 清梁会 高梁中央病院**
 滝澤宏和

がん診療連携拠点病院（7施設）

① 岡山大学病院

田端雅弘 郷原英夫 頼冠名 瀬浪尚子 上原亜希 大塚理可 杉野理紗子
中島直美 大木康佑 中谷正美 貝原沙紀

② 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院

赤在義浩 塩出純二 高畑隆臣 多田京子 藤田純子 近藤裕香

③ 岡山赤十字病院

藤井総一郎 別所昭宏 小田美恵 田中裕子

④ 独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター

米井敏郎 藤原慶一 倭ゆかり 戸村悦子

⑤ 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

河本和幸 岡部道雄 山部幸子 長久倫子 成友麻紀 木村郁美
白根澤沙由里 諸上加代子 高木春奈

⑥ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院

中田昌男 日野啓輔 山口佳之 湯浅加奈子 小西和子 浅雄真由美
白川愛未

⑦ 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

林同輔 宮島孝直 野中泰幸 富岡貴美男 出原雄太 小西祐太

がん診療連携推進病院（4施設）

⑩ 独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院

古澤卓也 原修宙 佐田野夏生

⑪ 地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

西村守 佃和憲 山本和彦 田尾友哉

⑫ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター

岸野由紀子

⑬ 一般財団法人 倉敷成人病センター

松本なみ 瀬戸渚

岡山大学病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山大学病院
所 在 地	〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
電話（代表）	086-223-7151
ホームページ	https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/
交通アクセス	岡山駅より車で5～10分、バスで約10分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※1	総合内科・総合診療科、消化器内科、血液・腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、脳神経内科、感染症内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、心臓血管外科、小児外科、小児心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科神経科、脳神経外科、麻酔科蘇生科、小児科、小児循環器科、小児神経科、小児血液・腫瘍科、小児麻酔科、小児放射線科、小児心身医療科、産科婦人科、放射線科、救命救急科、病理診断科、緩和支援医療科、臨床遺伝子診療科、総合歯科、むし歯科、歯周科、クラウンブリッジ補綴科、咬合・義歯補綴科、口腔外科（再建系）、口腔外科（病態系）、歯科放射線・口腔診断科、歯科麻酔科、矯正歯科、予防歯科、小児歯科 合計 50 診療科		
病 床 数※1	855 床	平均在院日数※2	11.3 日
入院患者のべ数※3	225,561 人	外来患者のべ数※4	619,928 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 5 名（中級者 2 名、初級者 2 名）		

※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数（24時時点）

※4 初再診合わせた患者延数



1870

OKAYAMA
UNIVERSITY
HOSPITAL





岡山大学病院 病院長

金 澤 右

1. がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山大学病院は平成 18 年 8 月に厚生労働大臣より岡山県の「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定され、地域における質の高いがん医療体制の整備、地域医療機関との診療連携の推進、がん患者と家族に対する相談支援及び情報提供に取り組んでまいりました。

岡山大学病院では患者さんやご家族としっかりと向き合い、職員同士心をつなぎ、そして、地域につながり、さらに世界に私たちの医療を広げること「向きあう (Facing your face)、つながる (facing community)、広がる (facing the world)」をモットーとしております。

加えて、岡山大学病院の診療にとって大事なことは、「思いやりの心 (hospitality)、高い質 (quality)、絶え間ない持続性 (sustainability)」だと考えております。

まず、私たちが何よりも大事にしないといけないのが患者さんやご家族への思いやりであり、できる限り心穏やかな医療環境を皆様に提供したいと思います (hospitality)。

また、私たちは我が国のリーディングホスピタルのひとつとして、高度医療を提供し、多くの優れた医療人材を輩出し、臨床研究に力を注いでいます。

結果として、現在、臨床研究、橋渡し研究、ゲノム医療などで国から中国四国地方唯一の中核拠点として認められております (quality)。

そして、1870 年に岡山の地に創設された本院の歴史は、途切れることなく、2020 年には創設 150 周年を迎えました (sustainability)。

2. がん診療・治療の特徴

本院は臓器移植、小児心臓外科、幹細胞移植などの高度先進医療の推進、遺伝子細胞治療などの先端的治療の開発において、全国でもっとも進んだ施設です。今後も新しい医療の開発を続け、他の施設ではみられない先進的な医療を創造し、実践して参りたいと存じます。そのために、本院ではさまざまなセンターを立ち上げております。腫瘍センター、乳がん治療・再建センター、頭頸部癌センター、臓器移植医療センター、ゲノム医療総合推進センターを始めとする大学病院のユニークな診療科連携を活かした集学的チーム治療を提供するとともに、サルコーマセンター、メラノーマセンター、小児医療センターでは希少がんに対しても大学病院ならではの特性を活かした、わかりやすく高度な医療を提供したいと存じます。

3. 今後の課題と展望

岡山大学病院はがんの個別化医療、遺伝子細胞治療、臓器・幹細胞移植などの高度先進医療を進めるとともに、がんゲノム医療を担う専門医療人の育成に努めます。さらに、中国四国地方で唯一の厚生労働省の臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院として、日本発の革新的な医薬品・医療機器等及び医療技術の開発を創出する体制の構築を目指します。

具体的な取り組みとしては、新たながん遺伝子パネル検査に関する厚生労働省・先進医療技術【先進医療 B】研究として、「国内完結型個別化医療に向けたマルチプレックス遺伝子パネル検査研究」が厚生労働省より承認され、2020 年 12 月 1 日より、岡山大学病院が全国で初めて実施することになりました。

これまで、がん遺伝子パネル検査は 2 種類ありましたが、がんの種類によっては十分な遺伝子が調べられないこともありました。今回承認された検査では、対象となる遺伝子の数がこれまでより多くなり、内科的・外科的治療の対象がなくなった患者さんにとっても治療薬や治療法が見つかる可能性が高くなることが期待されます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

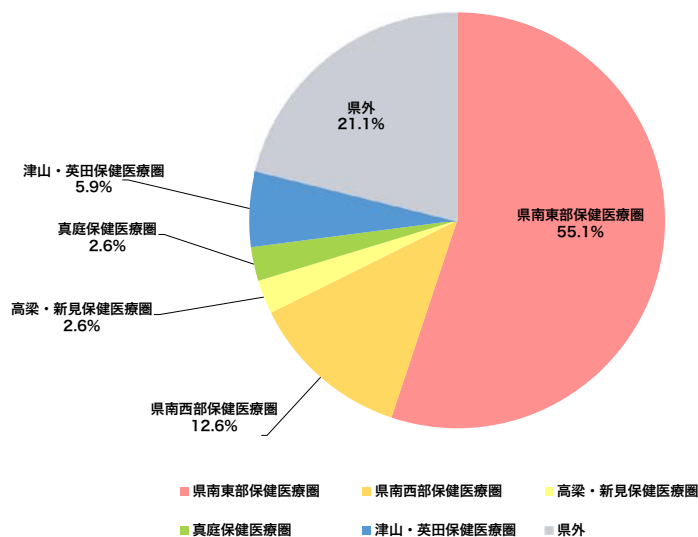
医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,884	55.1%	岡山市北区	517
			岡山市中区	342
			岡山市南区	305
			岡山市東区	254
			玉野市	142
			備前市	91
			瀬戸内市	100
			赤磐市	106
			和気郡和気町	17
			加賀郡吉備中央町	10
県南西部保健医療圏	429	12.6%	倉敷市	272
			笠岡市	39
			井原市	15
			総社市	40
			浅口市	28
			都窪郡早島町	11
			浅口郡里庄町	14
			小田郡矢掛町	10
高梁・新見保健医療圏	90	2.6%	高梁市	41
			新見市	49
真庭保健医療圏	90	2.6%	真庭市	88
			真庭郡新庄村	1～3
津山・英田保健医療圏	203	5.9%	津山市	116
			美作市	39
			苫田郡鏡野町	10
			勝田郡勝央町	10
			勝田郡奈義町	4～6
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1～3
			久米郡美咲町	20
県外	722	21.1%		722
			合計	3,418

担当医療圏

担当医療圏
岡山県全域

県内患者住所の割合
78.9%

県外患者住所の割合
21.1%



岡山済生会総合病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山済生会総合病院
所 在 地	〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町2番25号
電話（代表）	086-252-2211
ホームページ	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/
交通アクセス	岡山駅（運動公園口）より北に徒歩9分、岡山インターチェンジより国道53号を岡山方面へ約15分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科 ^{※1}	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、食道外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、美容外科、心療内科、精神科、神経内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科 合計 35 診療科		
病 床 数 ^{※1}	473 床	平均在院日数 ^{※2}	10.0 日 (緩和ケア内科除く)
入院患者のべ数 ^{※3}	135,770 人	外来患者のべ数 ^{※4}	38,113 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) ^{※1}	実務者2名（中級者1名 初級者1名）		

※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数（24時時点）

※4 初再診合わせた患者延数



岡山済生会総合病院
OKAYAMA SAISEIKAI GENERAL HOSPITAL





岡山済生会総合病院 院長

塩 出 純 二

岡山済生会総合病院（以下、当院）は35の診療科を備えた急性期病院で、2002年に県下で初めて「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。当院のがん診療に関する特徴は、関連の2カ所の健診センターにおけるがんの早期発見、チーム医療によるがんの診断・治療、そして緩和医療の提供と、一貫した体制を構築しているところです。チーム医療は、がんの種類によって病理診断科を含む複数の診療科による合同カンファレンスを行い、治療方針を決めています。がん化学療法センターや放射線治療センターも複数の専門医によって運営しています。

緩和医療では、1998年に中四国の総合病院として初めて緩和ケア病棟を設置し、緩和医療の積極的な推進と在宅支援を行っています。がん患者・家族のこころの悩みに対しては、がん患者の交流や正しい知識を得るための場所としてがんサロンを開催しています。さらに、亡くなった後も遺族会を開催しケアしています。

当院は2016年1月に国体町に新築移転した際に、外来部門を旧病院に残し、救急医療と入院医療に特化した病院になりました。2018年9月に旧病院を改装し、80床を新病院から移設して地域包括ケア病棟として運用開始、旧病院の名称を岡山済生会外来センター病院（以下、外来センター病院）に変更しました。この病床機能の転換により、当院の急性期病床は553床から473床に削減となりました。外来部門については、当院は救急、がん化学療法、内視鏡、放射線に限定しており、一般外来は外来センター病院で行っています。がん診療としては2病院の各々の機能を活かし一体的に行っていますが、「地域がん診療連携拠点病院」の指定は当院1施設だけです。がん登録件数には外来センター病院のみで行った件数は含まれていません。

2018年の院内がん登録は1526件で前年より13.6%増加しました。男性が56.9%とやや多いのは前年と同様です。部位別登録件数では、大腸、胃、乳房、肝、膵、子宮頸部が10%以上増加しています。年齢別に見ると大腸、胃、膵は高齢者が増加し、乳房は50 - 69歳が増加しています。

今後の課題として、がん発症のハイリスク因子を考えた効率的な健診での拾い上げと確実な精密検査で早期発見し、治療成績の向上を目指す必要があります。治療においては、ロボット手術などの低侵襲手術の普及やゲノム医療などの個別化医療を推進していく必要があります。当院のロボット手術は2019年10月直腸がんで開始し、2020年は前立腺、膵臓と広げています。今後さらに拡大していく予定です。また、新規の治療薬の導入により、治療を受けながら働くことができるようになってきており、治療と仕事を両立させる就労支援もこれからの課題と考えています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,368	89.6%	岡山市北区	633
			岡山市中区	246
			岡山市南区	49
			岡山市東区	168
			玉野市	18
			備前市	65
			瀬戸内市	42
			赤磐市	90
			和気郡和気町	35
			加賀郡吉備中央町	22
県南西部保健医療圏	47	3.1%	倉敷市	21
			笠岡市	4~6
			井原市	1~3
			総社市	18
			浅口市	0
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	30	2.0%	高梁市	10
			新見市	20
真庭保健医療圏	16	1.0%	真庭市	16
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	48	3.1%	津山市	22
			美作市	11
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	7~9
			久米郡美咲町	4~6
県外	17	1.1%		17
			合計	1,526

担当医療圏

担当医療圏

県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

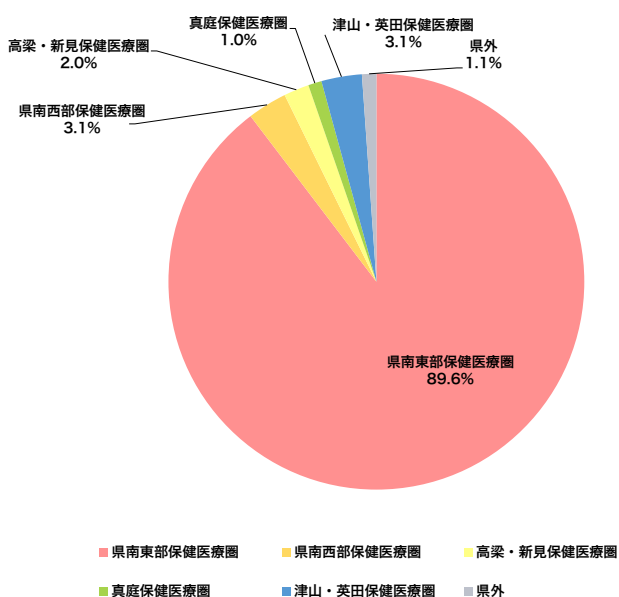
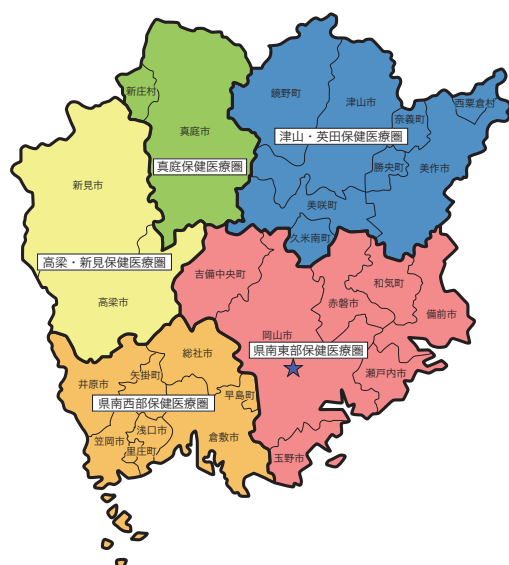
89.6%

県内担当医療圏外の割合

9.2%

県外患者住所の割合

1.1%



岡山赤十字病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山赤十字病院
所 在 地	〒700-8607 岡山県岡山市北区青江2-1-1
電話（代表）	086-222-8811
ホームページ	https://www.okayama-med.jrc.or.jp/
交通アクセス	岡山駅より車で約15分、バスで約20分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科 ^{※1}	総合内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、緩和ケア科、膠原病・リウマチ内科、脳卒中科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、脳血管内治療外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、形成外科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック科、歯科、救急科、病理診断科 合計36診療科		
病 床 数 ^{※1}	500 床	平均在院日数 ^{※2}	10.6 日
入院患者のべ数 ^{※3}	140,186 人	外来患者のべ数 ^{※4}	282,469 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) ^{※1}	実務者5名（中級者1名 初級者4名）		

※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延数





岡山赤十字病院 院長

辻 尚 志

がん診療拠点病院としての基本方針

岡山赤十字病院は、全国に91か所ある日本赤十字社グループ病院のうちのひとつです。

基幹災害拠点病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院という3本柱に加え、患者さんのニーズに合わせて、さまざまな疾患・症状に対応できるよう、36の診療科を構えて病院機能の充実を図っています。また、全職員が優良な医療人となるべく、人材育成にも力を注いでいます。

さらに、がん検診にも力を入れており、早期発見・早期治療を目標にしていますが、進行がんの患者さんに対しても、寄り添い、患者さんにとってのベストな治療を提供することを心がけています。

これからも、「信頼され親しまれる病院に」をモットーに、地域の『マザーホスピタル』として愛と心が通う医療を提供していきます。

がん診療・治療の特徴

●患者さんの治療も生活も支援できる体制づくり

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がん診療においても高度な医療の提供に努めています。

遺伝子検査を含めた正確な組織診断とエビデンスに基づいて、質が高く、そして個々の患者さんに合った最適な治療を行っています。現在、がんゲノム医療中核拠点病院と連携してがん遺伝子の情報に基づいた一人ひとりの患者さんにふさわしいがん治療が出来るよう、「がんゲノム医療連携病院」としての申請も行っています。

また、手術においては、体への負担が少ない鏡視下手術を積極的に行っており、ご高齢の方でも手術を受けることが可能です。合併症などの対応が難しい症例に対しても、36診療科の総合力で、必要に応じた積極的な治療を実施しています。

2015年に立ち上げた外来化学療法室では、患者さんが家庭や社会生活を維持しながら、QOLを損なうことなく治療に専念できる環境を整え、年間延べ件数4000件以上の治療を行っています。また同年新設の放射線治療室ではリニアックも導入し、常勤の放射線治療医が、強度変調放射線治療（IMRT）、体幹部定位放射線治療（SBRT）なども実施し、約4000件の入院治療と、約2500件の外来治療を行っています。

2014年開設の独立型緩和ケア病棟では、緩和ケア専任の医師を中心に、看護師や薬剤師、栄養士やソーシャルワーカーなど、多職種で患者さんのサポートを行っています。がんの進行によって生じる体のつらさ、気持ちのつらさを和らげ、生きることを考える治療とケアを提供しています。また、地域の開業医との連携を大事に考え、病院と家の行き来ができる関係を作っており、体調がづらい時には入院し、病状が落ち着いたら家に帰り、その時々体調に適した生活の場を一緒に考えていきます。暮らしやすい場所でその人らしく生きることを大事にして、地域住民のよりよい生活を支えていくことを使命と考えています。

また新型コロナウイルス感染症対応のために、緩和ケア病棟の一部をしっかりとゾーニングし、軽症の患者受け入れ病棟として独立させ対応しておりますので、しばらくの間患者さんや先生方にご迷惑をおかけしております事を改めましてお詫び申し上げます。

そのほかにも、患者さんやご家族が利用できる「がん相談支援センター」、「がん専用図書室」を設置するなど、がん診療だけでなく、がん患者さんの生活も支援できる体制を整えています。

今後の課題と展望

がんで命を落とす人を少しでも減らすために、またウィズコロナ時代でも患者さんの不安が増すことのないようしっかりとコロナ対策に加えて、がん検診体制のさらなる充実と、住民への啓発活動を継続し、有効な新規治療も積極的に取り入れていきます。そして、仮にがんに罹患したとしても治療と仕事の両立に向けた支援をすべく、就労を含む療養環境の調整などに係る窓口の充実も重要と考えます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,142	94.1%	岡山市北区	199
			岡山市中区	109
			岡山市南区	371
			岡山市東区	146
			玉野市	176
			備前市	35
			瀬戸内市	92
			赤磐市	7~9
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	19	1.6%	倉敷市	16
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	7~9	0.6%	高梁市	4~6
			新見市	1~3
真庭保健医療圏	4~6	0.5%	真庭市	4~6
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	11	0.9%	津山市	7~9
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	28	2.3%		28
			合計	1,213

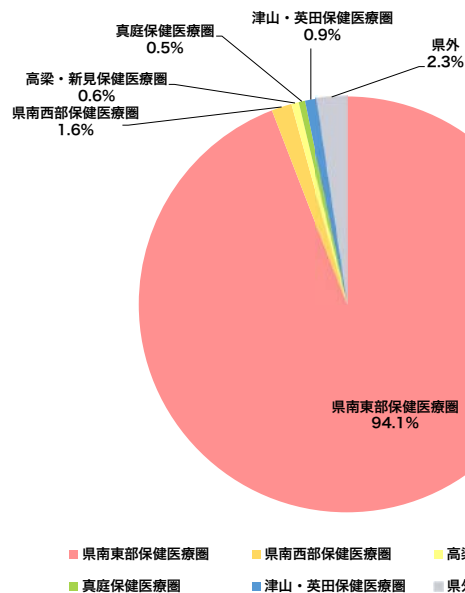
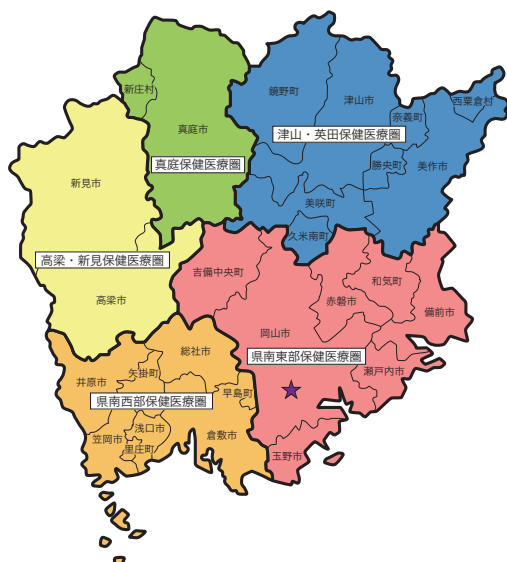
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
94.1%

県内担当医療圏外の割合
3.6%

県外患者住所の割合
2.3%



岡山医療センター

基 本 情 報	
病 院 名	岡山医療センター
所 在 地	〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1
電話（代表）	086-294-9911
ホームページ	https://okayama.hosp.go.jp
交通アクセス	バスの場合、岡山駅より約 25 分 車の場合、山陽自動車道 岡山インターより約 2 分

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、感染症内科、救急科、リウマチ科、小児神経内科 合計 33 診療科		
病 床 数※1	609 床	平均在院日数※2	11.2 日
入院患者のべ数※3	178,236 人	外来患者のべ数※4	184,140 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 2 名（中級者 1 名 初級者 1 名）		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延数



岡山医療センター 院長

久保俊英



岡山医療センターは県南東部及び北部真庭保健医療圏の医療を支える、全 33 診療科を有する総合病院です。平成 20 年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、がん診療の均霑化を目標に地域におけるがん診療連携体制の構築、相談支援及び情報提供等に取り組んでいます。

当院では、がん専門医が多種多様な「がん」に対して先進的で高度な診療に取り組んでいるのはもちろんです。例えば、呼吸器内科では悪性腫瘍に対する呼吸器インターベンションを積極的に行っており、がんによる気道狭窄に対するインターベンションとして、硬性鏡や気管支鏡を用いた「ステント」治療も積極的に行っています。消化器外科では腹腔鏡下手術がほぼ応用されるようになっており、3D 内視鏡システムによるハイレベルの手術手技を行っています。また、消化器内科とタイアップして難治の進行膵臓がんに対する術前化学療法の導入にも取り組んでいます。更に、皮膚科ではセンチネルリンパ節生検が可能です。

しかし、当院におけるがん診療の一番の特徴は、「がん診療を総合的に支える」の一言に尽きます。がん患者さんはがんを患っているだけではなく、多くの場合循環器疾患や糖尿病など、その他の様々な疾患を併せて抱えています。そうした患者さんへのがん診療においては、専門的ながん診療だけでなく、様々な疾患を診療できる医療機関としての総合力が求められます。上記しましたように、当院は全 33 診療科を有する総合病院であり、総合病院の特長を生かして、各専門家が多種多様ながんに対して診療・治療を行うのはもちろん、がんの状態に応じて複数の診療科が協力してがん診療・治療を行う万全の体制が整っています。さらには、がんに関連した身体的苦痛や精神的苦痛などの緩和を担い、がん患者さんに対してトータルな診療を提供できるように努めている「緩和ケアチーム」が各診療科を横断して活動しており、また、一般的ながんに関する相談については「がん相談支援センター」を設置して、がん患者さんやご家族の方々の不安・悩みや、提供可能な地域医療連携施設の紹介などに対応しています。さらに、がん患者さんやその家族などが集まり、交流や情報交換をする場であるがんサロンとして、当院で診療を受けておられるがん患者さんとそのご家族を対象とした「ほのほのサロン」、同じ病気を体験したがん患者さんやそのご家族などが、『仲間＝ピア』として『体験を共有し、ともに考える』ことで、がん患者さんやそのご家族などを支援していくピアサポートも開設して、少しでもがん患者さんやそのご家族の不安感や孤独感など様々な思いが和らげられるよう努めています。

令和 2 年には岡山大学病院の協力病院として、がんゲノム医療連携病院の指定を受けましたので、今後も一層先進的ながん診療に取り組むつつも、当院の理念である「今、あなたに、信頼される病院」をモットーに全人的な診療に力を注いでいきたいと思っています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	748	66.3%	岡山市北区	354
			岡山市中区	61
			岡山市南区	20
			岡山市東区	41
			玉野市	7~9
			備前市	41
			瀬戸内市	19
			赤磐市	92
			和気郡和気町	50
			加賀郡吉備中央町	63
県南西部保健医療圏	44	3.9%	倉敷市	24
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	12
			浅口市	4~6
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	40	3.5%	高梁市	21
			新見市	19
真庭保健医療圏	88	7.8%	真庭市	86
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	158	14.0%	津山市	83
			美作市	22
			苫田郡鏡野町	12
			勝田郡勝央町	7~9
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	13
			久米郡美咲町	21
県外	50	4.4%		50
			合計	1,128

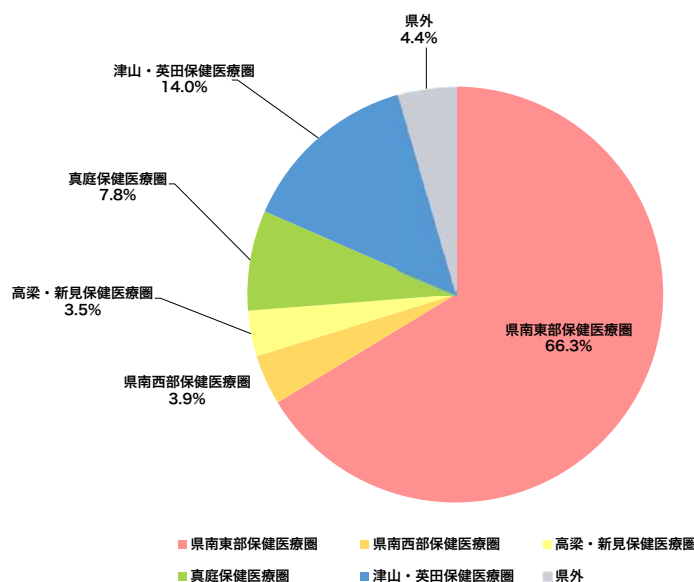
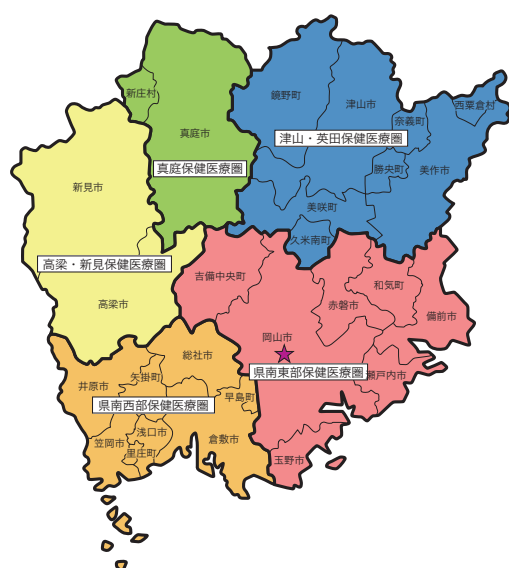
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
66.3%

県内担当医療圏外の割合
29.2%

県外患者住所の割合
4.4%



倉敷中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
所 在 地	〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1
電話（代表）	086-422-0210
ホームページ	https://www.kchnet.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩10分、山陽自動車道倉敷ICより車で10分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、脳神経内科、リハビリテーション科、美容外科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、リウマチ科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア外科、臨床検査科、病理診断科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、頭頸部外科、腫瘍内科 合計 42 診療科		
病 床 数※1	1,172 床	平均在院日数※2	11.9 日
入院患者のべ数※3	352,581 人	外来患者のべ数※4	670,889 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 5 名（中級者 4 名 初級者 0 名）		

※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延数



倉敷中央病院
Kurashiki Central Hospital





倉敷中央病院 院長

山形 専

倉敷中央病院は、倉敷紡績社長・大原孫三郎によって、大正12年に設立されました。キリスト教的人道主義の影響を受けた大原は、社会貢献を重大な使命と考え、最新・最高の医療を地域に提供するという理念のもとに当院を設立しました。そうした大原の精神は、「患者本位の医療」「全人医療」「高度先進医療」の3つの基本理念として現在も引き継がれています。

当院は、国際的な医療機能評価（JCI）をはじめ、日本医療機能評価、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、エイズ治療拠点病院、臨床研修指定病院、救命救急センターなどの認定を得て、質の高い医療の提供に努めています。

当院は、岡山県の地域がん診療連携拠点病院です。全国どこでも、「質の高いがん医療」を受けられる社会を目指して、都道府県による推薦をもとに、厚生労働大臣が指定した病院であり、がんに関する診療体制や設備、情報提供、他の医療機関との連携などについて国が定めた基準を満たしています。また、オンコロジーセンターを組織して、専門的な知識やスキルをもった多職種で構成される「ボーダレス医療チーム」が治療やケアに参加し、診療科や部門の隔てなく全人医療を提供しています。院外の関係医療機関等とも連携を取りながら様々な活動を行っています。

2019年4月にはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院と連携して、がんゲノム医療を提供できる体制づくりを進めています。希少がん、標準的な治療終了後のがん患者さんに有望な治療薬を探索するとともに、臨床試験や治験への橋渡しも行っています。

がん登録においては、登録数3,721件と中四国地方の医療機関の中ではトップの登録数です。当院の院内がん登録は、国立がん研究センターがん情報対策センター主催の研修会を受講し、認定試験に合格した専任の診療情報管理士が登録業務を行っています。がん登録で得られる情報は、国のがん対策の基礎となる資料であり、当院のがん診療の実態を把握し、更なるがん診療を提供し、そして患者さんやご家族へ情報提供による支援を図ることを目的として、活用していただきたい貴重な資料となっています。

今年は新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、がん検診を受ける人が大きく減少していますが、こうした状況で心配されているのは、がんのリスクが上がることです。当院では、安全で質の高い医療を提供するとともに、患者さんやご家族が、安心してがん治療を受け、心からご満足していただけるよう、職員一同一丸となって努力してまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	201	5.4%	岡山市北区	60
			岡山市中区	7~9
			岡山市南区	80
			岡山市東区	1~3
			玉野市	27
			備前市	1~3
			瀬戸内市	4~6
			赤磐市	4~6
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	11
県南西部保健医療圏	3,136	84.3%	倉敷市	2,251
			笠岡市	159
			井原市	70
			総社市	328
			浅口市	153
			都窪郡早島町	45
			浅口郡里庄町	58
			小田郡矢掛町	72
高梁・新見保健医療圏	199	5.3%	高梁市	136
			新見市	63
真庭保健医療圏	14	0.4%	真庭市	13
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	12	0.3%	津山市	7~9
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	159	4.3%		159
			合計	3,721

担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

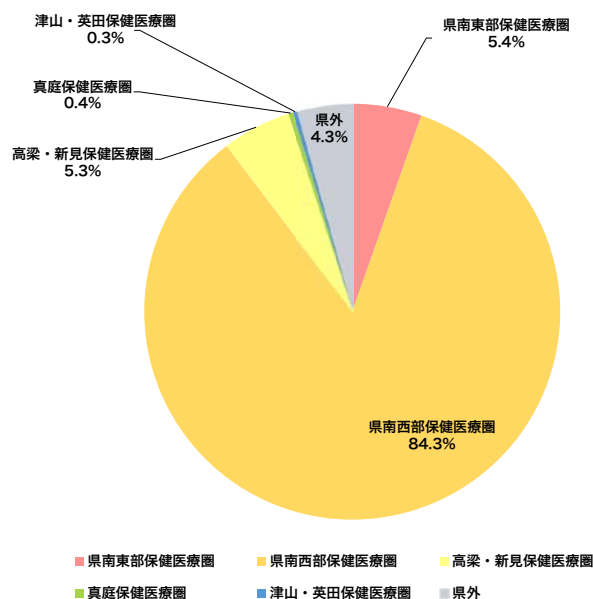
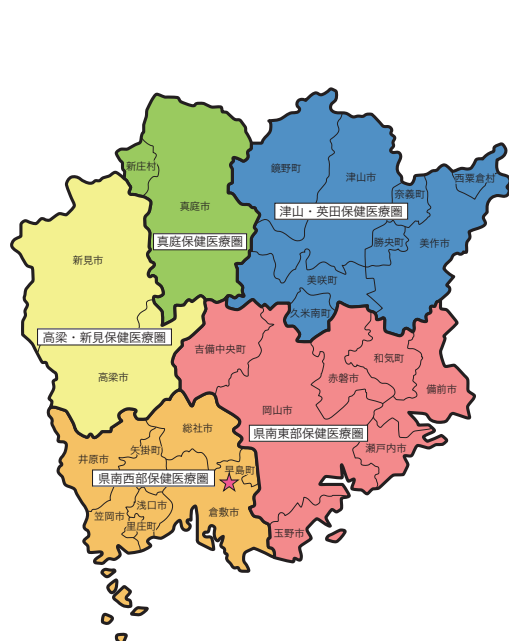
84.3%

県内担当医療圏外の割合

11.4%

県外患者住所の割合

4.3%



川崎医科大学附属病院

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学附属病院
所 在 地	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
電話（代表）	086-462-1111
ホームページ	https://h.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	JR 山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩 10 分

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	総合診療科、救急科、臨床腫瘍科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、脳卒中科、脳神経外科、心療科、小児科、新生児科、小児外科、産婦人科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、リウマチ・膠原病科、整形外科、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、食道・胃腸内科、肝・胆・膵内科、消化器外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、麻酔・集中治療科、放射線科（画像診断）、放射線科（治療）、放射線科（核医学診療）、健康診断センター 合計 36 診療科		
病 床 数※1	1,182 床	平均在院日数※2	13.0 日
入院患者のべ数※3	227,953 人	外来患者のべ数※4	445,132 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 4 名（中級者 3 名 初級者 1 名）		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延数





川崎医科大学附属病院 病院長

園 尾 博 司

超高齢社会を迎えている我が国ではがんの罹患・死亡が年々増加の一途を辿っており、男女とも2人に1人が罹患し、亡くなる人の3割を占める国民病となっています。2016年に成立したがん登録推進法により全国の病院のがん登録が義務化され、各自治体のがんの実態が分かるようになりました。

この度、岡山県の地域がん診療連携拠点病院等の13病院のがん登録2018年版が刊行され、各病院はもとより岡山県全体のがん対策を検討・改善していく上で大変貴重な資料であると思っています。

今年は全世界で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、我が国でもその対策に追われています。この感染症が、がん患者の受診の遅れや感染死亡を引き起こすことを危惧しております。

当院におけるがん診療・治療

当院が所属する川崎学園は2020年に創設50周年を迎えました。「医療は患者のためにある」という病院の基本理念を開設以来、継承し、がんを含むすべての疾患に対して多職種が一体となったチーム医療を展開し、安心・安全な医療を心がけています。当院は、2008年に地域がん診療連携拠点病院に指定されており、すべての領域のがん診療に対応できる体制を整備しています。各科が臓器別編成されており、各科の垣根が低く、がん診療においても良好な協力体制を取れるのが特徴です。2017年にはロボット支援手術を導入し、前立腺、腎、直腸、子宮癌に実施しており、2018年にはがんゲノム医療連携病院、遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹病院に指定され、遺伝子情報に基づいた医療にも対応しております。また、同年に県南西部では唯一の「緩和ケア病棟」を開設し、がん患者のQOL向上に努めています。

当院のがん登録

当院のがん登録件数は、2015年1,552件、その後年々増加し、2018年は1,792件でありました。また、2018年の医療圏別登録数は、当院の存在する県南西部からの患者割合が55.1%と最も多く、県南東部16.7%、県北部3医療圏は15.3%、県外12.8%の順でありました。すなわち医療施設の少ない県北や近隣の広島県・香川県からも幅広く来院患者があります。また、他院からの紹介患者が全体の61.3%を占めていました。一方、当院のがん登録件数は多い順に、乳癌、大腸癌、胃癌、肺癌、血液腫瘍の順であり、乳癌と血液腫瘍が多いのが特徴のひとつです。

今後の課題

県民が一体となって新型コロナウイルス感染症を克服し、検診受診率の向上を図り、がん患者の命を守ることが喫緊の課題です。また、充実した医療施設の少ない県北のがん医療が今後の課題であると思います。当院は地域に多くの医師を派遣していますが、がん診療についても地域の医療機関とさらなる連携強化を図り、がん患者の早期退院と診療連携を目指す所存です。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	299	16.7%	岡山市北区	144
			岡山市中区	26
			岡山市南区	62
			岡山市東区	11
			玉野市	23
			備前市	7~9
			瀬戸内市	4~6
			赤磐市	7~9
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	7~9
県南西部保健医療圏	988	55.1%	倉敷市	641
			笠岡市	66
			井原市	30
			総社市	125
			浅口市	62
			都窪郡早島町	34
			浅口郡里庄町	15
			小田郡矢掛町	15
高梁・新見保健医療圏	154	8.6%	高梁市	58
			新見市	96
真庭保健医療圏	58	3.2%	真庭市	58
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	63	3.5%	津山市	33
			美作市	12
			苫田郡鏡野町	4~6
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	7~9
県外	230	12.8%		230
			合計	1,792

担当医療圏

担当医療圏

県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

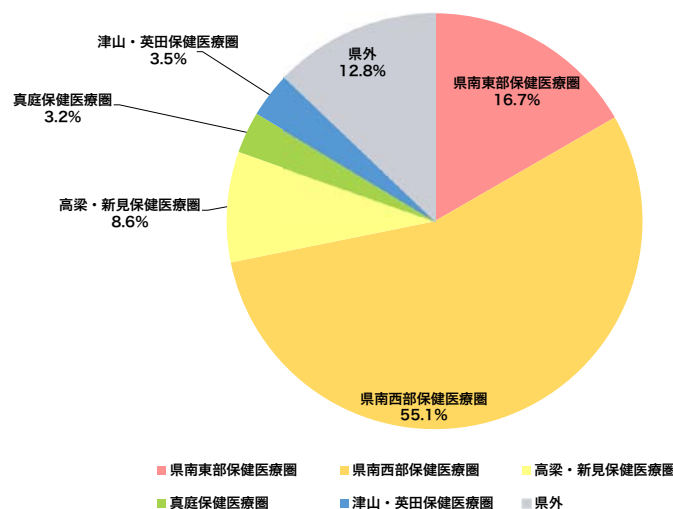
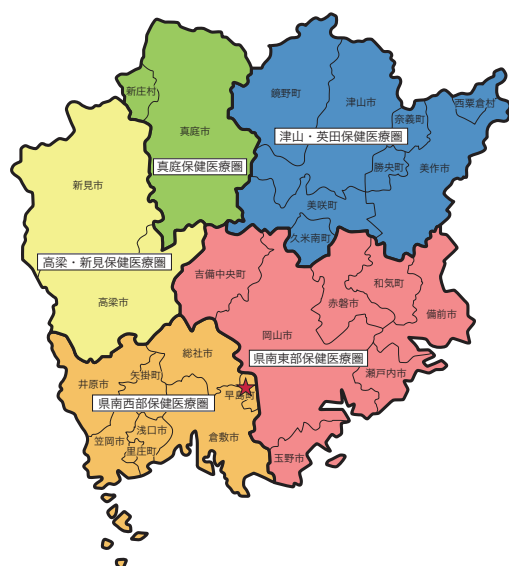
55.1%

県内担当医療圏外の割合

32.0%

県外患者住所の割合

12.8%



津山中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院
所 在 地	岡山県津山市川崎 1756
電 話 (代 表)	0868-21-8111
ホームページ	http://www.tch.or.jp/
交通アクセス	津山駅より車で 15 分、津山 IC より車で 5 分

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、眼科、歯科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科 合計 30 診療科		
病 床 数※1	515 床	平均在院日数※2	13.0 日
入院患者のべ数※3	152,095 人	外来患者のべ数※4	219,580 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 4 名 (中級者 1 名 初級者 3 名)		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延数





津山中央病院 院長

林 同 輔

津山中央病院は、津山慈風会を経営母体とし1954年に県北初の総合病院として誕生しました。その後、国立療養所津山病院の経営移譲を受け、1999年12月に現在の津山市川崎に新築移転し、県北唯一の救命救急センターを併設した高度急性期病院として発展してきました。「お断りしない救急」と「最先端のがん診療の提供」を2本の柱とし、2010年には「地域がん診療連携拠点病院」の指定も受け、がんの早期発見から検査・診断・治療・緩和まで一貫したがん診療に取り組んでいます。がん登録数も年々増加しており、2018年には1,531例を登録いたしました。

当院のがん治療の最大の特徴は、中四国で初となる「がん陽子線治療センター」です。岡山大学と共同運用しており、総合病院としては、近畿以西の西日本では唯一で、合併症のある患者さんや化学療法併用の患者さん、全身麻酔が必要となる小児がんの患者さんも受け入れています。現在保険適応となっているのは、小児がん・骨軟部腫瘍・非扁平上皮の頭頸部がん・前立腺がんの4疾患ですが、肝臓がんや肺がんをはじめ食道がん・膵がん等、多くのがん腫で効果が認められています。2020年の改訂では残念ながら認められませんでした。今回の改訂では一つでも多くの疾患が保険収載されることを願っています。また、医療インバウンドとして海外(特に中国)からの患者さんの治療も積極的に行ってきましたが、残念ながら新型コロナのために現在は休止状態になっています。

がんの手術に関しては、他施設同様に低侵襲下を目指しており、従来の内視鏡手術に加えて2019年3月よりロボット手術を導入いたしました。2019年に増設した新手術室にはロボット手術用の広い部屋を確保しており、現在は前立腺がんを始めとし、腎がん・肺がん・縦隔腫瘍などで症例を重ねています。早期の食道がんや胃がん・大腸がんに対しては、内視鏡的切除を積極的に行っており、患者さんのQOLの維持に努めています。

がん治療だけでなく、患者さんの身体的・精神的苦痛を和らげるための緩和ケアにも力を入れており、緩和ケアチームを中心とした入院患者さんのサポートや外来緩和ケア相談窓口の運用、がんサロン「なごみ」の開催等、医師・看護師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師等の多職種が協力して行っています。人員の関係でまだ稼働できていませんが、新病棟には14床の緩和ケア病棟も新設しています。

今後の課題と展望としては、ゲノム医療の推進とAI診断が挙げられます。当院では特に消化管内視鏡診断に力を入れており、理化学研究所、国立がん研究センター東病院と連携してAIの研究開発を進め、早期胃がん検出用AI等、初期段階の成果を挙げつつあります。今後とも地域の医療機関と連携しながら引き続き県北の医療を支えていきたいと考えていますので、なお一層のご支援をお願いいたします。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	48	3.1%	岡山市北区	12
			岡山市中区	4~6
			岡山市南区	7~9
			岡山市東区	4~6
			玉野市	1~3
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	11
			和気郡和気町	1~3
県南西部保健医療圏	16	1.0%	加賀郡吉備中央町	1~3
			倉敷市	10
			笠岡市	1~3
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	7~9	0.5%	高梁市	1~3
真庭保健医療圏	136	8.9%	新見市	7~9
			真庭市	134
津山・英田保健医療圏	1,217	79.5%	真庭郡新庄村	1~3
			津山市	699
			美作市	198
			苫田郡鏡野町	94
			勝田郡勝央町	69
			勝田郡奈義町	45
			英田郡西粟倉村	15
			久米郡久米南町	13
県外	106	6.9%	久米郡美咲町	84
			合計	1,531

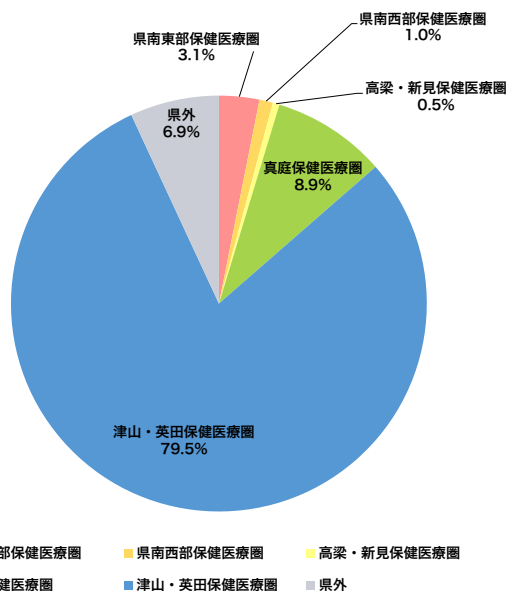
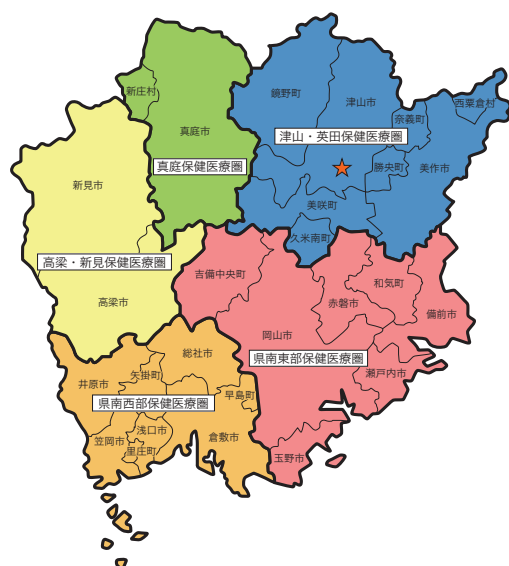
担当医療圏
津山・英田保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
79.5%

県内担当医療圏外の割合
13.5%

県外患者住所の割合
6.9%

担当医療圏



金田病院

基 本 情 報	
病 院 名	金田病院
所 在 地	岡山県真庭市西原 63 番地
電 話 (代 表)	0867-52-1191
ホームページ	https://www.kaneda-hp.or.jp
交通アクセス	美作落合駅から徒歩 5 分 まにわくん・さくらバス金田病院前からすぐ

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、循環器内科、糖尿病内科、脳神経内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、乳腺外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 合計 17 診療科		
病 床 数※1	172 床	平均在院日数※2	26.3 日
入院患者のべ数※3	41,803 人	外来患者のべ数※4	66,885 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 2 名 (中級者 2 名 初級者 0 名)		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延数



金田病院 院長

水 島 孝 明



日本では2人に1人はがんを患い、3人に1人はがんで死亡される時代となり、全国どこでも標準的ながん診療を受けられることを目的にがん診療拠点病院制度ができました。また、わが国のがん診療の質を高める事を目的に、がん対策基本法が施行されました。これらの理念は、当院の理念と合致するものです。

当院は、岡山県北部の真庭市西原（落合地区）に71年前に開設され、平成24年4月1日より、がん診療連携推進病院に認定され、県内のがん治療拠点病院と連携して、真庭地域を中心としたがん患者の診療に取り組んでまいりました。平成27年4月1日からは岡山県北部中央地区の地域がん診療病院に認定され、独立行政法人岡山医療センターおよび一般財団法人津山慈風会津山中央病院と連携し、がんの検査、治療、手術、化学療法に加え、緩和ケアの提供や緩和ケア研修会の開催、がん相談支援、セカンドオピニオン、がん情報提供、一般向けや医療者向けの講演会、患者会、がん登録を行っております。現在の許可病床は172床で、内科、外科、脳神経外科、整形外科の診療科を中心に、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟で構成しております。また岡山大学や川崎医科大学からの非常勤医師の派遣を通じて、多くの診療科に対応する体制を整えております。地域の病院・診療所と連携を取りながら、院内の勉強会、地区医師会の研究会の開催などを通じて、様々な状況の患者様に対して適切な医療を提供できるよう体制を整えていきたいと思っております。

当院は、人間ドック学会認定の人間ドック検診施設を併設しており、がんの早期発見、治療も力を入れて取り組んでおります。

あらゆるがん患者さんの治療に関し、外科、内科専門医のカンファレンスを通し、また、高難度症例に対しては専門病院と連携を行い、患者さんとそのご家族に対し、最善かつ質を重視した治療を行うように心がけています。

さらに在宅におけるがん医療や緩和ケア、相談支援など一層の充実が課題となっているなかで、訪問診療、訪問看護ステーションみどり、居宅介護支援事業所みどり、美咲町立西川診療所と連携し、在宅の患者様に対するがん治療についても取り組んでおります。

また医学部学生、看護学生、初期臨床研修医、内科学会総合内科専門医研修専攻医、外科学会専門医研修専攻医、日本プライマリケア連合学会専門医研修専攻医の受け入れを行っており、地域におけるがん診療を行う医師、看護師等の養成にも取り組んでおります。

最後に医家の皆様には、より一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1~3	0.6%	岡山市北区	0
			岡山市中区	0
			岡山市南区	0
			岡山市東区	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	0	0.0%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	10	5.8%	高梁市	0
			新見市	10
真庭保健医療圏	127	74.3%	真庭市	125
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	31	18.1%	津山市	12
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	4~6
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	12
県外	1~3	1.2%		1~3
			合計	171

担当医療圏

真庭保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

74.3%

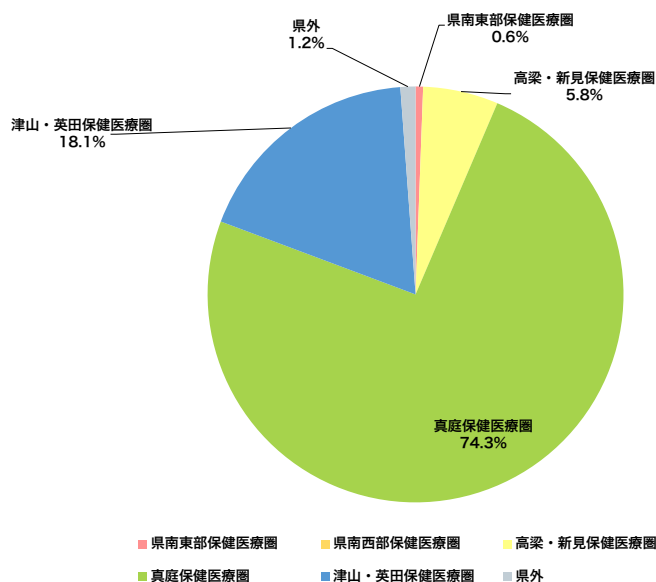
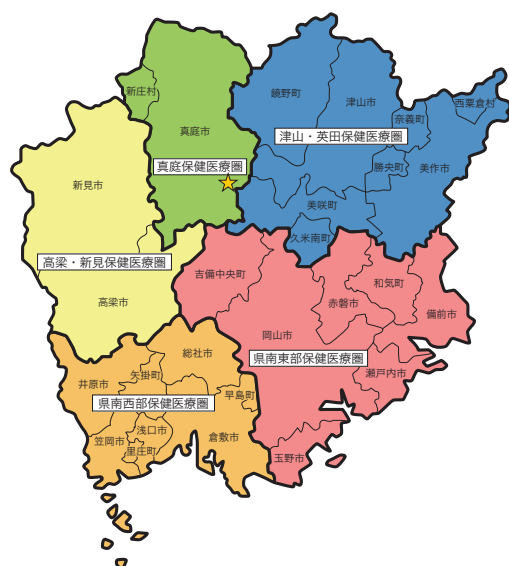
県内担当医療圏外の割合

24.5%

県外患者住所の割合

1.2%

担当医療圏



高梁中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	医療法人清梁会 高梁中央病院
所 在 地	岡山県高梁市南町 53
電 話 (代 表)	086-22-3636
ホームページ	http://seiryokai.jp/takahashi/index.html
交通アクセス	備中高梁駅より徒歩 5 分

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、外科、消化器内科、消化器外科、脳神経外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、眼科、循環器内科、皮膚科、心療内科、精神科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器外科、リウマチ科、肝臓内科、胆のう・膵臓内科、耳鼻咽喉科、乳腺・内分泌外科 合計 26 診療科		
病 床 数※1	192 床	平均在院日数※2	17.1 日
入院患者のべ数※3	64,544 人	外来患者のべ数※4	91,538 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 1 名 (中級者 1 名 初級者 0 名)		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延数



SEIRYO GROUP

医療法人 清梁会 高梁中央病院

見つめているのは命、未来。



高梁中央病院 院長

吉田栄一

平素より当院に格別なご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。当院は岡山県における高梁・新見保健医療圏内において中核病院としての役割を担っており、地域に根ざした病院としてより質の高い医療の提供と連携を目指し、地域医療への貢献に努めています。

病床の規模としては急性期一般、地域包括ケア、障害者施設等一般、医療療養のケア・ミックス型で構成されています。平成20年には地域災害医療センターとして指定を受け、平成23年にはおかやまDMAT指定医療機関を拝命する等、地域の災害医療にも対応できるよう体制を整えています。

そして平成27年より地域がん診療病院の指定を受け、当該地域におけるがん診療を更に幅広く担うこととなりました。当院の役割としては、がん診療連携拠点病院とよばれる高度ながん診療を行うことができる医療機関とグループ指定を結ぶことで、当院が所属する医療圏内における患者さんを連携してカバーできる体制作りが主となります。当該地域にお住まいの患者さんの初期診療から、連携している拠点病院で高度ながん診療を終えてからのフォローまで当院で行えるという連携体制をとっています。また、患者さんの悩みに幅広く対応する窓口としてがん相談支援センターを立ち上げ、患者さんやご家族と気兼ねなく話し合える「がんサロンたかはし」を定期的に開催しています。

中枢のメンバーとして院内にがん診療推進室を立ち上げ、緩和ケア、化学療法、がん相談支援、がん登録など、それぞれ役割に応じたチームを編成し、地域がん診療病院としてのがん診療の質の向上を図るため日々業務に取り組んでいます。本誌における院内がん登録では、実務者を中心としたがん登録チームが平成25年の症例より運用を開始しています。実務内容としては、例年の国立がん研究センターでの院内がん登録全国集計への参加・統計分析協力と、並行して岡山県の地域がん登録（現在は全国がん登録）においても同様の協力をさせて頂いています。

ビッグデータによる分析などが医療分野においても求められている昨今の情報化社会において、がん登録事業は非常に重要な意味を持っています。今やがんは国民病とも呼ばれ、がん診療はそれぞれの地域になくてはならないものとして認識されています。地域の皆さんと個々との通い合う信頼関係を築いていくためにもがん診療における当院の役割をしっかりと果たせるよう職員一同、尽力して参る所存です。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	11	8.7%	岡山市北区	1～3
			岡山市中区	0
			岡山市南区	0
			岡山市東区	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	10
県南西部保健医療圏	1～3	1.6%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	1～3
			総社市	1～3
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	111	87.4%	高梁市	103
			新見市	7～9
真庭保健医療圏	1～3	0.8%	真庭市	1～3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	0	0.0%	津山市	0
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	1～3	1.6%		1～3
			合計	127

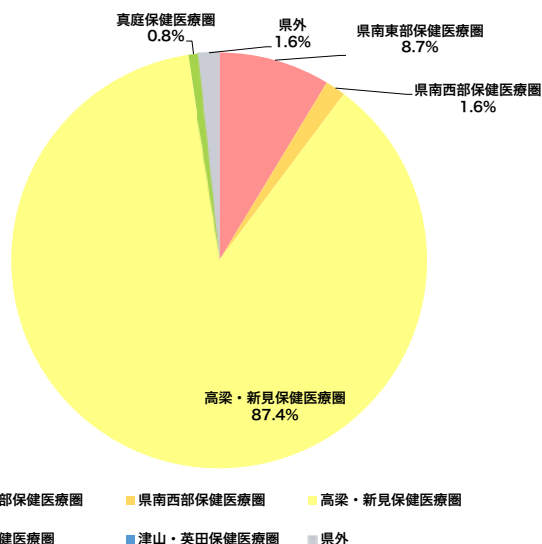
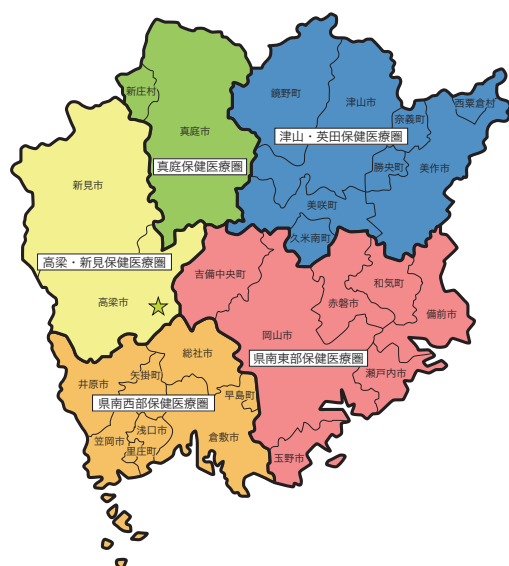
担当医療圏
高梁・新見保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
87.4%

県内担当医療圏外の割合
11.1%

県外患者住所の割合
1.6%

担当医療圏



岡山労災病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山労災病院
所 在 地	〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町 1-10-25
電話（代表）	086-262-0131
ホームページ	https://www.okayamah.johas.go.jp/
交通アクセス	岡山駅より岡電バス「岡山ろうさい病院」行きに乗車後 35 分程度

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、精神科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科 合計 21 診療科		
病 床 数※1	358 床	平均在院日数※2	15.2 日
入院患者のべ数※3	102,357 人	外来患者のべ数※4	261,612 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 3 名（中級者 1 名 初級者 2 名）		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延数



岡山労災病院 院長

三 好 新一郎



岡山労災病院の2018年癌登録についてご報告申し上げます。岡山労災病院は岡山県から指定された「がん診療連携推進病院」の1つです。岡山市の南区に位置する唯一の公的病院として、主に南区、玉野市の急性期・地域医療を担っています。2018年の悪性腫瘍全登録数は607例で、そのうち南区が339例（55.8%）、玉野市が160例（26.4%）で合わせると80%以上がこの2地区に在住される患者さんです。このうち初回治療数は511例（84.2%）でした。

当院は21診療科からなる総合病院で、ほとんどの腫瘍を診断・治療の対象としています。臓器別腫瘍の全登録数と初回治療数は、食道癌・胃癌・大腸癌・肝胆膵などの消化器系癌が245例と214例と最も多く、肺癌・縦隔・胸膜腫瘍などの呼吸器系腫瘍が126例と104例、泌尿器系癌が103例と88例、乳癌・甲状腺癌が35例と29例、血液系腫瘍が32例と27例、皮膚癌・軟部組織腫瘍が23例と21例、女性生殖器系癌が11例と6例、脳腫瘍が10例と9例、頭頸部癌が1例と1例、その他が21例と12例でした。

当院はアスベスト研究・研修センターを併設しており、アスベスト関連胸膜疾患が県内外から紹介されてきます。縦隔・胸膜腫瘍21例のうち、20例が悪性胸膜中皮腫でした。悪性胸膜中皮腫が多いのが当院の特徴の1つと言えます。

食道癌・胃癌・大腸癌などの消化管系粘膜内癌に対しては、内視鏡的粘膜手切除術を行います。比較的早期の消化管系癌・肺癌・縦隔腫瘍などには腹腔鏡や胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。この中には完全胸腔鏡下肺葉切除も含まれます。また、進行癌に対しては標準的な開腹、開胸手術を行います。放射線治療科、腫瘍内科を有していることから、必要に応じて集学的治療を行っています。外科治療の適応のない進行癌では化学療法を、さらには分子標的薬剤や免疫チェックポイント阻害剤を用いた最先端の薬剤治療も行っています。化学療法に関しては、外来に化学療法センターを設置し、患者さんのQOLが得られるように可能な限り外来において化学療法を行っています。

全国の労災病院は治療と就労の両立支援に力を入れており、当院は癌治療のモデル施設として癌患者の両立支援に取り組んできました。毎日相談窓口を開いて対応しています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	572	94.2%	岡山市北区	15
			岡山市中区	26
			岡山市南区	339
			岡山市東区	14
			玉野市	160
			備前市	4~6
			瀬戸内市	7~9
			赤磐市	1~3
			和気郡和気町	4~6
			加賀郡吉備中央町	0
県南西部保健医療圏	14	2.3%	倉敷市	12
			笠岡市	1~3
			井原市	0
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	1~3	0.2%	高梁市	1~3
			新見市	0
真庭保健医療圏	1~3	0.2%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	1~3	0.3%	津山市	1~3
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	17	2.8%		17
			合計	607

担当医療圏

担当医療圏

県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

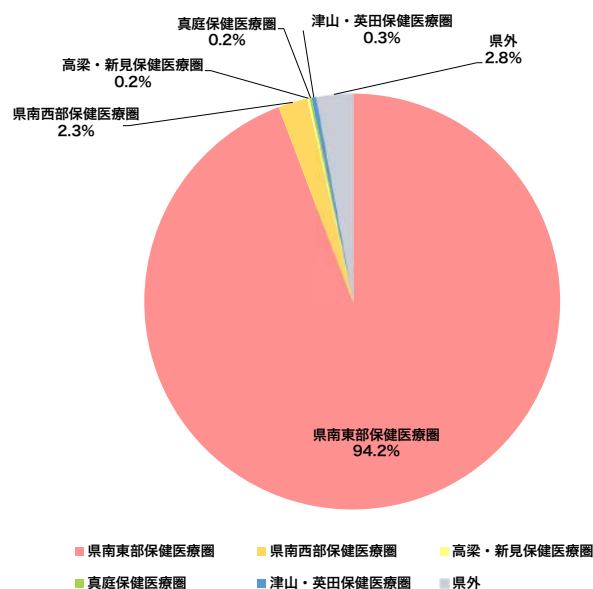
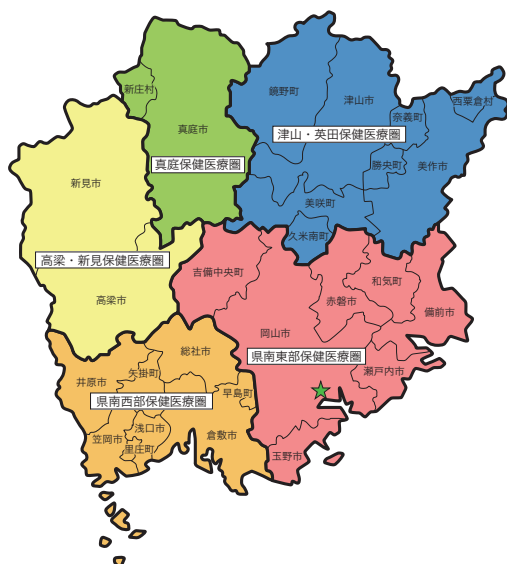
94.2%

県内担当医療圏外の割合

3.0%

県外患者住所の割合

2.8%



岡山市立市民病院

基 本 情 報	
病 院 名	地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
所 在 地	岡山県岡山市北区北長瀬表町3-20-1
電 話 (代 表)	086-737-3000
ホームページ	https://okayama-gmc.or.jp/shimin/
交通アクセス	山陽本線で岡山駅より北長瀬駅まで約4分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

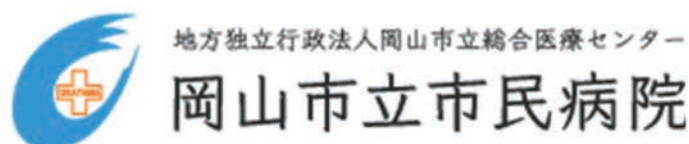
診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、病理診断科、救急科 合計 31 診療科		
病 床 数※1	400 床	平均在院日数※2	14.0 日
入院患者のべ数※3	127,232 人	外来患者のべ数※4	152,916 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 1 名 (中級者 0 名 初級者 1 名)		

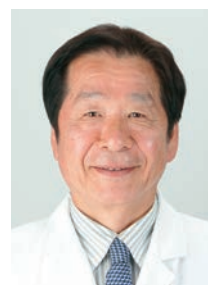
※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延数





岡山市立市民病院 院長

松 本 健 五

当院は自治体病院、公立病院として岡山市とその近郊の方々の健康を守るために日々診療を行っています。総合病院としてさまざまな症状を抱える患者さんを受け入れるため、各疾患の専門的なスタッフや高度な設備を備え対応しています。具体的には専門的なチーム医療を提供するために臓器別・疾患別のセンター化を採用しています。中でも専門医が多数在籍する脳疾患センターが高い技術を誇るほか、各センター、専門科にも多くの医師が加わり、がん診療も更に充実しています。

当院は平成 24 年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、質の高いがん治療を提供すべく積極的に取り組んでいます。がん登録数も年々増加しており、平成 30 年は 766 例を登録しました。年齢分布では 70 歳以上が約 66% を占めています。部位別の登録件数上位 5 部位では血液腫瘍、大腸、胃、肺、肝臓、前立腺の順に登録が多いです。

血液腫瘍については当院の血液・腫瘍センターが対応し、岡山市だけでなく、岡山県全域など広範な地域より紹介患者を受けております。岡山大学病院と医療連携を進め、それぞれの得意分野を活かした診療を行っています。胃がん、大腸がんについては消化器内科と消化器外科が一緒になった消化器疾患センターが対応しております。内科と外科が密な連携を取り、診療が一貫して行えるよう体制を整えております。

また、今後のがん治療のさらなる推進や患者さんへのサポートの強化を図る必要性があると考え、平成 29 年にがん治療サポートセンターを創設しました。患者さんへの対応の改善とがん診療連携推進病院としての役割を目標に、相談支援、情報提供、院内がん登録の充実を図りながら取り組んでおります。少しでも患者さん・ご家族により良いがん治療を提供できる環境作りの形を考えていきたいと考えております。

今後も良質ながん治療の提供のため病院挙げてハード・ソフト両面からがん診療の充実を図り、がん診療連携拠点病院との連携体制の充実にも努めてまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	671	87.6%	岡山市北区	357
			岡山市中区	117
			岡山市南区	95
			岡山市東区	46
			玉野市	18
			備前市	10
			瀬戸内市	10
			赤磐市	11
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	4~6
県南西部保健医療圏	52	6.8%	倉敷市	33
			笠岡市	1~3
			井原市	1~3
			総社市	7~9
			浅口市	4~6
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	4~6	0.8%	高梁市	1~3
			新見市	1~3
真庭保健医療圏	4~6	0.5%	真庭市	4~6
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	18	2.3%	津山市	7~9
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	1~3
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	1~3
県外	15	2.0%		15
			合計	766

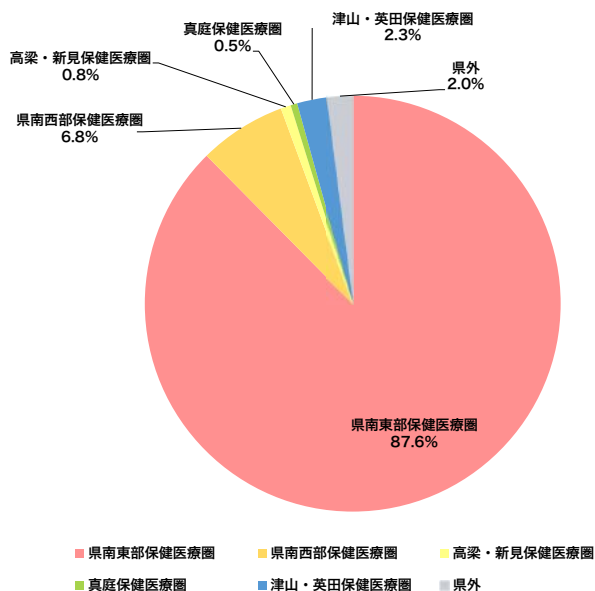
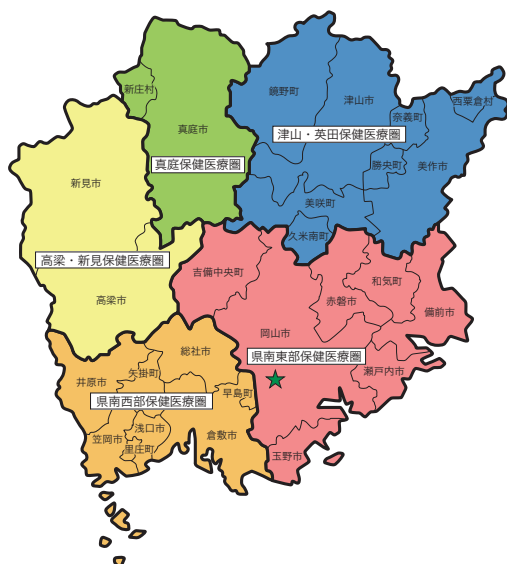
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
87.6%

県内担当医療圏外の割合
10.4%

県外患者住所の割合
2.0%



川崎医科大学総合医療センター

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学総合医療センター
所 在 地	〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下二丁目6番1号
電話（代表）	086-225-2111
ホームページ	https://g.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	岡山駅よりバス、タクシー、路面電車で約5～10分

集計期間：2019年4月1日～2020年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※1	救急科、内科、脳神経内科、内視鏡内科、循環器内科、老年内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、精神科、心療内科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科 合計 27 診療科		
病 床 数※1	647 床	平均在院日数※2	13.2 日
入院患者のべ数※3	116,757 人	外来患者のべ数※4	193,189 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者2名（中級者2名 初級者0名）		

※1 2020年11月1日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延数



川崎医科大学 総合医療センター



川崎医科大学総合医療センター 病院長

猶 本 良 夫

「がん登録への想い」

2019年1月17日、「初めて『全国がん登録制度』によるデータがまとめられ、2016年に「がん」と診断された人は995,131例でした」というニュースが、新聞やテレビで報道されました。私はこのニュースを「がん」に携わってきた一医師として、感慨深く聞いていました。

この報道に疑問を感じた人もいたと思います。今までも、わが国の「がん」に関する統計データの話はありました。例えば、「2～3人に1人はがんになる」等です。2019年のニュースとなったデータ（2016年～）と、2019年よりも前のデータ（～2015年）とでは、何が異なるのでしょうか？

2019年よりも前のデータ（～2015年）は、「地域がん登録制度」を元に作成されていました。この制度だと、県を跨いだ多重登録や登録を行わない医療機関の存在などにより、わが国の「がん」の正しい情報を得るのは難しいと言われていました。そこで法律などを整備し「全国がん登録制度」を作ったのです。実際のデータを見てみますと、2014年に新たに診断された「がん（罹患全国合計値）」は867,408例です。その2年後の「全国がん登録制度」の集計では、995,131例ですので、2年間で13万人も「がん」になる人が増えたことになります。正しい数値は「全国がん登録制度」から得られた値ですので、2015年までの「がん統計」はかなりの誤差を含んでいることがわかります。これくらいの誤差は仕方ないのでしょうか？

「がん登録」の必要性は以下のように説明されます。

「がん」に対する正確なデータを基に、どの程度の医療施設をどの地域に配置が必要か、どのような技術を持った医師がどの程度必要か、がん検診の対象年齢は何歳から何歳までが妥当か、などの計画や対策を行うことができます。

それだけでしょうか？

私個人は、消化器がんの外科的治療に日々邁進してきました。一外科医が1日に治療（手術）できる患者は1人です。

私の治療は本当に有益なのか？間違っていないか？

答えの出ないかもしれない疑問や不安に対し自問自答しながら、毎日の診療を行ってきました。

医師個人や施設の治療成績は算出することは可能です。しかし、そのデータが地域や国にどのように反映されているのか、貢献しているのかを知るすべはありません。

私個人は、治療成績、例えば5年生存率の改善を「がん登録」データで確認することで、自分自身を鼓舞してきました。「がん」に携わる医師は、それら罹患率や治療成績に一喜一憂し、己の進んできた道やこれから進むべき道を確かめます。その道標となるのが「がん」に対する正確な情報です。私たちは2016年から、ようやく「全国がん登録制度」を開始し、2019年にようやく我が国の「がん」の実態を知ることができました。これは、非常に大きな第一歩です。

この「がん登録」が、次の時代への大きなマイルストーンとなることを願っています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	767	82.2%	岡山市北区	221
			岡山市中区	244
			岡山市南区	55
			岡山市東区	101
			玉野市	17
			備前市	49
			瀬戸内市	35
			赤磐市	31
			和気郡和気町	7~9
			加賀郡吉備中央町	7~9
県南西部保健医療圏	62	6.6%	倉敷市	29
			笠岡市	7~9
			井原市	7~9
			総社市	7~9
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	18	1.9%	高梁市	7~9
真庭保健医療圏	10	1.1%	新見市	11
			真庭市	10
津山・英田保健医療圏	33	3.5%	真庭郡新庄村	0
			津山市	10
			美作市	16
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	1~3
県外	43	4.6%		43
			合計	933

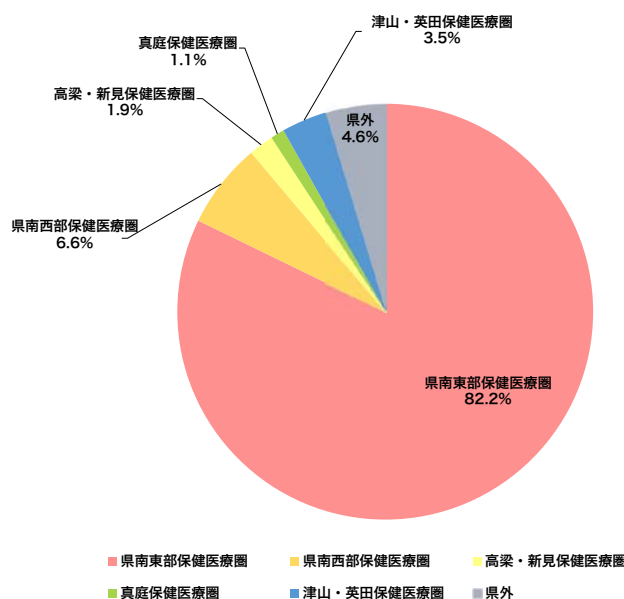
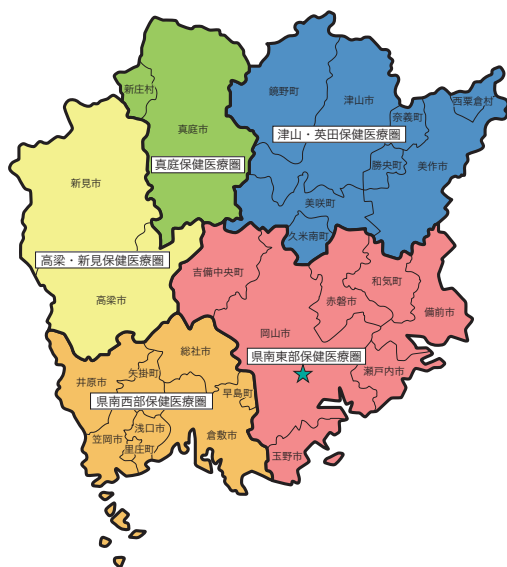
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
82.2%

県内担当医療圏外の割合
13.1%

県外患者住所の割合
4.6%



倉敷成人病センター

基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人 倉敷成人病センター
所 在 地	岡山県倉敷市白楽町 250 番地
電 話 (代 表)	086-422-2111
ホームページ	http://www.fkmc.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩約 20 分、バスまたはタクシーで約 5 分

集計期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科 ^{※1}	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科 合計 20 診療科		
病 床 数 ^{※1}	269 床	平均在院日数 ^{※2}	6.3 日
入院患者のべ数 ^{※3}	75,957 人	外来患者のべ数 ^{※4}	260,023 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) ^{※1}	実務者 2 名 (中級者 0 名 初級者 1 名)		

※1 2020 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延数



倉敷成人病センター 病院長

梅 川 康 弘



当院は、平成 24 年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、婦人科、泌尿器科、外科、乳腺外科などを中心に、質の高いがん治療を提供すべく積極的に取り組んでいます。

新たな取り組みとしましては、令和 2 年 7 月に乳腺科として乳腺専門医が新たに着任し、増え続ける乳腺疾患の患者さんのニーズに応えるべく、令和 2 年 8 月にプレストセンターを開設いたしました。プレストセンターでは、乳腺科、乳腺外科、放射線科、病理診断科の各専門医に加え、診療放射線技師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの専門スタッフが協力し、総合力を生かしたチーム医療で効率的な質の高い乳がん診療を行っています。

がんを疑う病変には、初診日に細胞診あるいは組織診を実施して、迅速な診断を心掛け、悪性診断確定後は乳腺外科の担当となり、患者さんへ十分な説明とケアを行いながら、ガイドラインに沿った治療を多職種協働で丁寧に行っています。

外科では、消化器領域と共に臓器別専門外来として平成 29 年 呼吸器外科外来、平成 30 年 肝胆膵外科外来を開設し、それぞれの専門医を中心に高難度手術を手掛けています。また、令和 2 年 4 月 1 日より肝臓がんの腹腔鏡下手術の施設認定を取得し、肝臓がんの腹腔鏡下手術の一部（肝外側区域切除もしくは肝部分切除のみ）を保険で受けられるようになりました。

更に、令和 3 年 2 月 1 日より、新棟を開院し、包括的ながん診療を可能とするために放射線治療の導入、通院治療センターの拡大移転を予定しています。新設する放射線センターは、乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・肺がん・食道がんなどの根治治療や痛みを和らげる緩和治療に広く対応できる高精度放射線治療装置 True Beam（Varian 社製）を導入するほか、前立腺がんに対する密封小線源療法を開始します。通院治療センターは、患者さんやご家族がゆっくり過ごしていただけるようプライバシーに配慮した治療ブースを構え、治療当日の院内移動を最小限で完結できるよう診察室や検査室も併設しています。医師はもちろん、薬剤師、看護師、放射線技師はがんに特化した専門スタッフを配置し、チーム医療で患者さんをサポートいたします。そして、手術領域では術前・術中の患者さんの心身のストレス軽減を目指した「ロボット先端手術センター」を開設します。専用手術室を 4 室新設し、手術支援ロボット ダ・ヴィンチを 2 台体制に強化して、婦人科・泌尿器科を中心とした低侵襲手術を提供してまいります。

今後も、当院の特色を生かした質の高いがん医療を提供するとともに、がん診療連携拠点病院と連携して、がん医療連携の推進およびがん医療水準の向上に取り組んでまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	55	6.4%	岡山市北区	18
			岡山市中区	0
			岡山市南区	15
			岡山市東区	4~6
			玉野市	7~9
			備前市	1~3
			瀬戸内市	1~3
			赤磐市	1~3
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	4~6
県南西部保健医療圏	646	75.7%	倉敷市	514
			笠岡市	18
			井原市	4~6
			総社市	57
			浅口市	24
			都窪郡早島町	10
			浅口郡里庄町	7~9
			小田郡矢掛町	7~9
高梁・新見保健医療圏	20	2.3%	高梁市	11
			新見市	7~9
真庭保健医療圏	1~3	0.2%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	4~6	0.6%	津山市	1~3
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	125	14.7%		125
			合計	853

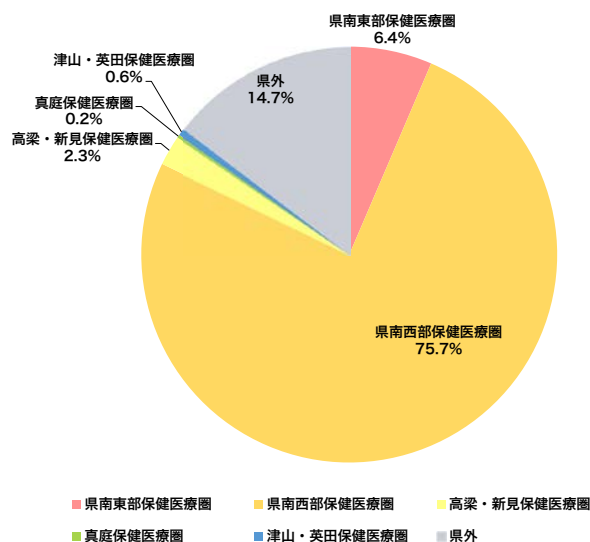
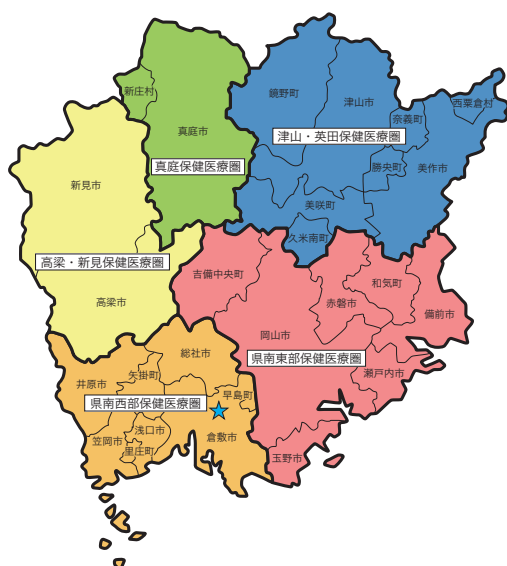
担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
75.7%

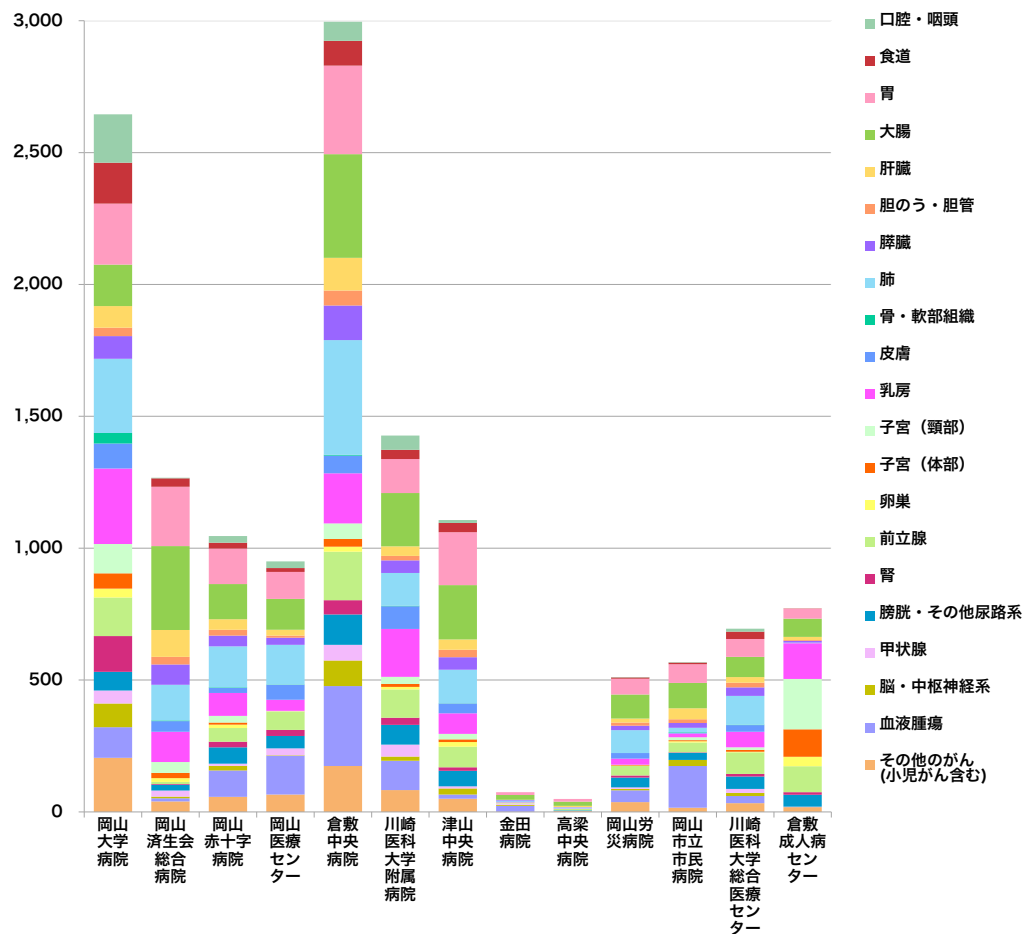
県内担当医療圏外の割合
9.5%

県外患者住所の割合
14.7%



岡山県院内がん登録 初回治療数 集計結果

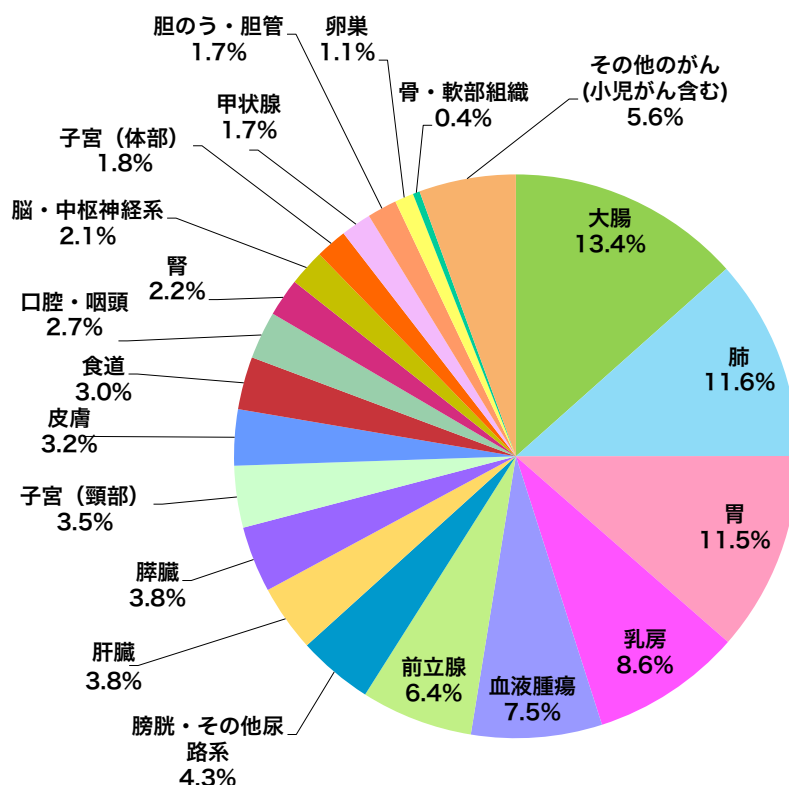
施設別 初回治療数



部位	岡山大学病院	岡山済生会総合病院	岡山赤十字病院	岡山医療センター	倉敷中央病院	川崎医科大学附属病院	津山中央病院	金田病院	高梁中央病院	岡山労災病院	岡山市立市民病院	川崎医科大学総合医療センター	倉敷成人病センター
口腔・咽頭	183	1~3	25	25	72	54	11	0	0	1~3	1~3	11	0
食道	155	32	22	15	94	35	35	0	0	4~6	4~6	28	1~3
胃	232	225	135	102	336	129	201	11	10	60	71	68	37
大腸	157	318	133	117	393	202	206	18	16	91	96	77	69
肝臓	82	102	40	22	124	36	39	1~3	4~6	15	42	21	12
胆のう・胆管	32	29	22	7~9	57	17	28	0	0	12	14	18	1~3
膵臓	86	77	41	27	131	48	48	1~3	1~3	17	18	32	7~9
肺	281	135	156	151	435	124	127	1~3	4	87	17	109	1~3
骨・軟部組織	40	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	0	0	0	1~3	1~3	0
皮膚	95	40	19	57	67	86	37	1~3	0	21	1~3	25	0
乳房	286	115	87	42	190	182	78	1~3	1~3	23	14	59	136
子宮（頸部）	111	41	25	1~3	59	27	21	0	0	1~3	11	10	191
子宮（体部）	58	20	7~9	1~3	29	11	10	0	0	1~3	4~6	7~9	104
卵巣	34	14	13	1~3	19	10	18	0	0	1~3	4~6	1~3	36
前立腺	146	7~9	52	68	184	107	78	4~6	4~6	37	37	82	98
腎	136	1~3	21	23	54	27	13	0	0	7~9	1~3	10	10
膀胱・その他尿路系	71	22	62	47	115	75	59	0	1~3	37	27	47	45
甲状腺	49	23	7~9	26	60	45	7~9	4~6	0	4~6	0	15	1~3
脳・中枢神経系	90	4~6	18	1~3	97	16	23	4~6	0	4~6	23	12	0
血液腫瘍	116	12	100	147	303	111	16	22	1~3	45	158	27	1~3
その他のがん（小児がん含む）	205	40	57	66	174	83	50	1~3	1~3	37	16	33	18
総計	2,645	1,267	1,046	950	2,996	1,427	1,107	75	49	511	568	695	771

部位別 初回治療数

部位別 全体

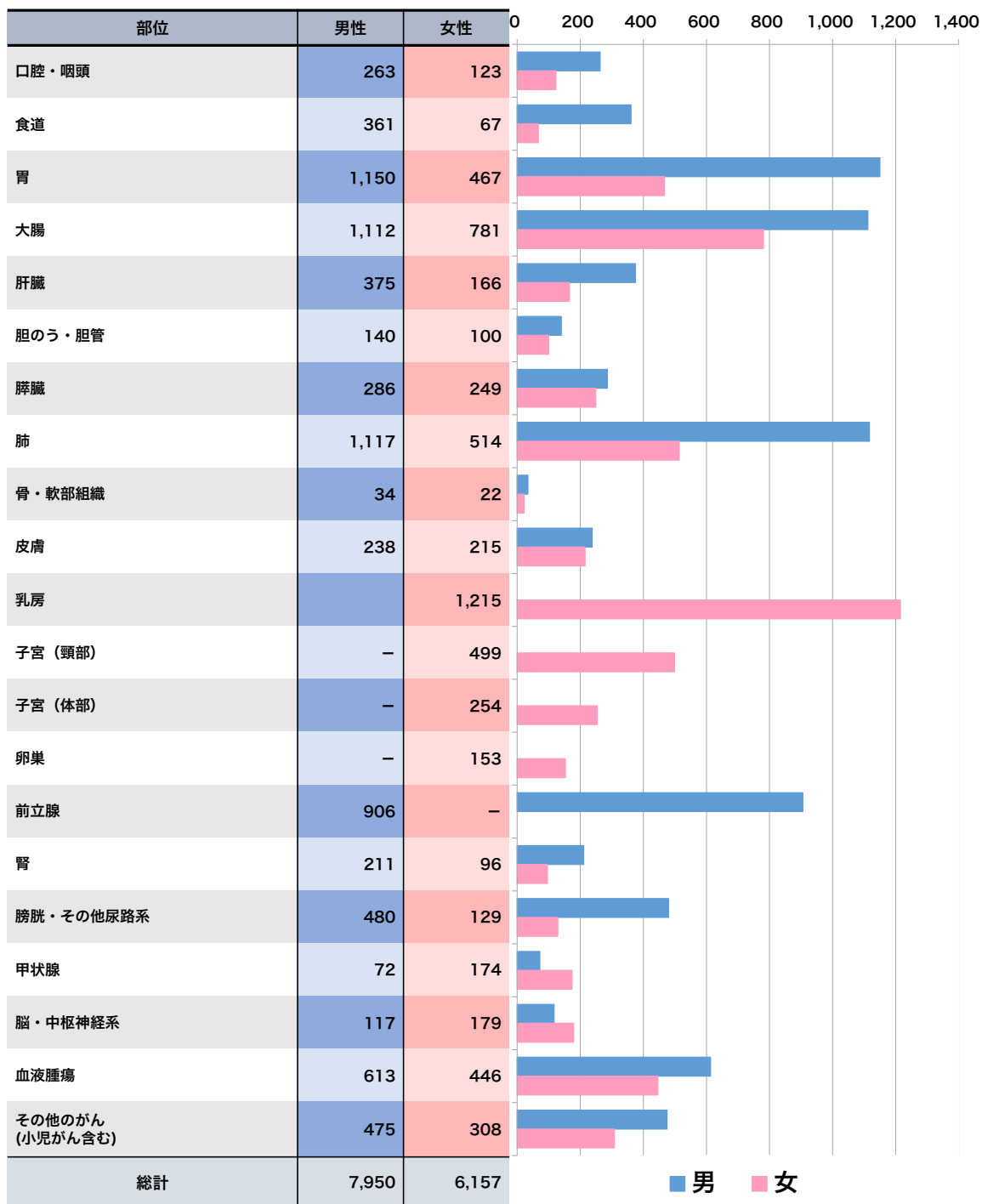


部位	登録数
大腸	1,893
肺	1,631
胃	1,617
乳房	1,215
血液腫瘍	1,059
前立腺	906
膀胱・その他尿路系	609
肝臓	541
膵臓	535
子宮（頸部）	499
皮膚	453
食道	428
口腔・咽頭	386
腎	307
脳・中枢神経系	296
子宮（体部）	254
甲状腺	246
胆のう・胆管	240
卵巣	153
骨・軟部組織	56
その他のがん（小児がん含む）	783
総計	14,107

その他のがん 内訳

部位	登録数
小児がん	42
その他のがん	741
総計	783

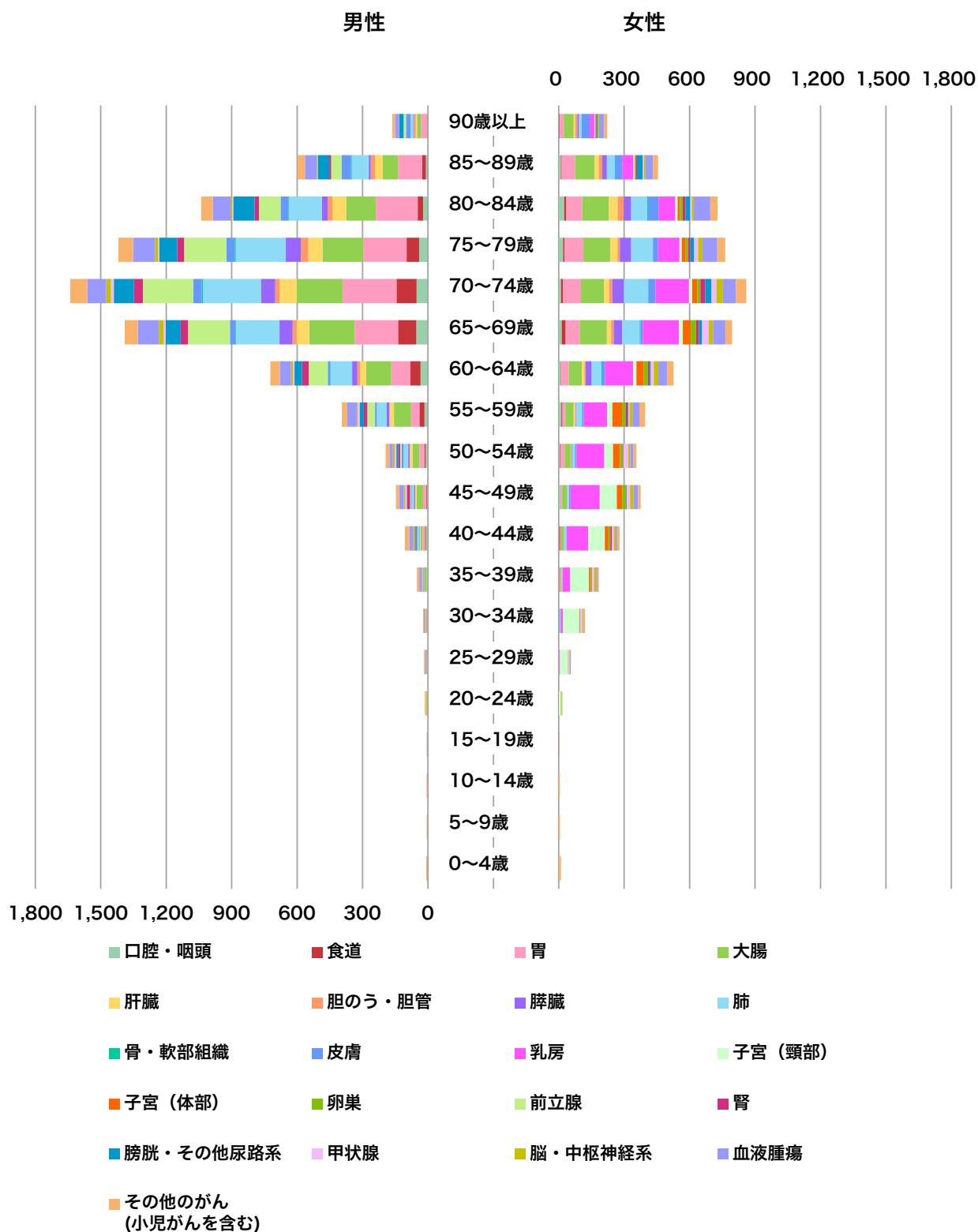
部位別 性別



その他のがん 内訳

部位	男性	女性
小児がん	21	21
その他のがん	454	287
総計	475	308

部位別 年齢階級別 性別



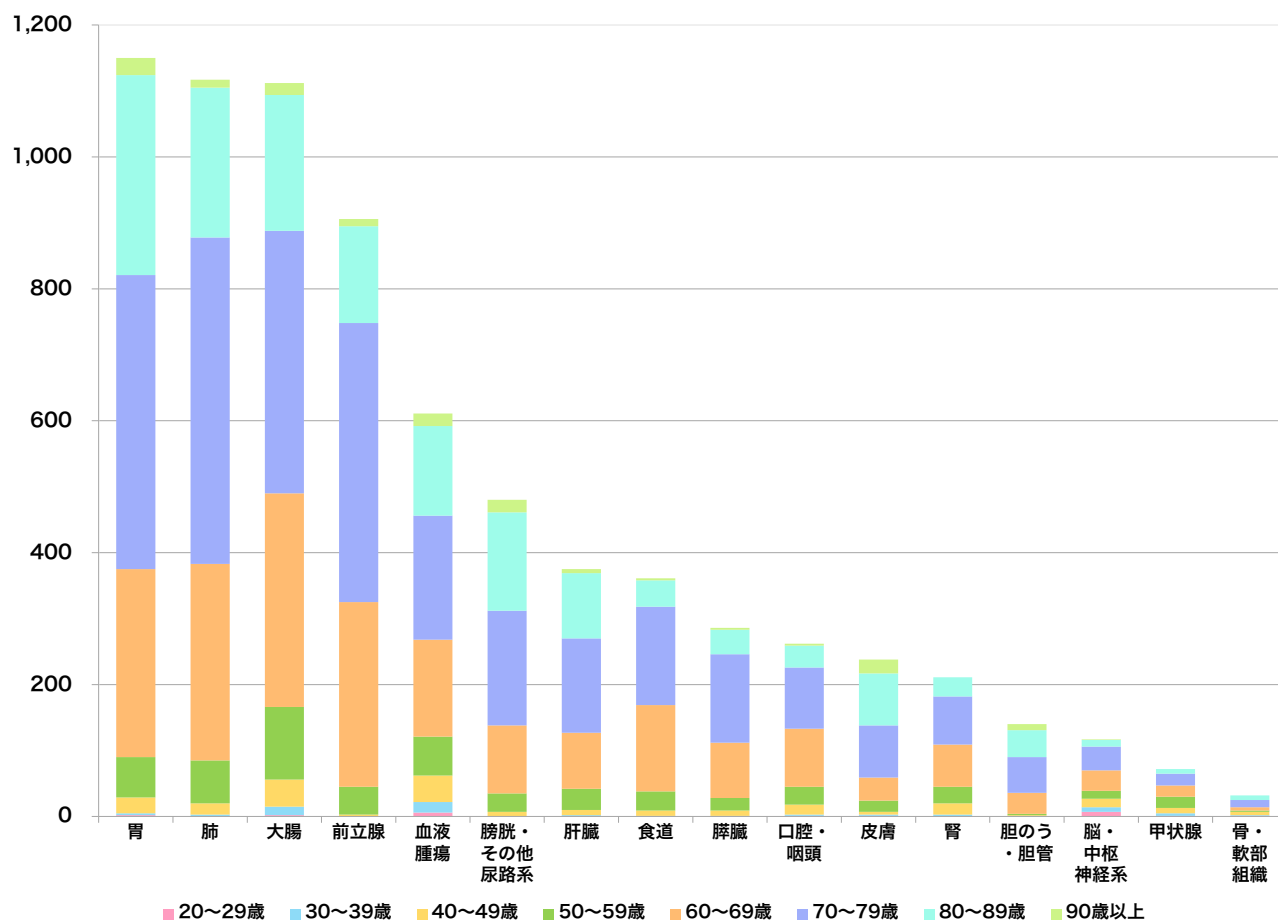
部位別 年齢階級別 男性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	前立腺	腎	膀胱・その他尿路系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上	1-3	1-3	26	18	4-6	7-9	1-3	12		21	11		19		1-3	19	13
85~89歳	10	16	111	70	36	19	10	77	4-6	43	48	7-9	51	1-3	4-6	55	34
80~84歳	23	24	192	136	63	22	27	150	1-3	36	99	20	98	4-6	4-6	81	54
75~79歳	41	57	198	188	65	34	69	229	4-6	39	193	32	82	4-6	14	101	67
70~74歳	52	92	248	210	78	20	65	266	4-6	40	230	41	92	13	22	87	78
65~69歳	54	83	199	209	57	19	60	199	1-3	25	192	34	68	10	22	96	60
60~64歳	34	48	86	115	28	13	24	99	1-3	10	88	30	35	7-9	7-9	51	44
55~59歳	16	23	39	78	20	1-3	12	45	1-3	7-9	35	16	20	7-9	4-6	43	25
50~54歳	11	4-6	22	32	12	1-3	7-9	20	1-3	7-9	7-9	7-9	7-9	7-9	7-9	16	17
45~49歳	4-6	4-6	14	30	4-6		4-6	10	1-3	1-3	1-3	13	1-3	7-9	7-9	22	14
40~44歳	10	4-6	10	11	1-3	1-3	1-3	7-9	1-3	1-3		4-6	4-6	1-3	4-6	18	20
35~39歳	1-3	1-3	1-3	11			1-3	1-3	1-3	1-3		1-3		1-3	1-3	11	11
30~34歳				1-3	1-3	1-3		1-3		1-3		1-3		1-3	4-6	4-6	4-6
25~29歳	1-3									1-3				1-3	4-6	4-6	4-6
20~24歳			1-3	1-3					1-3						1-3	1-3	4-6
15~19歳	1-3								1-3							1-3	1-3
10~14歳																	7-9
5~9歳																	4-6
0~4歳																	7-9
総計	263	361	1,150	1,112	375	140	286	1,117	34	238	906	211	480	72	117	613	475

部位別 年齢階級別 女性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	乳房	子宮(頸部)	子宮(体部)	卵巣	腎	膀胱・その他尿路系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上	1-3	1-3	18	46	7-9	7-9	7-9	11	1-3	37	22	4-6	1-3		1-3	4-6		4-6	23	14
85~89歳	10	4-6	61	89	21	15	21	35	1-3	33	52	4-6	1-3	4-6	4-6	27	4-6	7-9	35	22
80~84歳	25	10	73	122	40	28	34	74	4-6	48	77	10	11	12	13	22	7-9	7-9	76	33
75~79歳	20	7-9	86	123	33	11	52	99	1-3	23	99	10	18	11	10	18	18	20	68	36
70~74歳	11	7-9	83	105	24	14	54	111	1-3	32	153	15	23	14	23	29	22	30	59	48
65~69歳	14	18	64	125	19	12	40	79	1-3	12	165	18	36	25	13	14	31	19	57	31
60~64歳	10	1-3	34	61	11	4-6	27	45	4-6	12	129	15	34	19	7-9	4-6	14	21	40	29
55~59歳	12	4-6	13	39	7-9	1-3	4-6	25	1-3	4-6	108	24	44	16	10	4-6	4-6	14	32	26
50~54歳	4-6	1-3	20	29	1-3	1-3	4-6	12	1-3	4-6	127	40	32	12	1-3	1-3	22	7-9	15	13
45~49歳	7-9	1-3	4-6	22	1-3	1-3	1-3	7-9		4-6	134	78	25	17	1-3	1-3	15	16	21	12
40~44歳	1-3	4-6	4-6	12	1-3	1-3	1-3	10		1-3	98	76	17	7-9	4-6		10	7-9	7-9	11
35~39歳	1-3	1-3	4-6	7-9				1-3			36	85	4-6	4-6	1-3		10	11	4-6	4-6
30~34歳	1-3			1-3			1-3	1-3	1-3	1-3	10	75	1-3	1-3	1-3		7-9	4-6	1-3	4-6
25~29歳			1-3				1-3				4-6	35		1-3			4-6	1-3	4-6	
20~24歳											1-3	7-9		1-3			1-3	1-3	1-3	1-3
15~19歳							1-3											1-3	1-3	
10~14歳																				4-6
5~9歳																				4-6
0~4歳																				10
総計	123	67	467	781	166	100	249	514	22	215	1,215	499	254	153	96	129	174	179	446	308

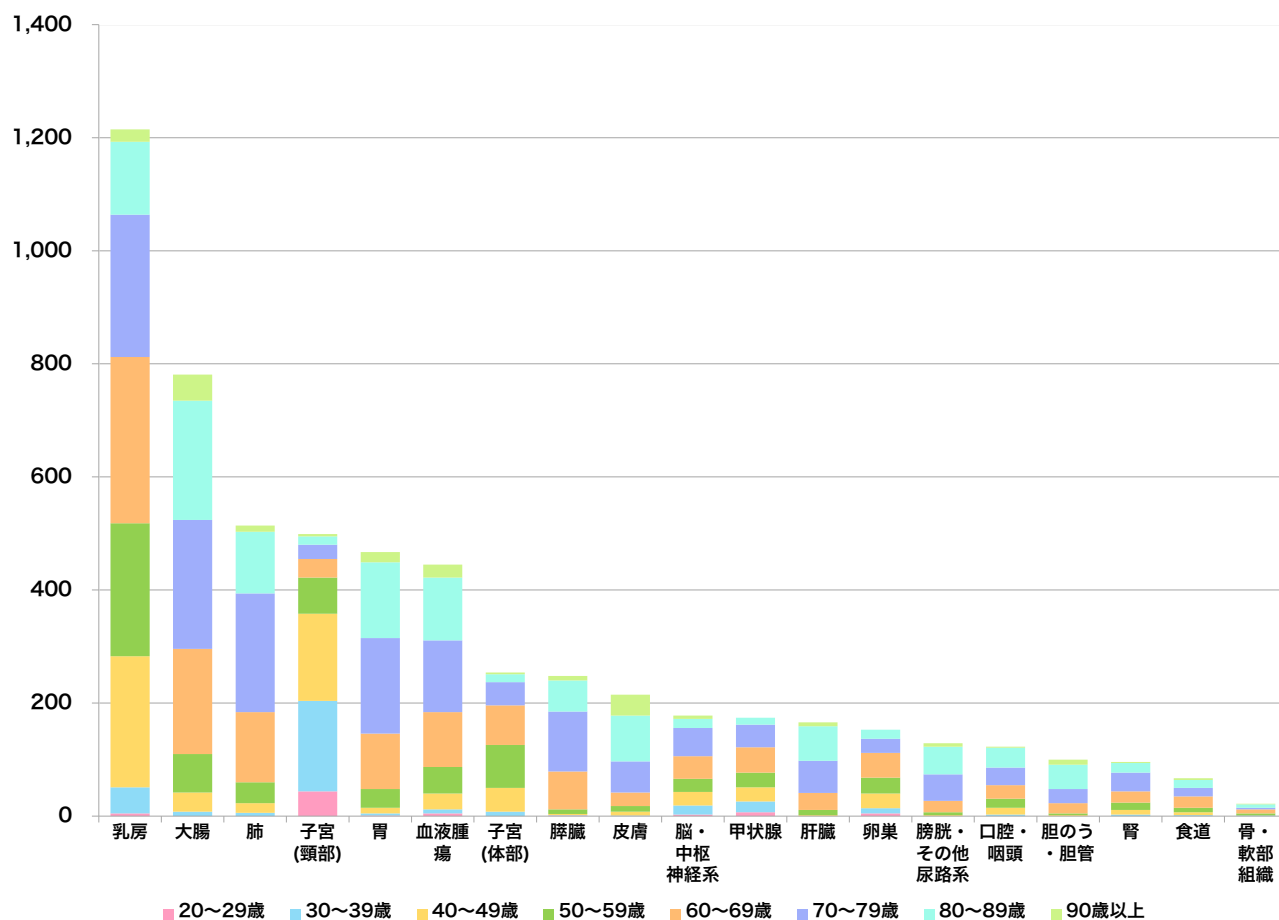
部別 年齢階級別 男性



	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
胃	1~3	1~3	24	61	285	446	303	26	1,150
肺		1~3	17	65	298	495	227	12	1,117
大腸	1~3	13	41	110	324	398	206	18	1,112
前立腺			1~3	42	280	423	147	11	906
血液腫瘍	4~6	16	40	59	147	188	136	19	611
膀胱・ その他 尿路系			7~9	28	103	174	149	19	480
肝臓		1~3	7~9	32	85	143	99	4~6	375
食道		1~3	7~9	29	131	149	40	1~3	361
膵臓		1~3	7~9	19	84	134	37	1~3	286
口腔・咽頭	1~3	1~3	15	27	88	93	33	1~3	262
皮膚	1~3	1~3	4~6	17	35	79	79	21	238
腎		1~3	17	25	64	73	29		211
胆のう・胆管		1~3	1~3	1~3	32	54	41	7~9	140
脳・ 中枢 神経系	7~9	7~9	13	12	31	36	10	1~3	117
甲状腺	1~3	4~6	7~9	17	17	18	7~9		72
骨・軟部組織	1~3	1~3	4~6	1~3	4~6	11	7~9		32
その他のがん	12	15	34	42	104	145	88	13	453
総計	33	74	253	589	2,113	3,059	1,638	164	7,923

注) その他のがんについては数値のみ表記

部位別 年齢階級別 女性

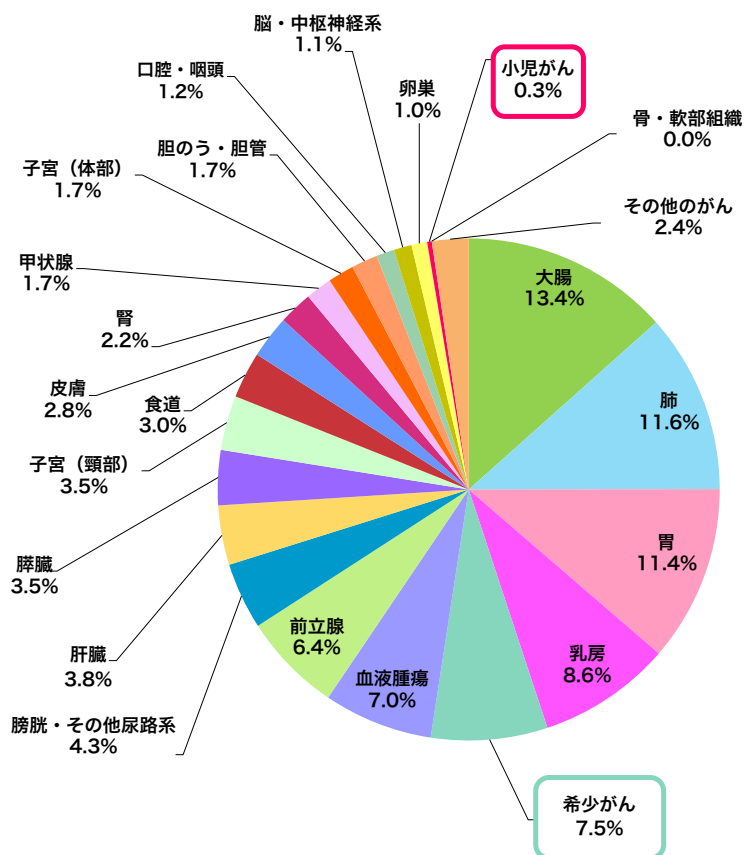


	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
乳房	4-6	46	232	235	294	252	129	22	1,215
大腸		7-9	34	68	186	228	211	46	781
肺		4-6	17	37	124	210	109	11	514
子宮 (頸部)	44	160	154	64	33	25	15	4-6	499
胃	1-3	4-6	10	33	98	169	134	18	467
血液腫瘍	4-6	7-9	28	47	97	127	111	23	445
子宮 (体部)		7-9	42	76	70	41	14	1-3	254
膵臓	1-3	1-3	1-3	7-9	67	106	55	7-9	248
皮膚		1-3	7-9	10	24	55	81	37	215
脳・中枢神経系	1-3	16	24	23	40	50	16	4-6	178
甲状腺	7-9	19	25	26	45	40	12		174
肝臓			1-3	7-9	30	57	61	7-9	166
卵巣	4-6	7-9	26	28	44	25	16		153
膀胱・その他尿路系			1-3	4-6	20	47	49	4-6	129
口腔・咽頭		1-3	12	16	24	31	35	1-3	123
胆のう・胆管			1-3	1-3	18	25	43	7-9	100
腎		1-3	7-9	13	20	33	17	1-3	96
食道		1-3	4-6	7-9	20	15	14	1-3	67
骨・軟部組織		1-3		4-6	7-9	1-3	4-6	1-3	22
その他のがん	1-3	11	23	39	60	84	55	14	287
総計	72	305	655	752	1,321	1,623	1,183	222	6,133

注) その他のがんについては数値のみ表記

部位別 初回治療数（小児がん・希少がん別集計）

部位別 全体



部位	登録数
大腸	1,892
肺	1,631
胃	1,602
乳房	1,212
希少がん	1,058
血液腫瘍	992
前立腺	905
膀胱・その他尿路系	605
肝臓	541
脾臓	499
子宮（頸部）	496
食道	421
皮膚	389
腎	306
甲状腺	240
子宮（体部）	238
胆のう・胆管	238
口腔・咽頭	164
脳・中枢神経系	162
卵巣	142
小児がん	42
骨・軟部組織	0
その他のがん	332
総計	14,107

希少がん 内訳

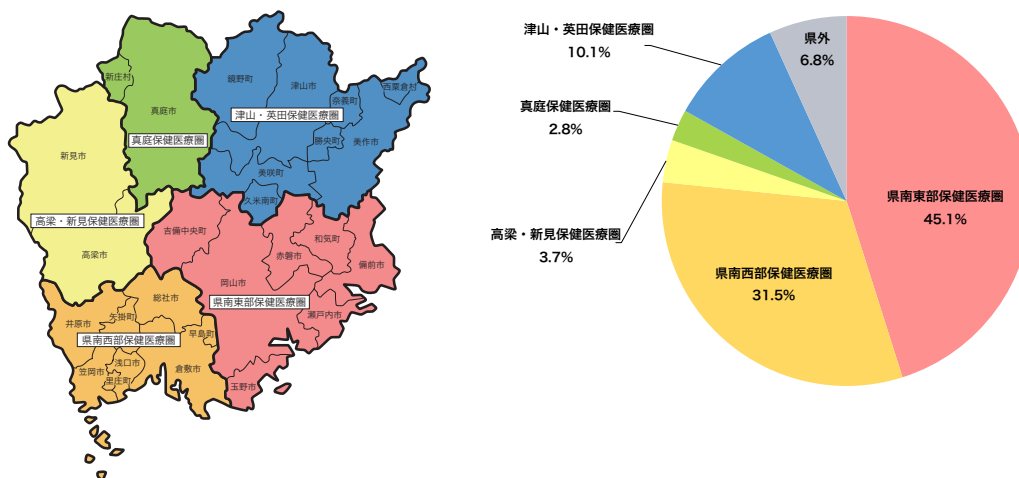
希少がん 種類	登録数
鼻腔、副鼻腔の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASAL CAVITY AND SINUSES)	12
鼻咽頭の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASOPHARYNX)	7-9
大唾液腺、唾液腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MAJOR SALIVARY GLANDS AND SALIVARY-GLAND TYPE TUMOURS)	34
口腔の上皮性腫瘍 (Squamous cell carcinoma with variants of oral cavity)	181
小腸の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF SMALL INTESTINE)	20
肛門管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF ANAL CANAL)	11
気管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOUR OF TRACHEA)	0
胸腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF THYMUS)	45
子宮の上皮間葉系の混合性腫瘍 (MIXED EPITHELIAL AND MESENCHYMAL TUMOURS OF UTERUS)	17
卵巣の非上皮性腫瘍 (NON EPITHELIAL TUMOURS OF OVARY)	7-9
外陰、膣の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF VULVA AND VAGINA)	18
胎盤のトロボプラスト性腫瘍 (TROPHOBLASTIC TUMOUR OF PLACENTA)	0
精巣、精巣上体の腫瘍 (TUMOURS OF TESTIS AND PARATESTIS)	31
陰茎の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF PENIS)	16
眼と付属器の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF EYE AND ADNEXA)	1-3
中耳の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MIDDLE EAR)	1-3
悪性中皮腫 (MALIGNANT MESOTHELIOMA)	24
皮膚のメラノーマ (MALIGNANT SKIN MELANOMA)	37
粘膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF MUCOSA)	4-6
ぶどう膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF UVEA)	1-3
皮膚付属器腫瘍 (ADNEXAL CARCINOMA OF SKIN)	19
胎芽性腫瘍 (EMBRYONAL NEOPLASMS)	1-3
性腺外胚細胞腫瘍 (EXTRAGONADAL GERM CELL TUMOURS)	1-3
軟部肉腫 (SOFT TISSUE SARCOMA)	131
骨肉腫 (BONE SARCOMA)	4-6
GIST、悪性 (GASTROINTESTINAL STROMAL SARCOMA)	84
カポジ肉腫 (KAPOSI'S SARCOMA)	1-3
神経内分泌腫瘍 (NEUROENDOCRINE TUMOURS)	150
中枢神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CENTRAL NERVOUS SYSTEM (CNS))	58
中枢神経、松果体の非グリオーマ (NON GLIAL TUMOURS OF CNS AND PINEAL GLAND)	1-3
髄膜腫 (MALIGNANT MENINGIOMAS)	62
末梢神経、脳神経、自律神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM)	0
末梢神経、脳神経、自律神経、傍神経節の非グリオーマ (NON-GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM AND PARAGANGLIA)	1-3
T及びNK細胞リンパ腫 (Non Hodgkin Mature T cell and NK-cell neoplasms)	61
骨髄異形成症候群 (MYELOYDYSPLASTIC/MYELOPROLIFERATIVE DISEASES)	4-6
組織球、樹状細胞性腫瘍 (HISTIOCYTIC AND DENDRITIC CELL NEOPLASMS)	0

※複数該当の場合は両方でカウント

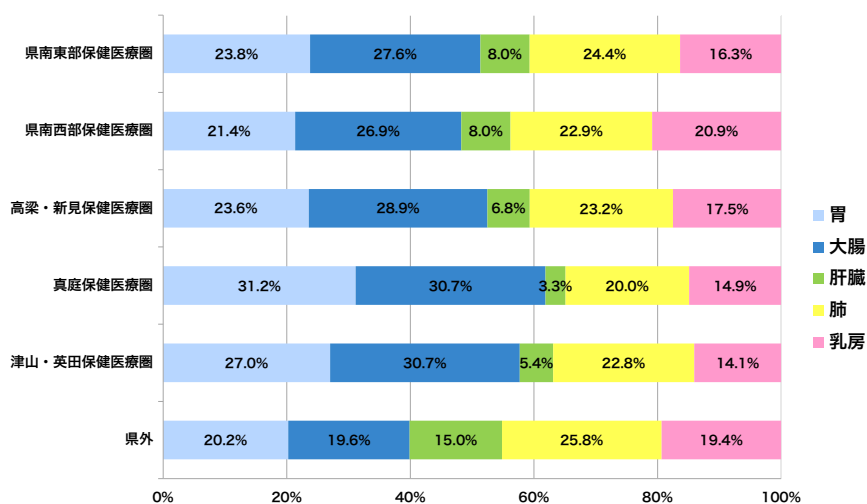
二次保健医療圏別の登録数

二次保健医療圏別 登録数と登録割合

圏域名	市町村名	13施設 登録数	割合
県南東部保健医療圏	岡山市北区 岡山市中区 岡山市南区 岡山市東区 玉野市 備前市 瀬戸内市 赤磐市 和気郡和気町 加賀郡吉備中央町	6,364	45.1%
県南西部保健医療圏	倉敷市 笠岡市 井原市 総社市 浅口市 都窪郡早島町 浅口郡里庄町 小田郡矢掛町	4,446	31.5%
高梁・新見保健医療圏	高梁市 新見市	524	3.7%
真庭保健医療圏	真庭市 真庭郡新庄村	389	2.8%
津山・英田保健医療圏	津山市 美作市 苫田郡鏡野町 勝田郡勝央町 勝田郡奈義町 英田郡西粟倉村 久米郡久米南町 久米郡美咲町	1,425	10.1%
県外		959	6.8%
合計		14,107	100.0%



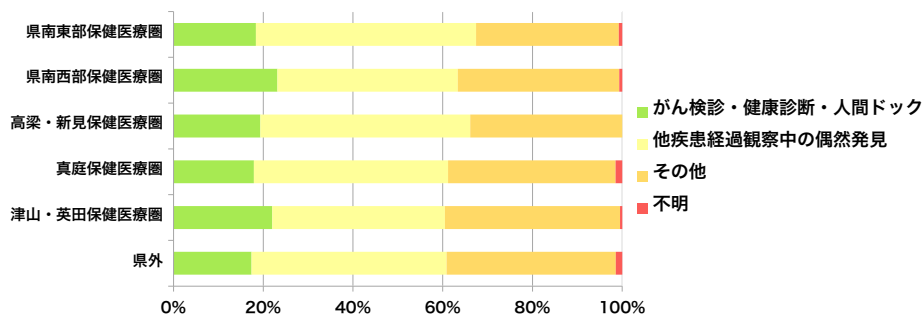
二次保健医療圏別 登録数と登録割合（5大がん）



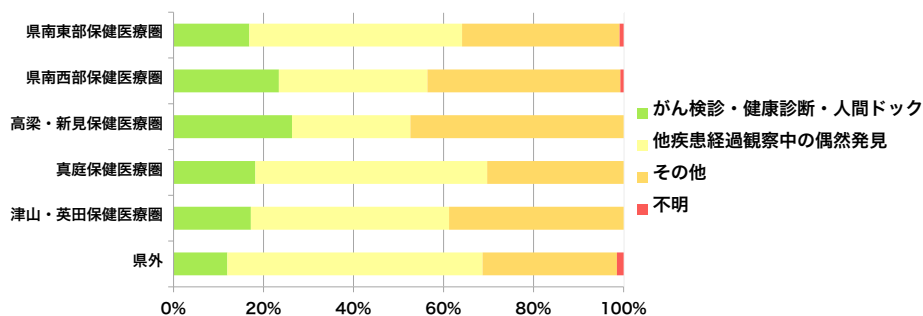
保健医療圏	医療圏別合計	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
県南東部	3,255	774 (23.8%)	897 (27.6%)	259 (8.0%)	793 (24.4%)	532 (16.3%)
県南西部	2,083	445 (21.4%)	560 (26.9%)	166 (8.0%)	477 (22.9%)	435 (20.9%)
高梁・新見	263	62 (23.6%)	76 (28.9%)	18 (6.8%)	61 (23.2%)	46 (17.5%)
真庭	215	67 (31.2%)	66 (30.7%)	7-9 (3.3%)	43 (20.0%)	32 (14.9%)
津山・英田	740	200 (27.0%)	227 (30.7%)	40 (5.4%)	169 (22.8%)	104 (14.1%)
県外	341	69 (20.2%)	67 (19.6%)	51 (15.0%)	88 (25.8%)	66 (19.4%)

二次保健医療圏別 部位別 発見経緯

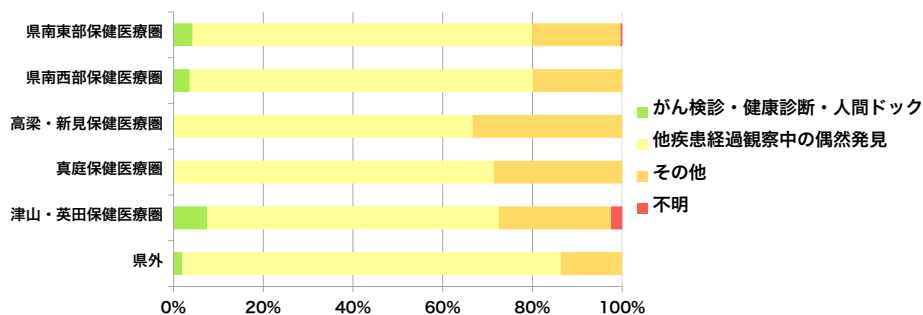
胃



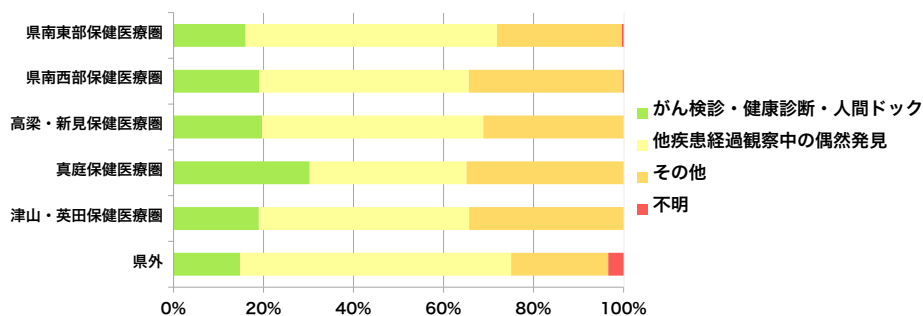
大腸



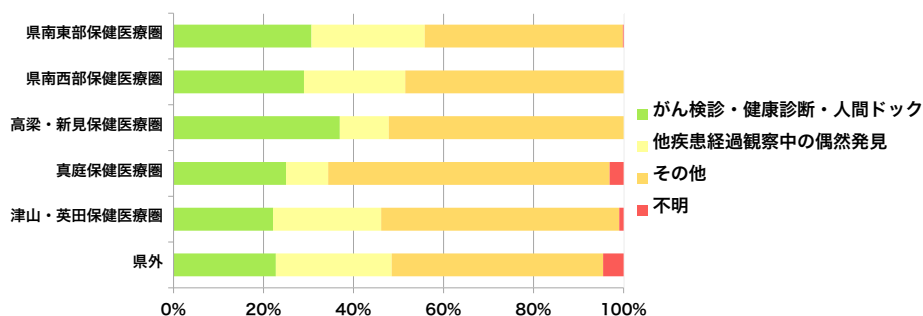
肝臓



肺

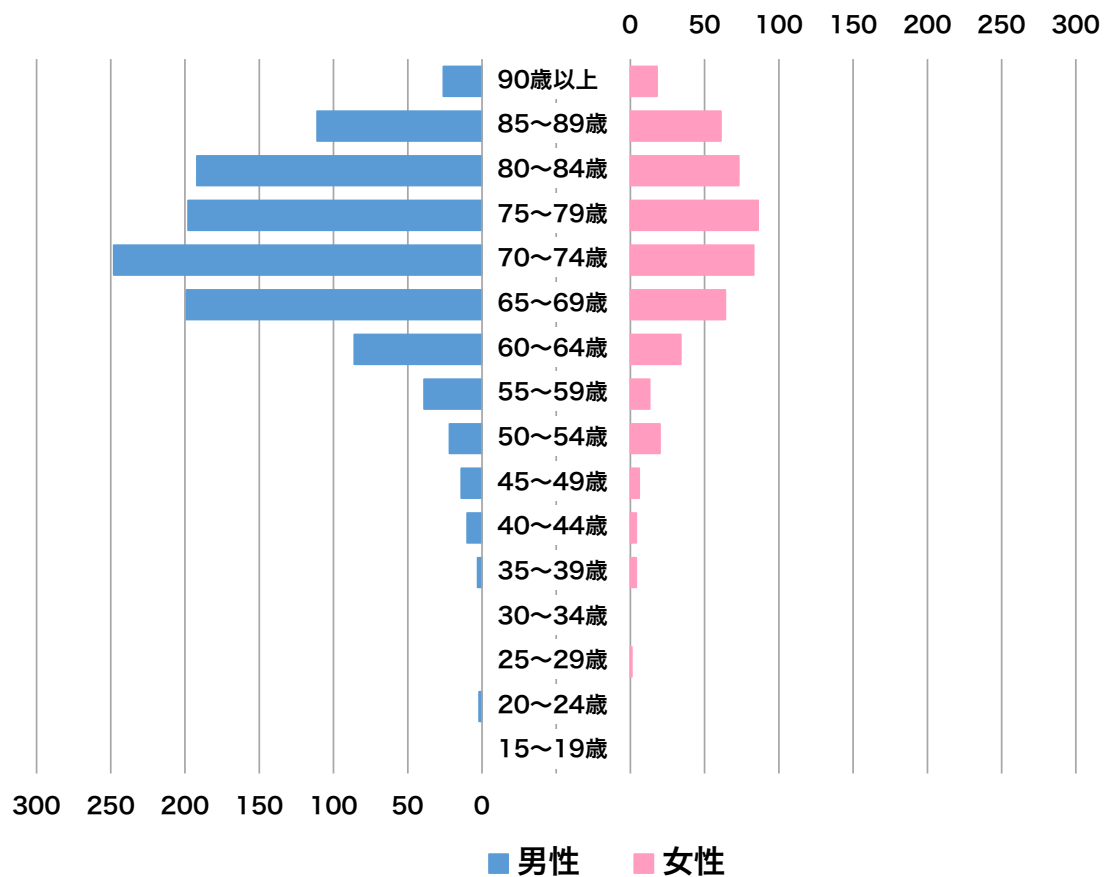


乳房

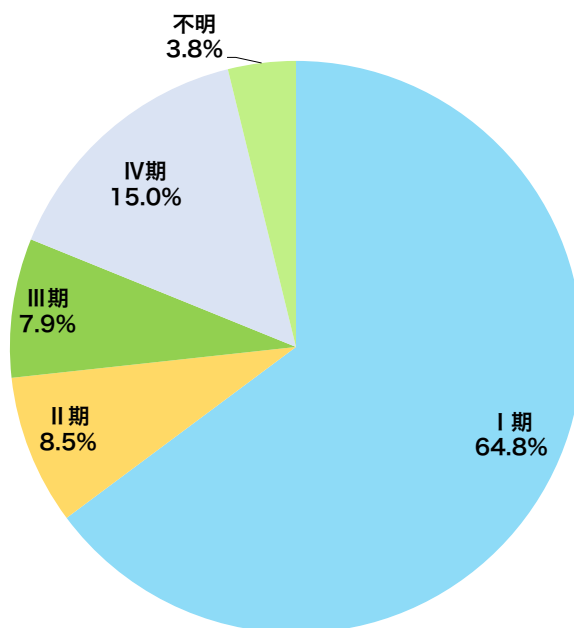


胃

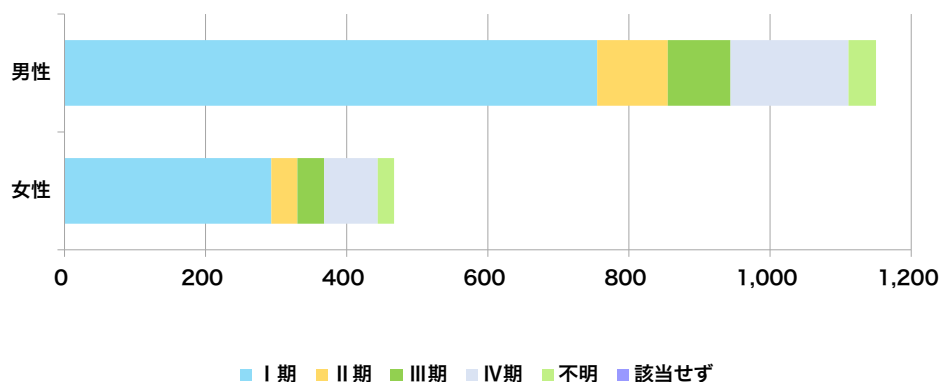
胃 年齢階級別



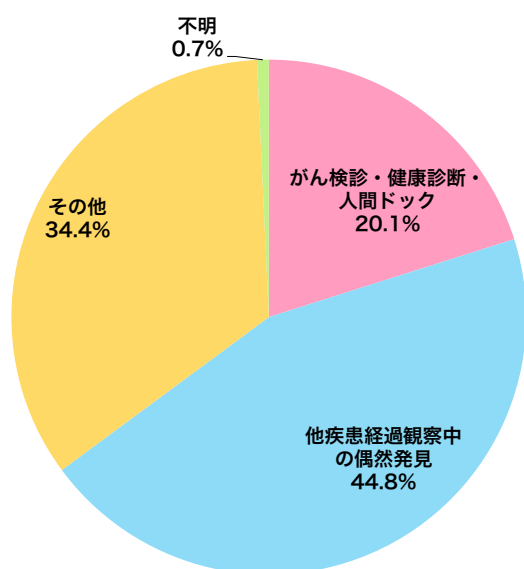
胃 ステージ 全体



胃 ステージ 性別



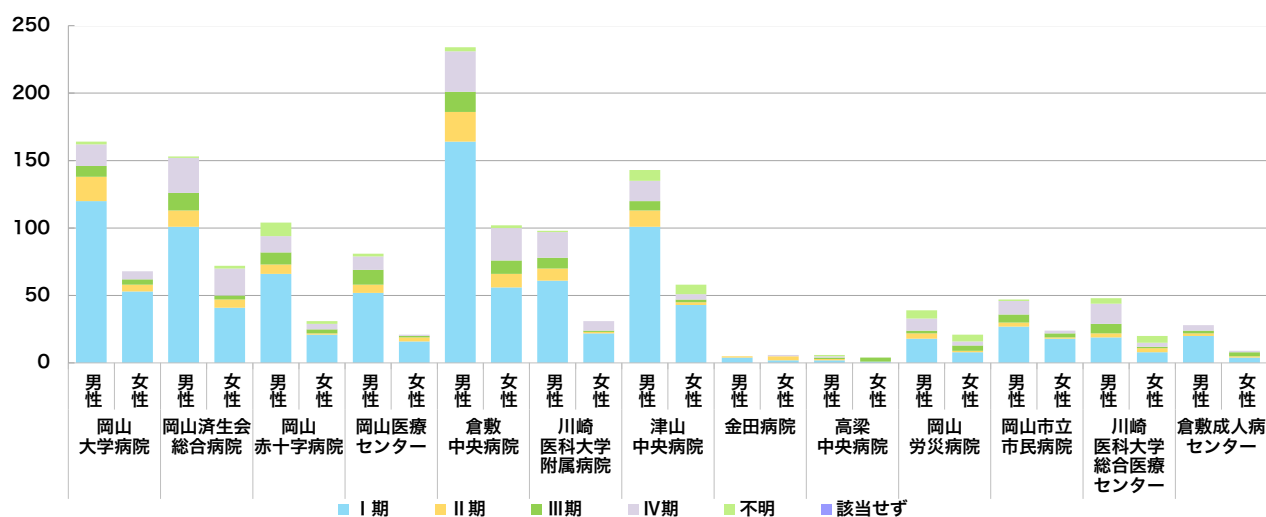
胃 発見経緯 全体



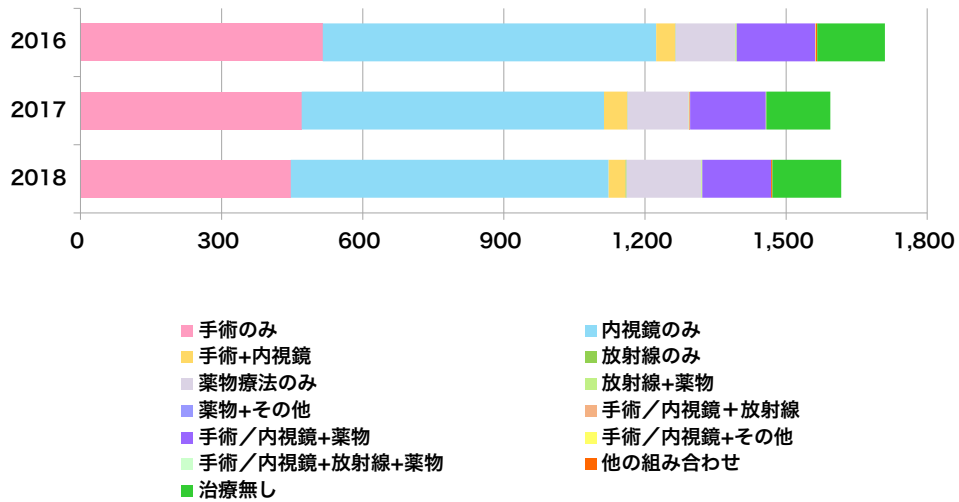
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	325
他疾患経過観察中の偶然発見	724
その他	556
不明	12
合計	1,617

※その他…自覚症状による受診を含む

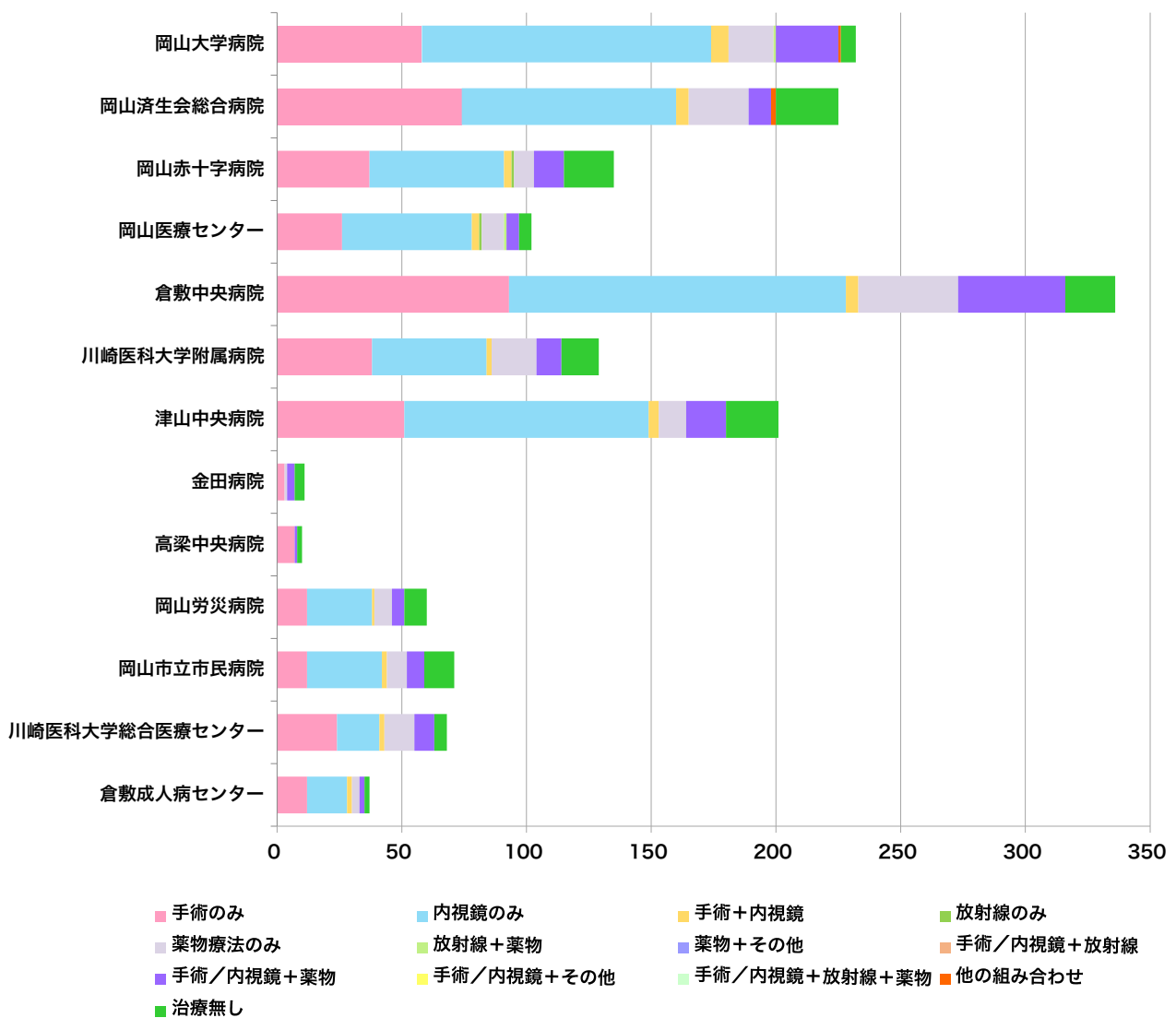
胃 ステージ 施設別



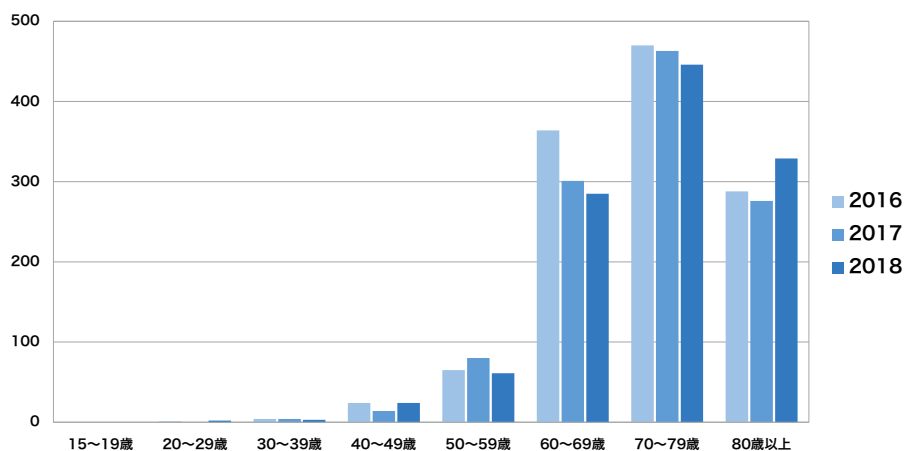
胃 初回治療法 年次推移



胃 初回治療法 施設別

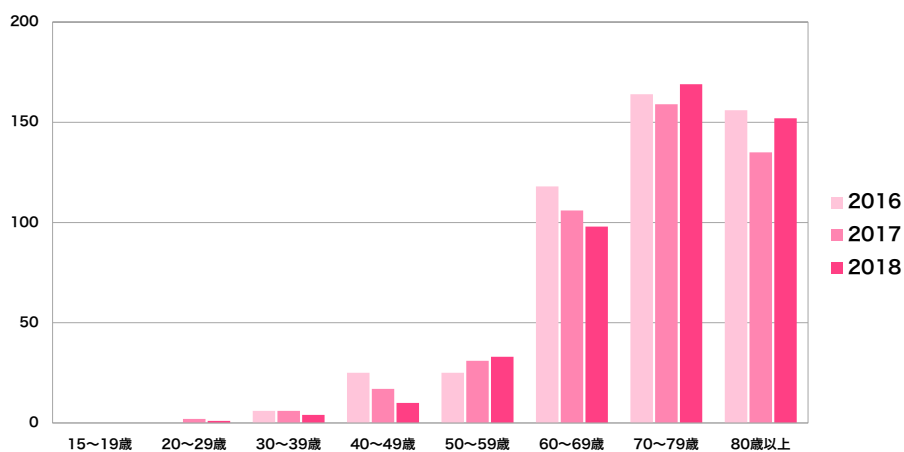


胃 年齢階級別 男性 年次推移



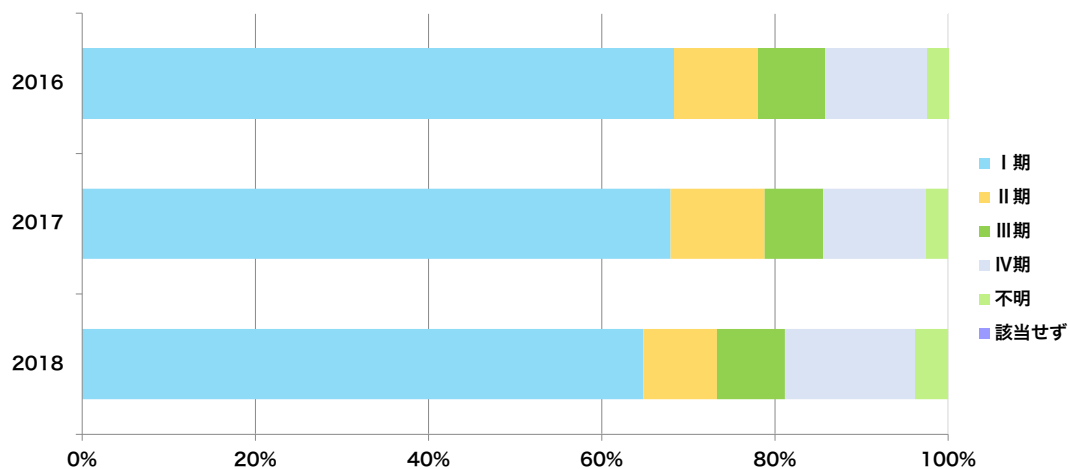
	2016	2017	2018
80歳以上	288	276	329
70~79歳	470	463	446
60~69歳	364	301	285
50~59歳	65	80	61
40~49歳	24	14	24
30~39歳	4~6	4~6	1~3
20~29歳	1~3		1~3
15~19歳			
総計	1,216	1,138	1,150

胃 年齢階級別 女性 年次推移



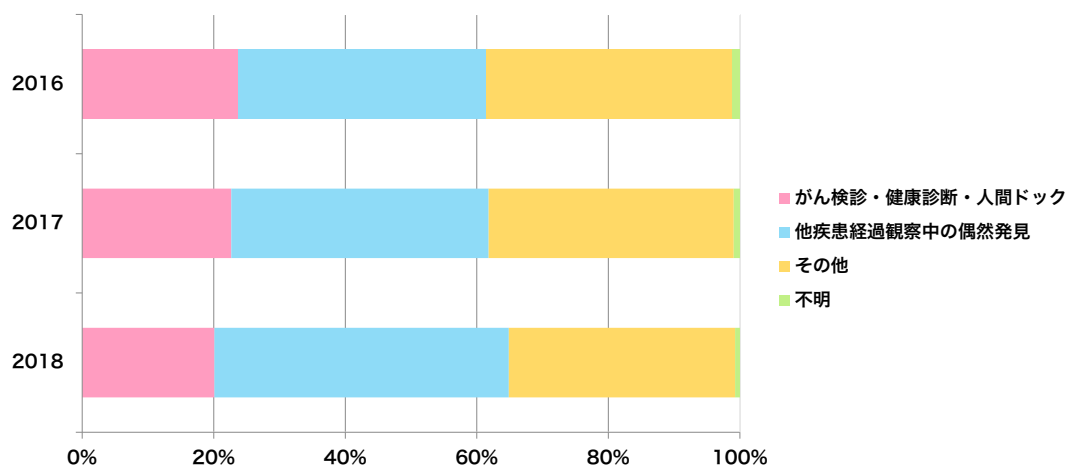
	2016	2017	2018
80歳以上	156	135	152
70~79歳	164	159	169
60~69歳	118	106	98
50~59歳	25	31	33
40~49歳	25	17	10
30~39歳	4~6	4~6	4~6
20~29歳		1~3	1~3
15~19歳			
総計	494	456	467

胃 ステージ別 年次推移



	2016	2017	2018
I期	1,169	1,083	1,048
II期	166	173	137
III期	133	108	127
IV期	200	189	243
不明	42	41	62
該当せず			
合計	1,710	1,594	1,617

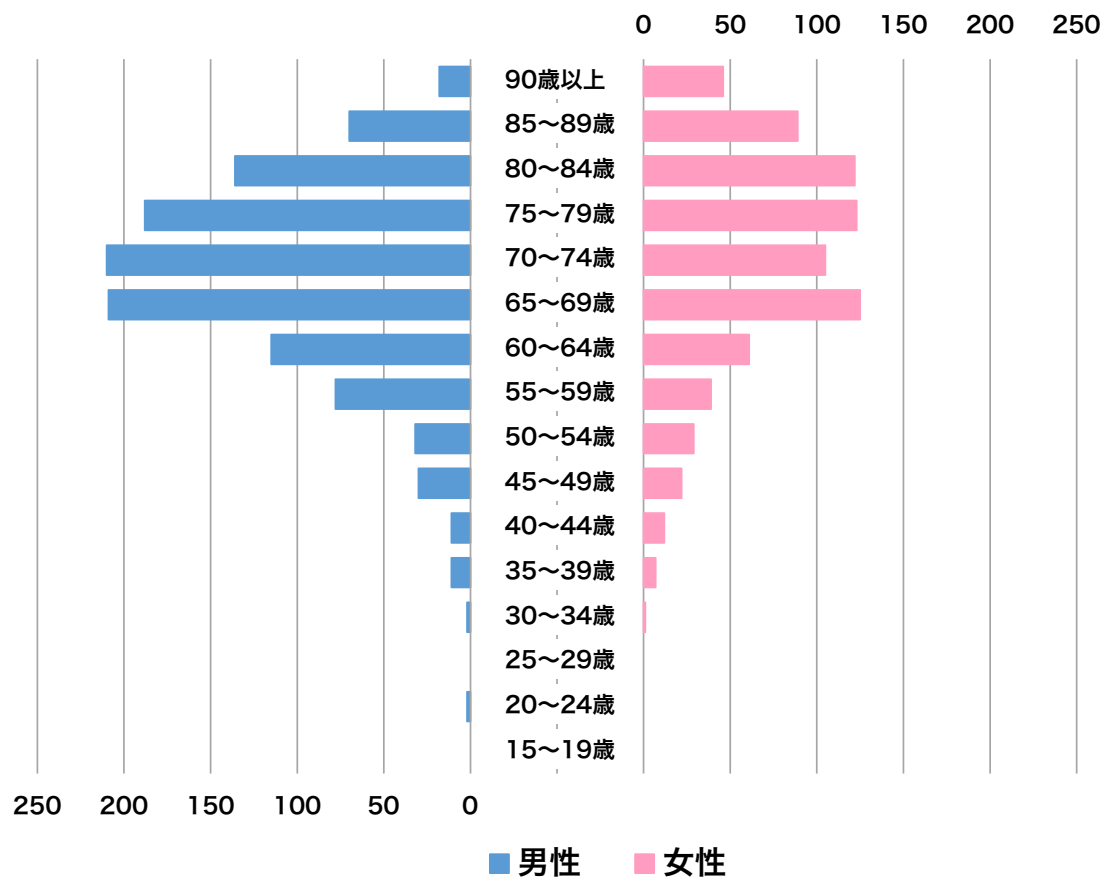
胃 発見経緯別 年次推移



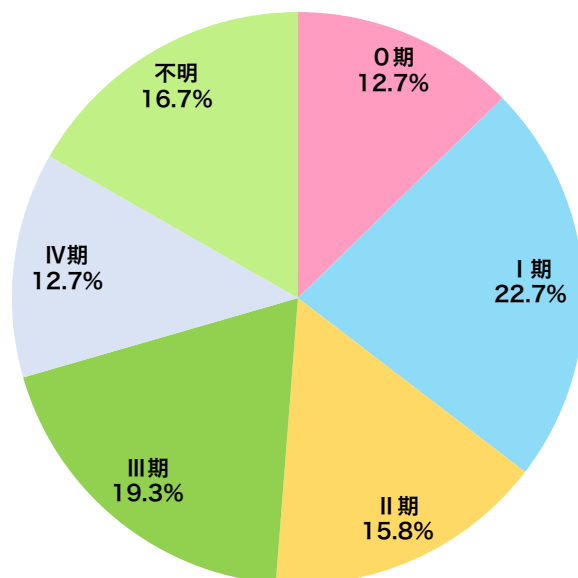
	2016	2017	2018
がん検診・健康診断・人間ドック	405	361	325
他疾患経過観察中の偶然発見	644	624	724
その他	641	594	556
不明	20	15	12
合計	1,710	1,594	1,617

大腸

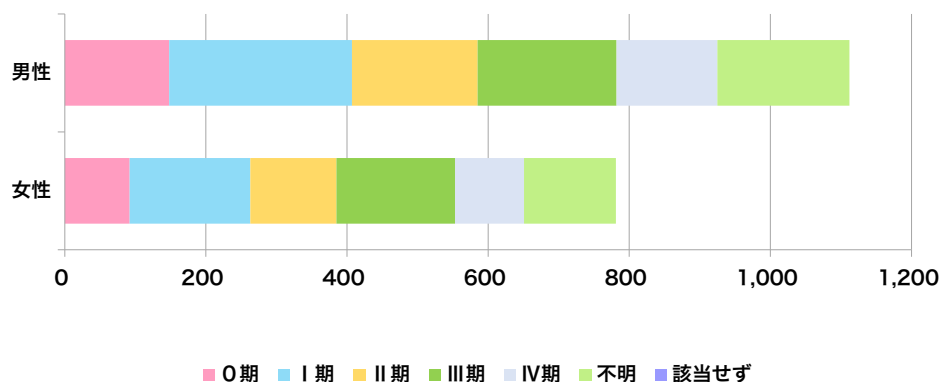
大腸 年齢階級別



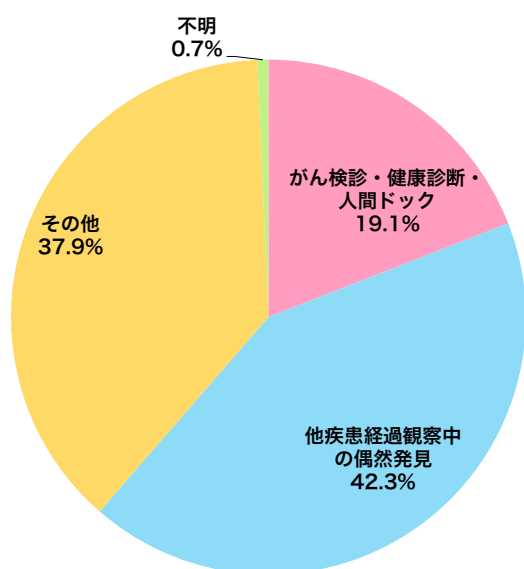
大腸 ステージ 全体



大腸 ステージ 性別



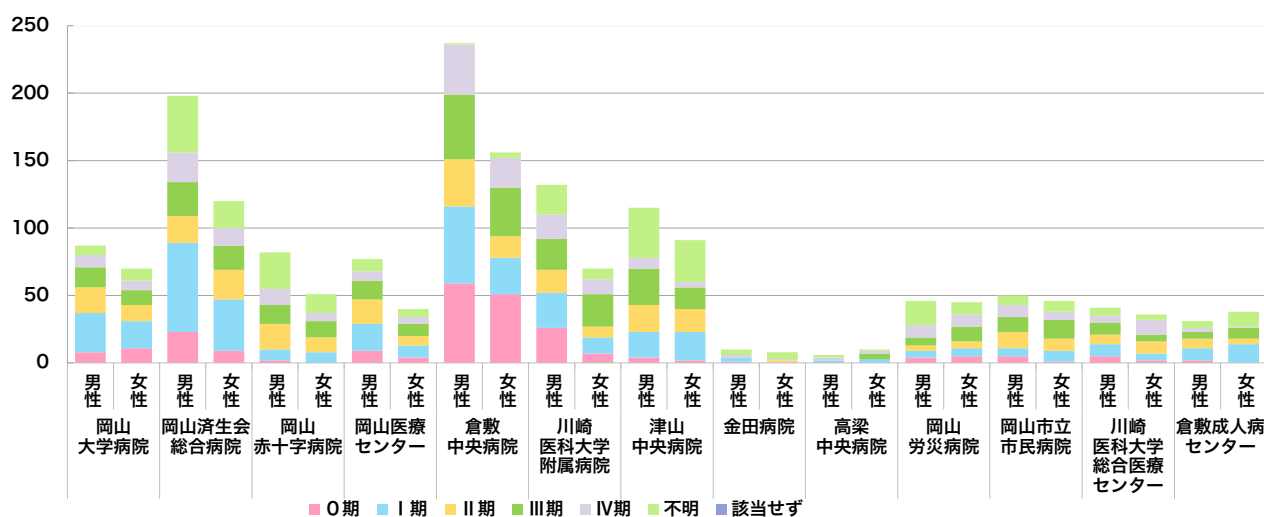
大腸 発見経緯 全体



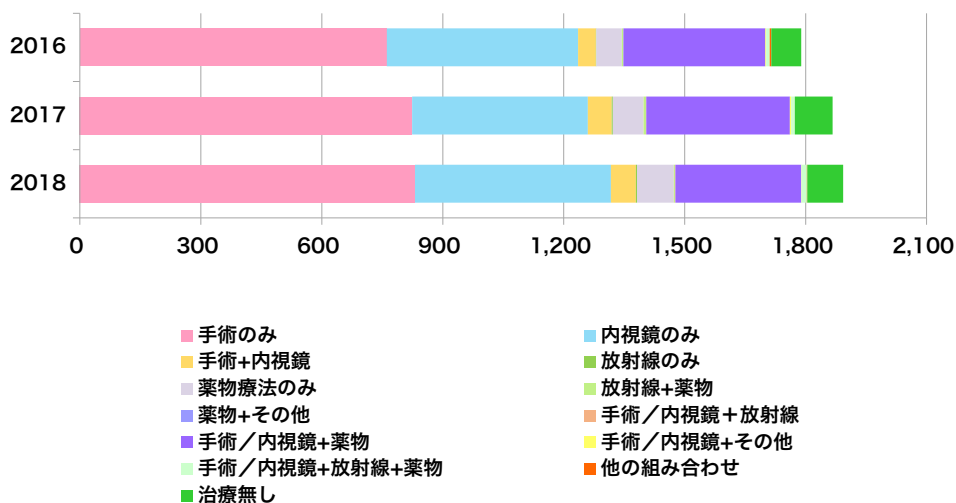
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	361
他疾患経過観察中の偶然発見	801
その他	718
不明	13
合計	1,893

※その他…自覚症状による受診を含む

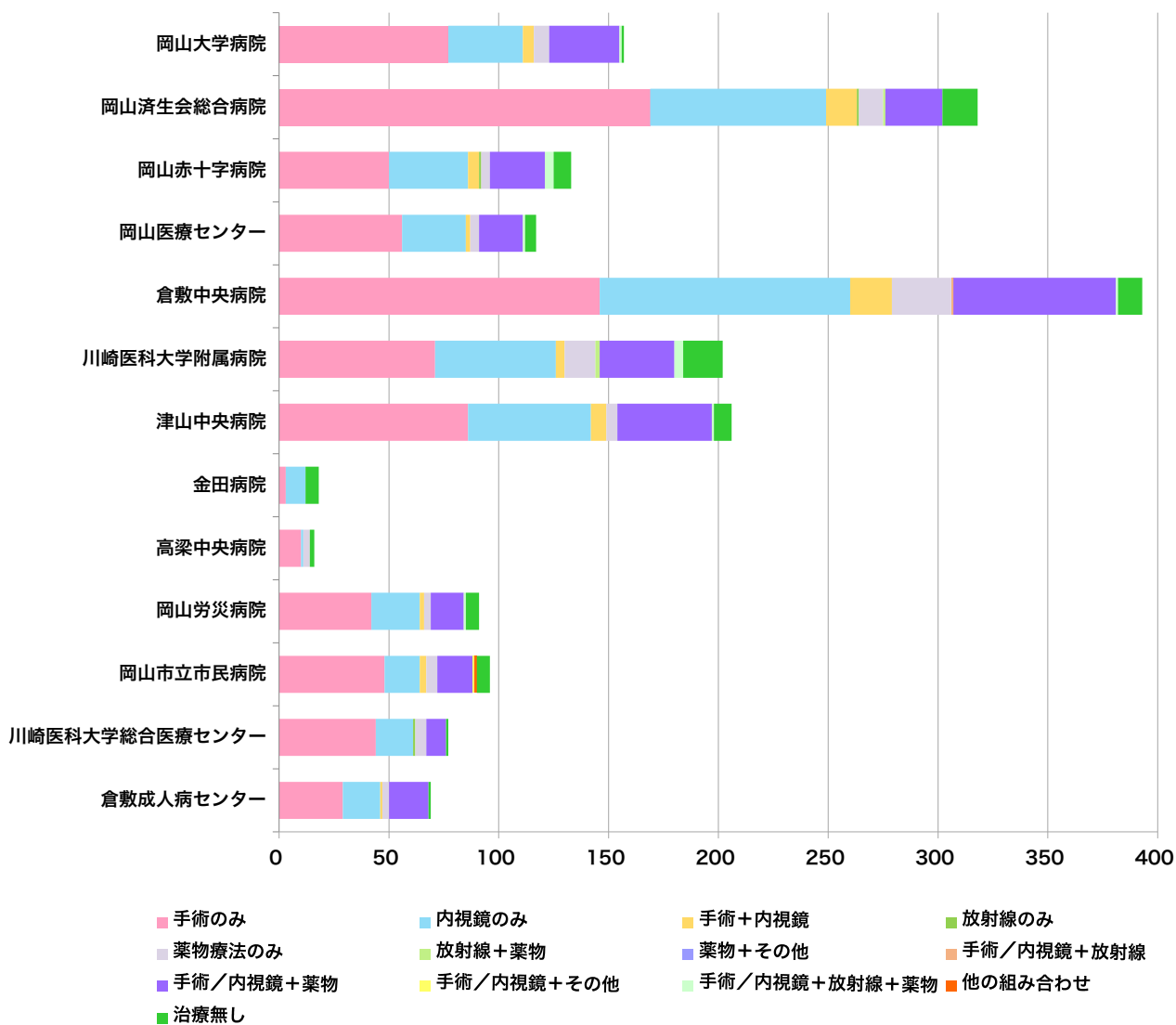
大腸 ステージ 施設別



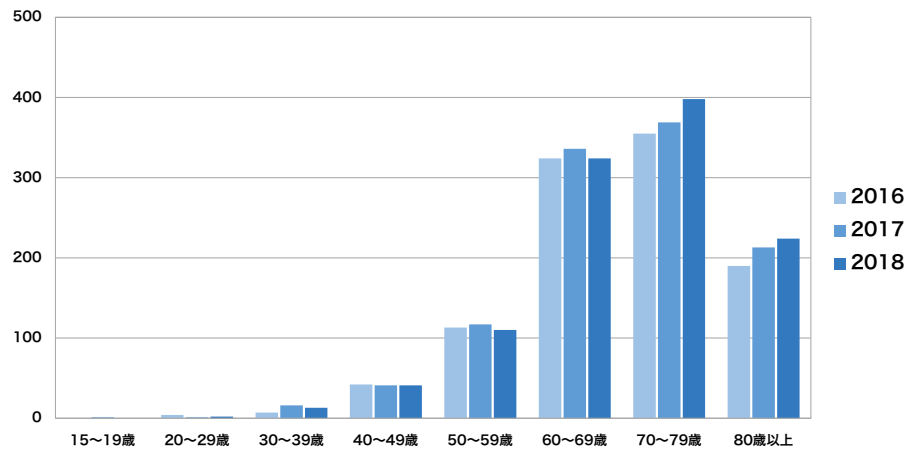
大腸 初回治療法 年次推移



大腸 初回治療法 施設別

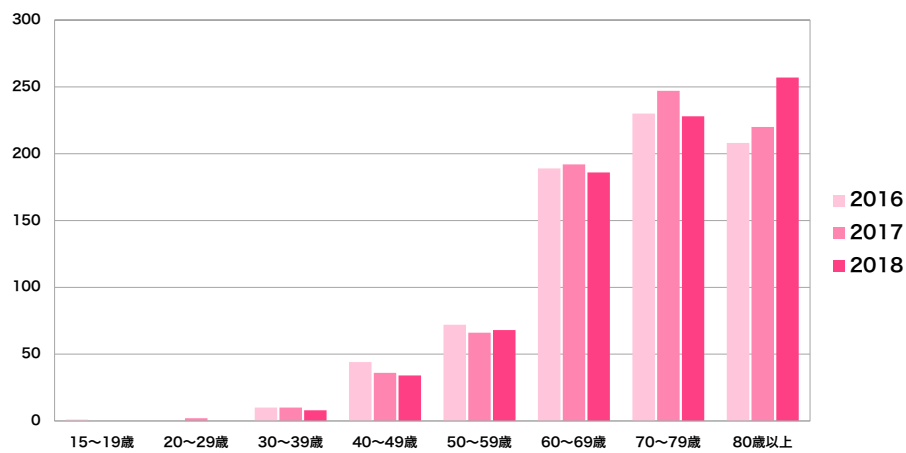


大腸 年齢階級別 男性 年次推移



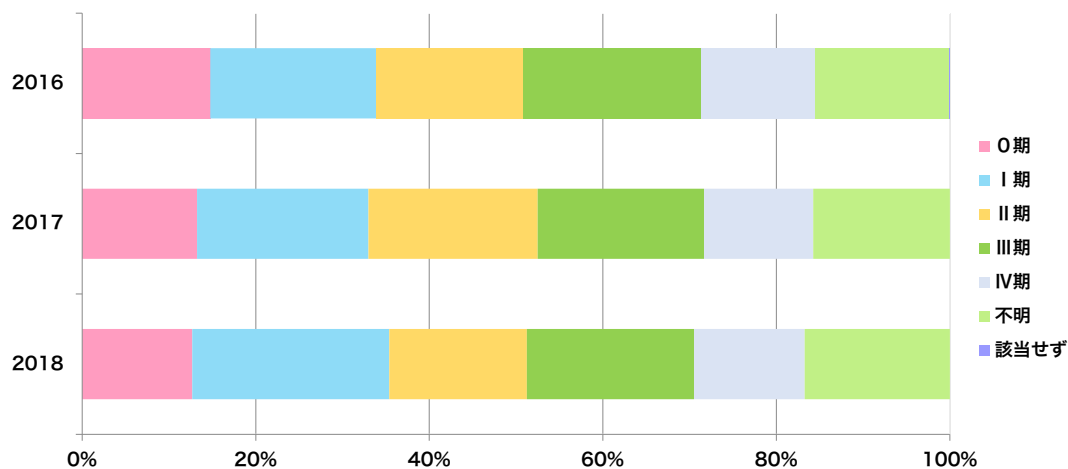
	2016	2017	2018
80歳以上	190	213	224
70～79歳	355	369	398
60～69歳	324	336	324
50～59歳	113	117	110
40～49歳	42	41	41
30～39歳	7-9	16	13
20～29歳	4-6	1-3	1-3
15～19歳		1-3	
総計	1,035	1,094	1,112

大腸 年齢階級別 女性 年次推移



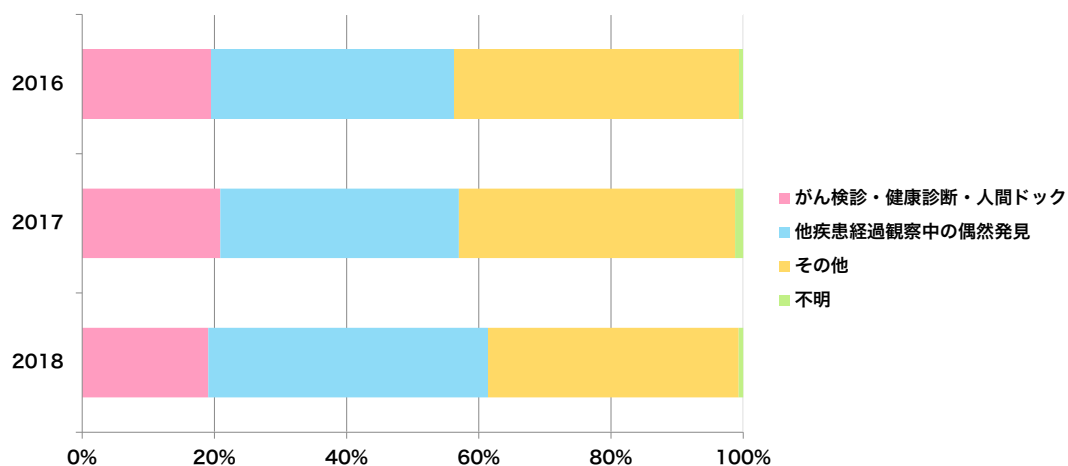
	2016	2017	2018
80歳以上	208	220	257
70～79歳	230	247	228
60～69歳	189	192	186
50～59歳	72	66	68
40～49歳	44	36	34
30～39歳	10	10	7-9
20～29歳		1-3	
15～19歳	1-3		
総計	754	773	781

大腸 ステージ別 年次推移



	2016	2017	2018
0期	264	247	240
I期	342	369	430
II期	303	364	300
III期	367	358	365
IV期	235	235	241
不明	276	294	317
該当せず	1~3		
合計	1,789	1,867	1,893

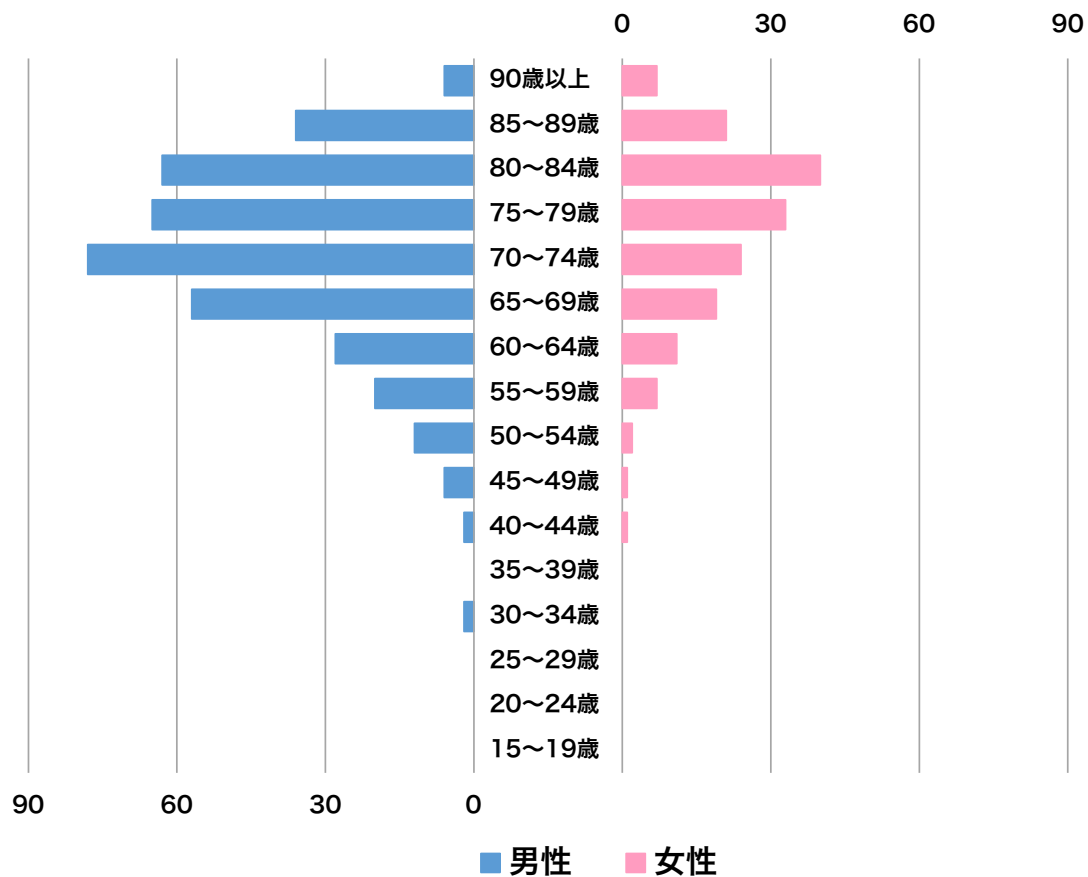
大腸 発見経緯別 年次推移



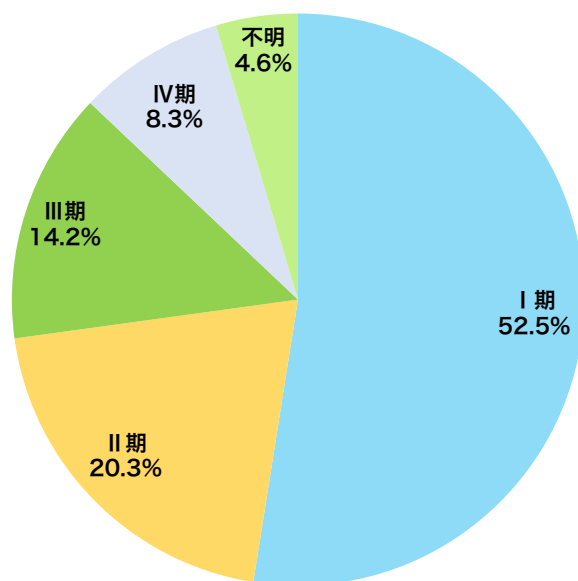
	2016	2017	2018
がん検診・健康診断・人間ドック	348	390	361
他疾患経過観察中の偶然発見	657	674	801
その他	774	780	718
不明	10	23	13
合計	1,789	1,867	1,893

肝臟

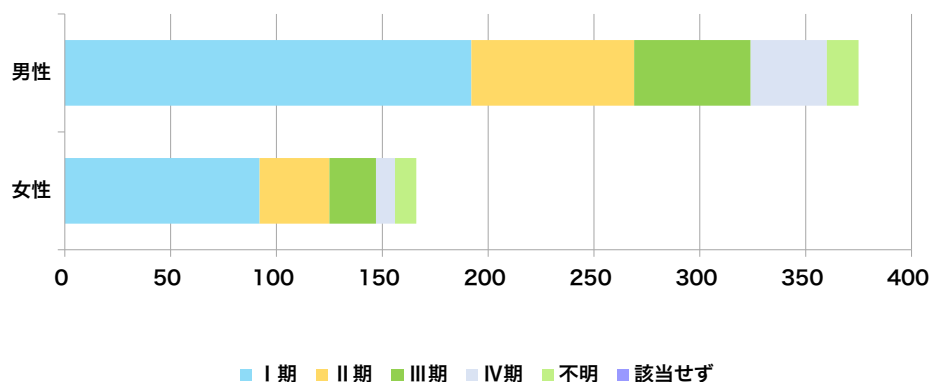
肝臓 年齢階級別



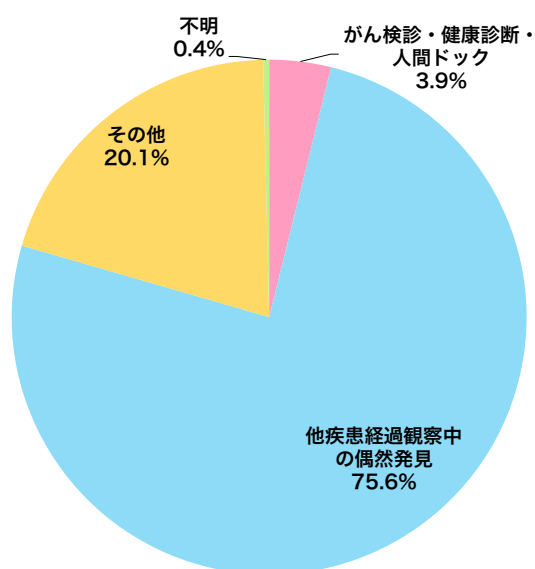
肝臓 ステージ 全体



肝臓 ステージ 性別



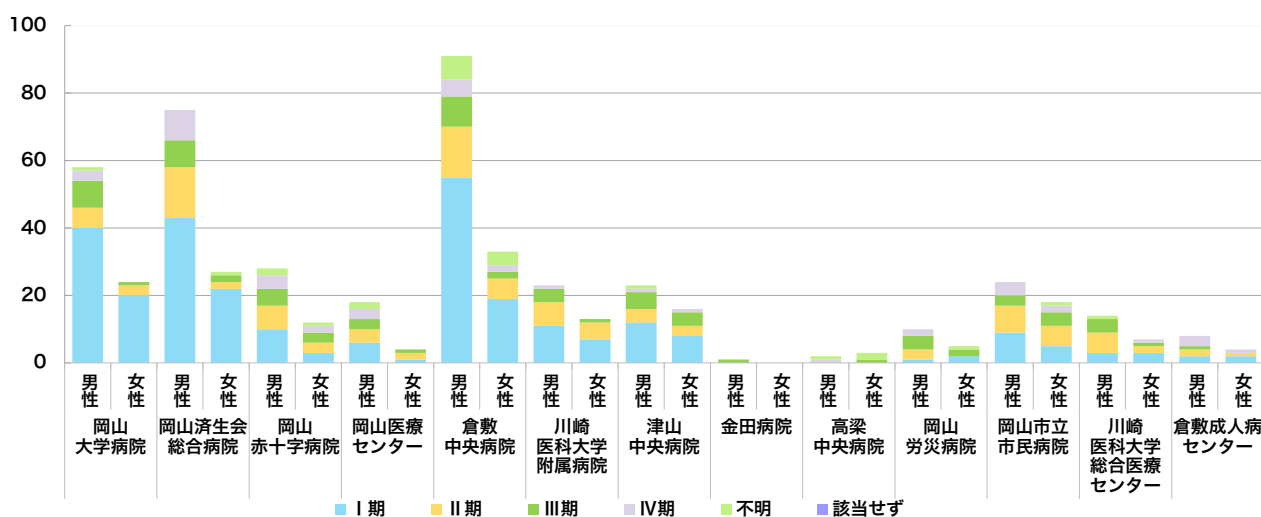
肝臓 発見経緯 全体



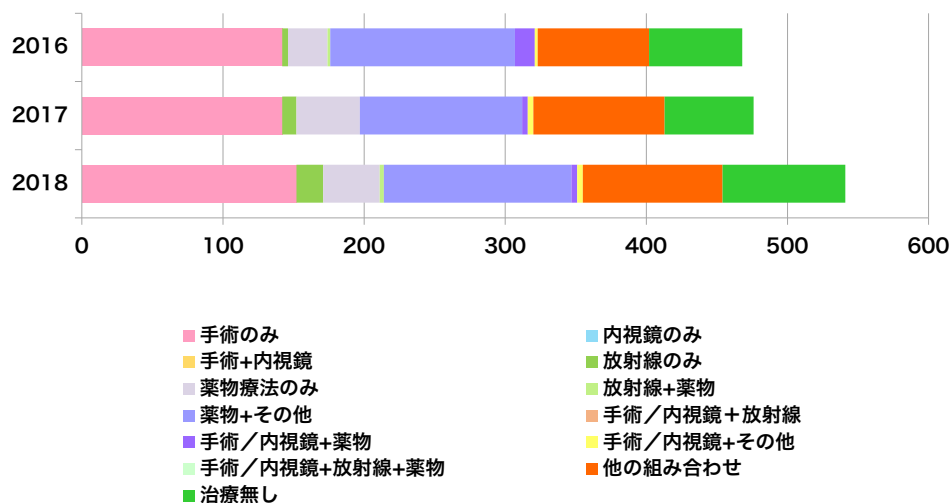
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	21
他疾患経過観察中の偶然発見	409
その他	109
不明	1~3
合計	541

※その他…自覚症状による受診を含む

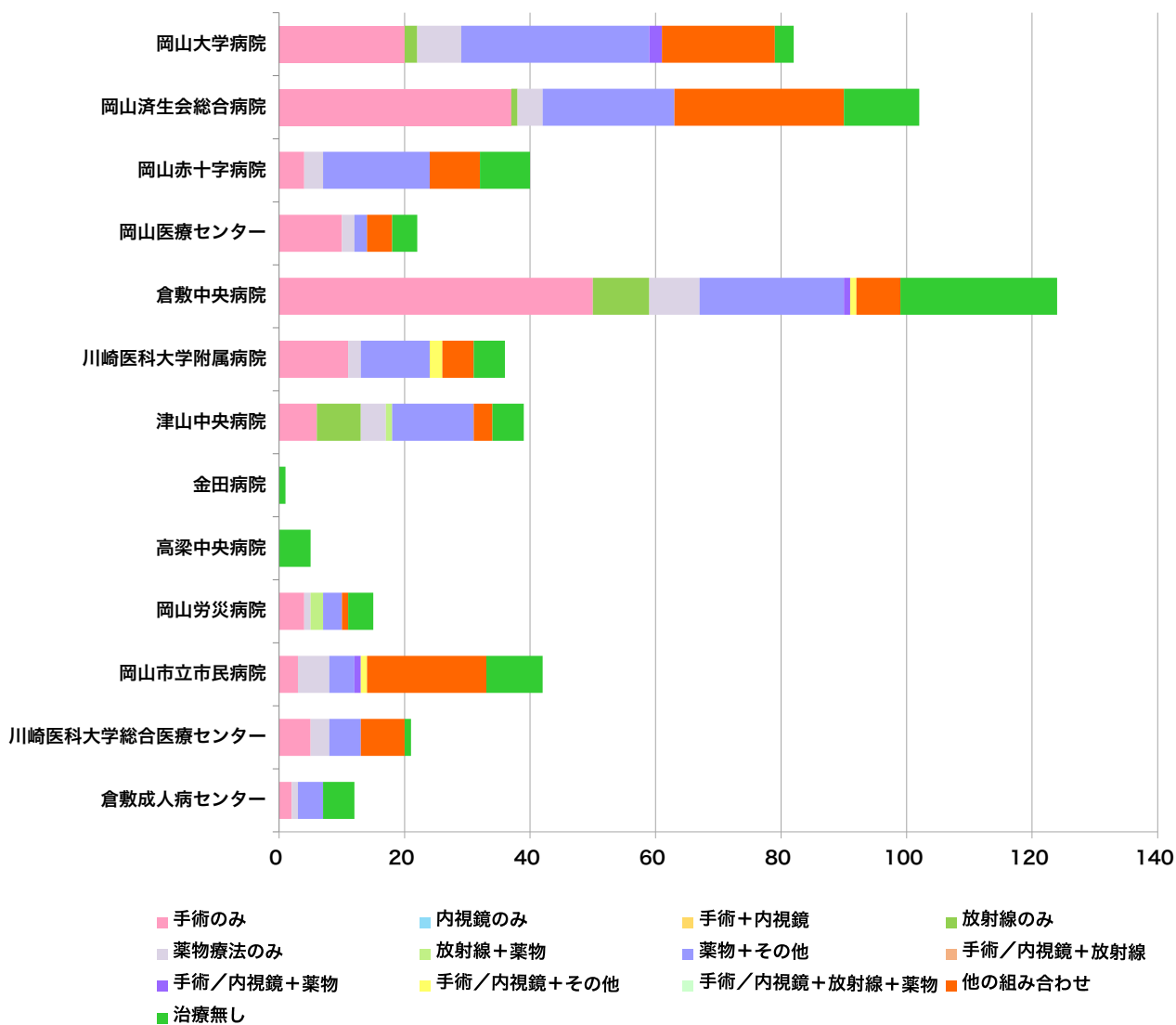
肝臓 ステージ 施設別



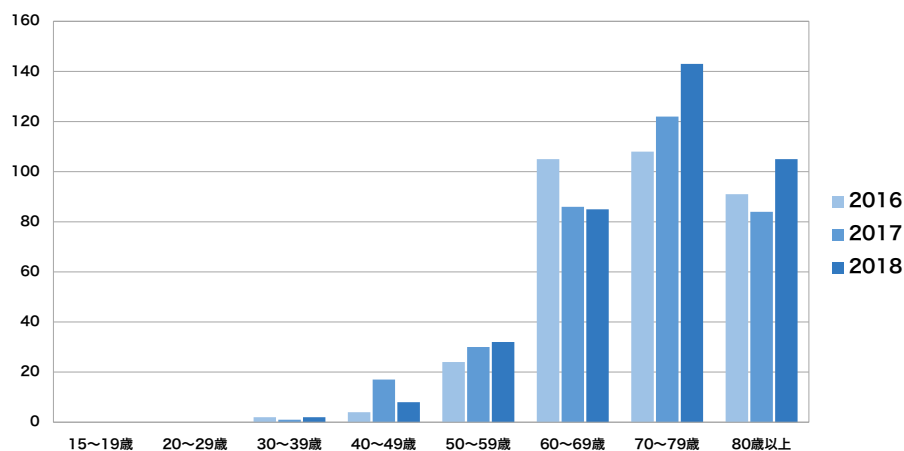
肝臓 初回治療法 年次推移



肝臓 初回治療法 施設別

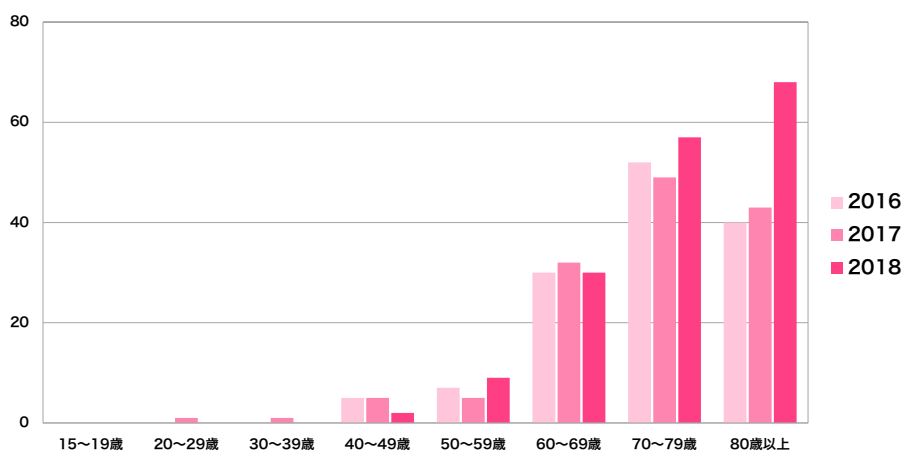


肝臓 年齢階級別 男性 年次推移



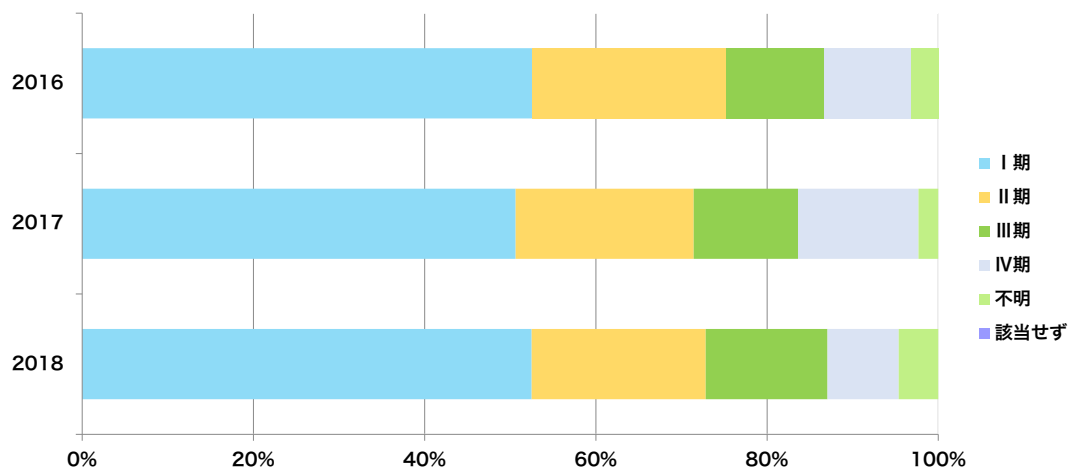
	2016	2017	2018
80歳以上	91	84	105
70~79歳	108	122	143
60~69歳	105	86	85
50~59歳	24	30	32
40~49歳	4~6	17	7~9
30~39歳	1~3	1~3	1~3
20~29歳			
15~19歳			
総計	334	340	375

肝臓 年齢階級別 女性 年次推移



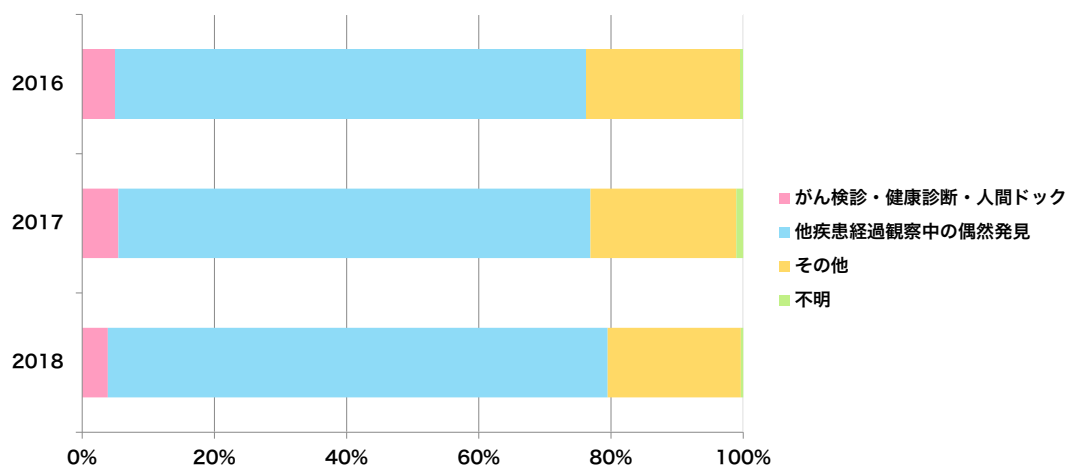
	2016	2017	2018
80歳以上	40	43	68
70~79歳	52	49	57
60~69歳	30	32	30
50~59歳	7~9	4~6	7~9
40~49歳	4~6	4~6	1~3
30~39歳		1~3	
20~29歳		1~3	
15~19歳			
総計	134	136	166

肝臓 ステージ別 年次推移



	2016	2017	2018
I期	246	241	284
II期	106	99	110
III期	54	58	77
IV期	47	67	45
不明	15	11	25
該当せず			
合計	468	476	541

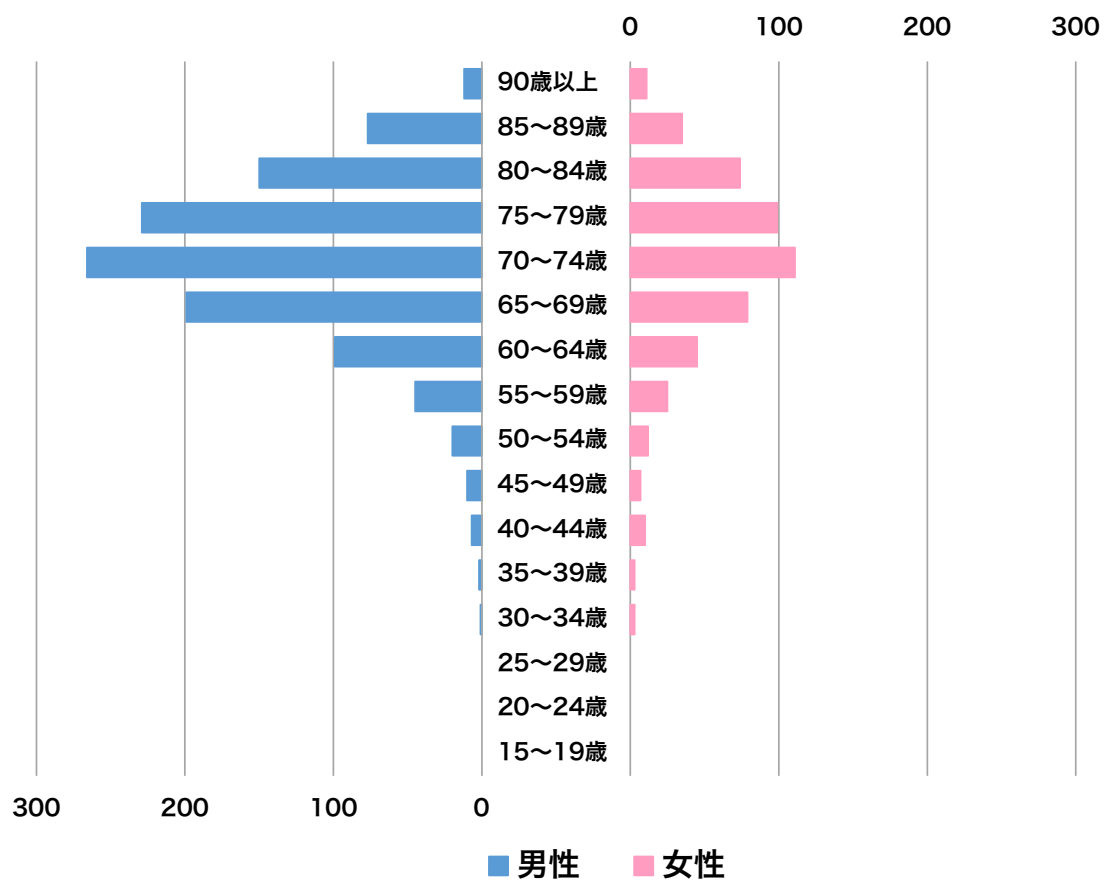
肝臓 発見経緯別 年次推移



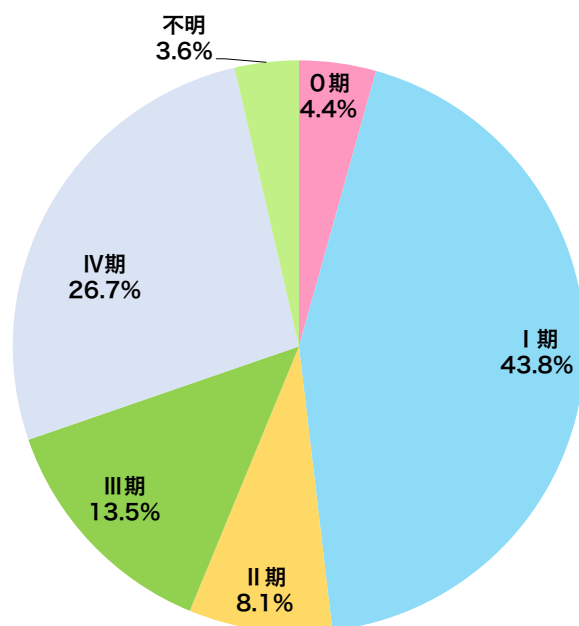
	2016	2017	2018
がん検診・健康診断・人間ドック	23	26	21
他疾患経過観察中の偶然発見	334	340	409
その他	109	105	109
不明	1~3	4~6	1~3
合計	468	476	541

肺

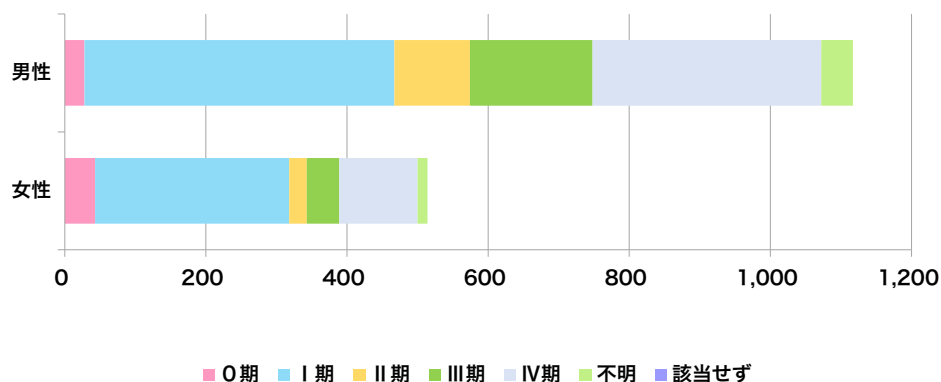
肺 年齢階級別



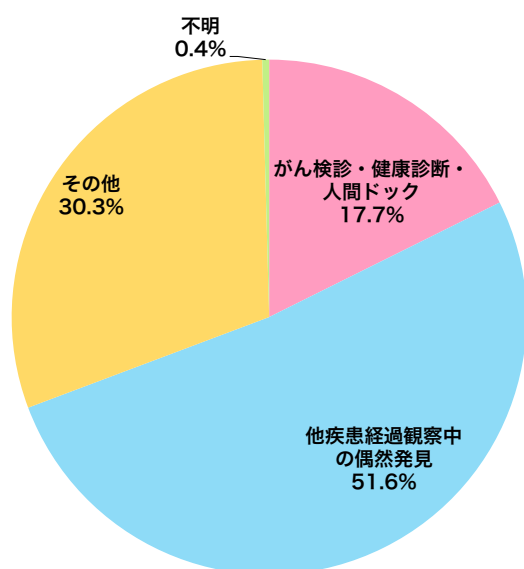
肺 ステージ 全体



肺 ステージ 性別



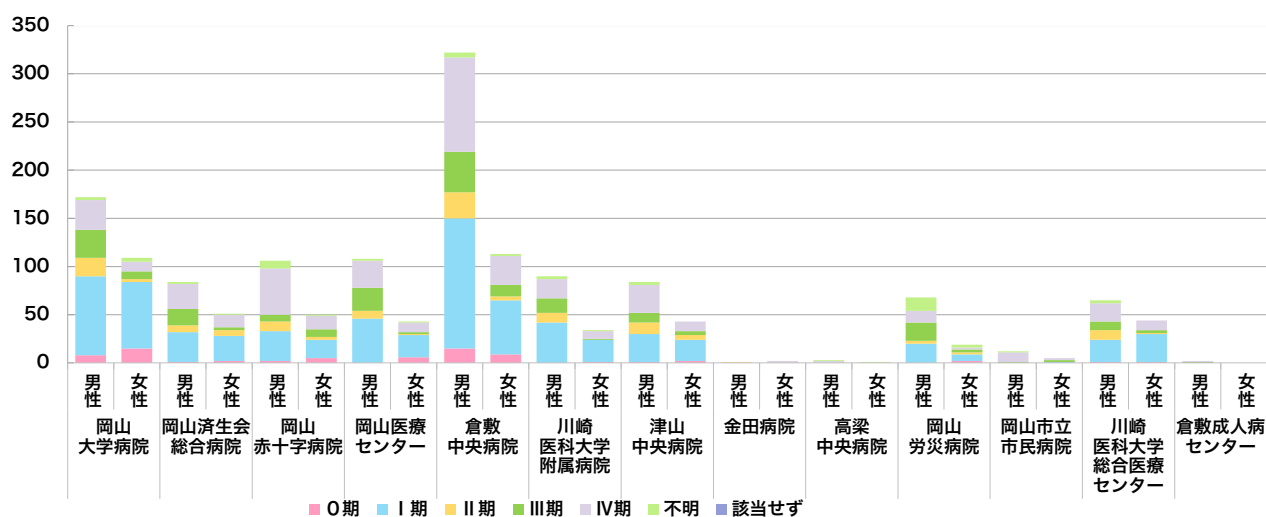
肺 発見経緯 全体



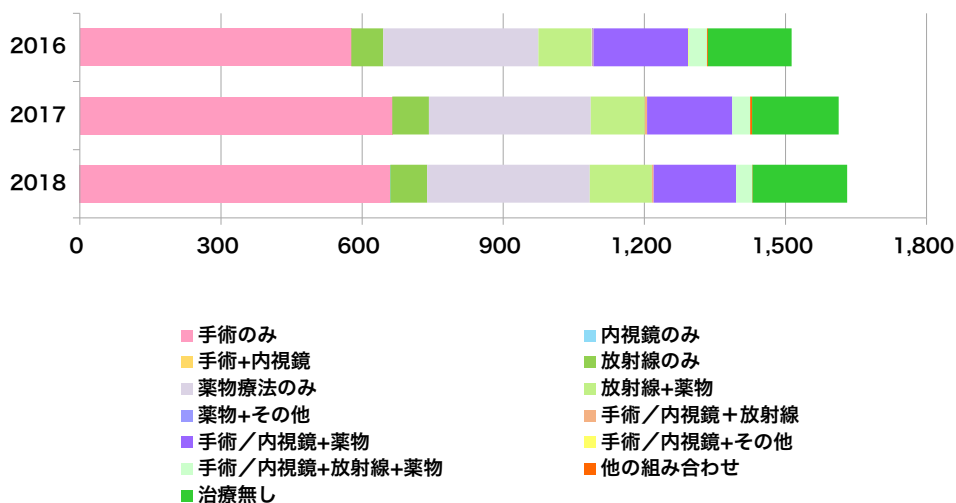
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	288
他疾患経過観察中の偶然発見	842
その他	494
不明	7~9
合計	1,631

※その他…自覚症状による受診を含む

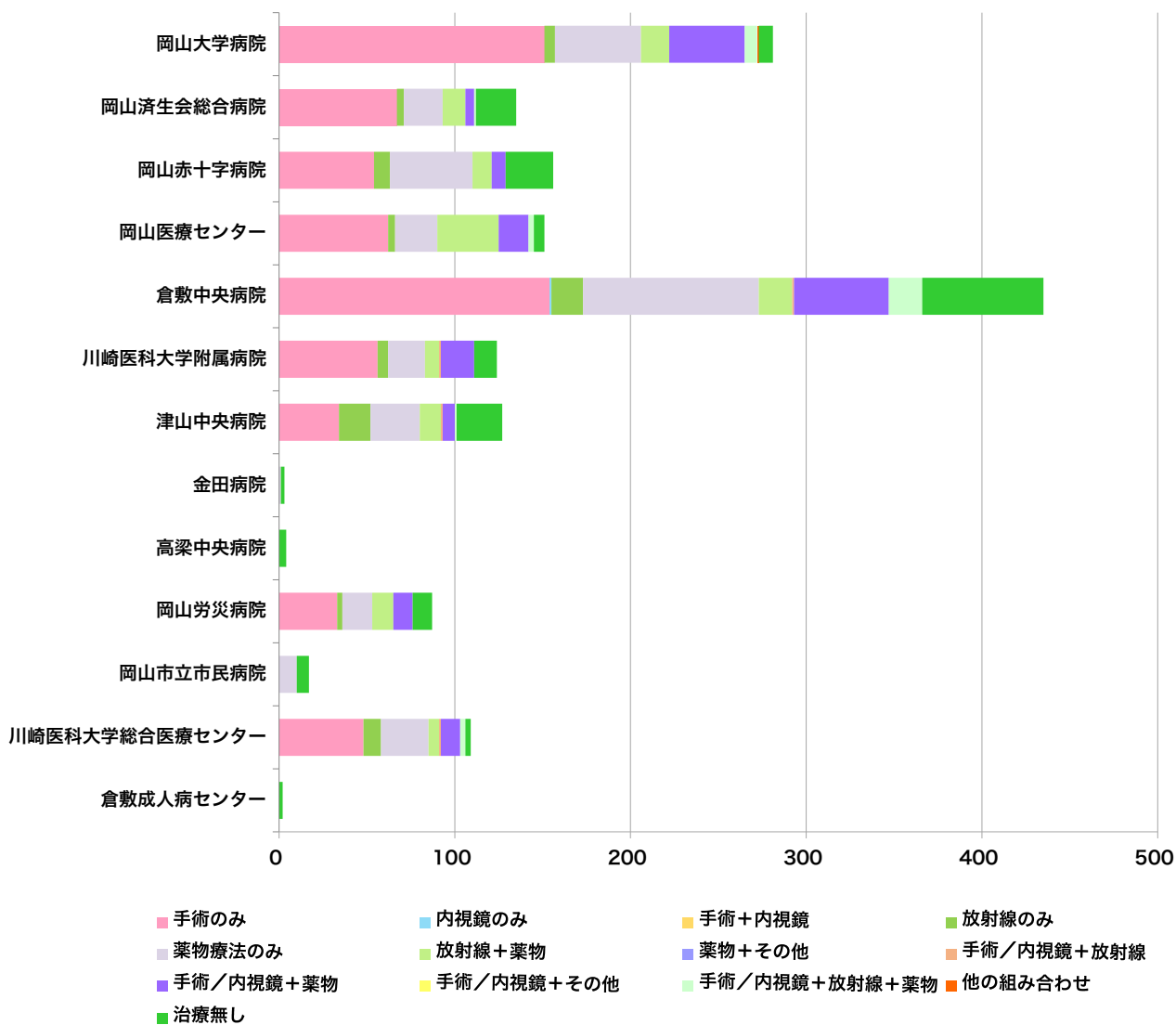
肺 ステージ 施設別



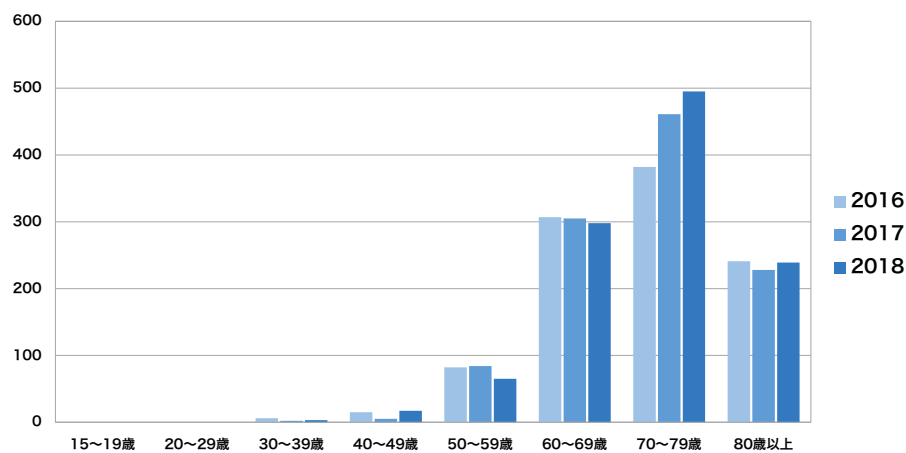
肺 初回治療法 年次推移



肺 初回治療法 施設別

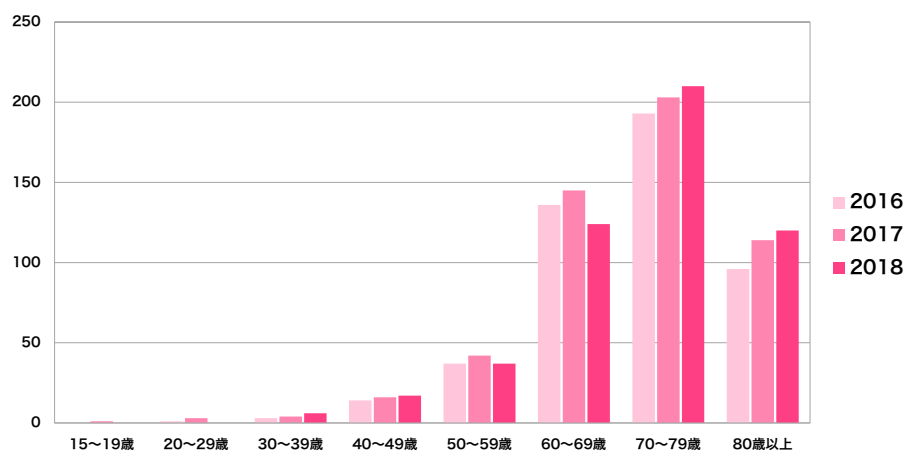


肺 年齢階級別 男性 年次推移



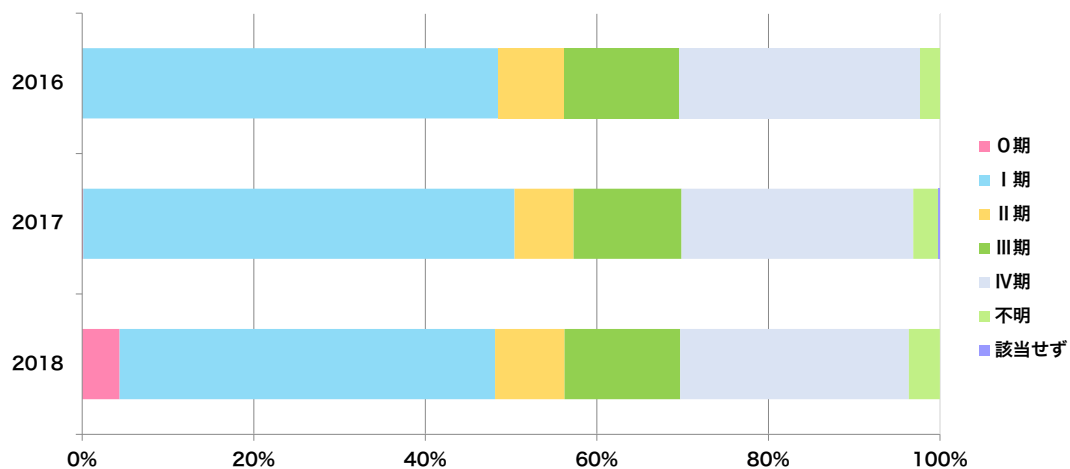
	2016	2017	2018
80歳以上	241	228	239
70~79歳	382	461	495
60~69歳	307	305	298
50~59歳	82	84	65
40~49歳	15	4-6	17
30~39歳	4-6	1-3	1-3
20~29歳			
15~19歳			
総計	1,033	1,085	1,117

肺 年齢階級別 女性 年次推移



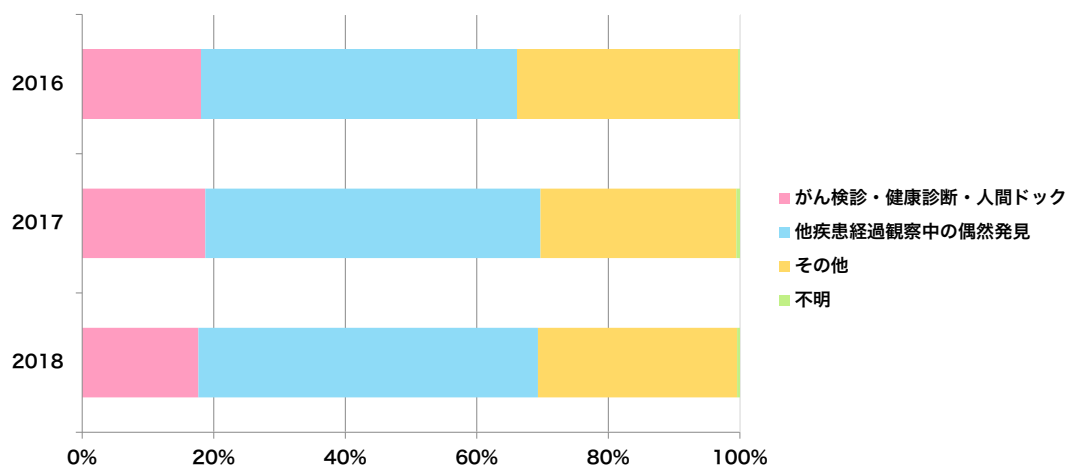
	2016	2017	2018
80歳以上	96	114	120
70~79歳	193	203	210
60~69歳	136	145	124
50~59歳	37	42	37
40~49歳	14	16	17
30~39歳	1-3	4-6	4-6
20~29歳	1-3	1-3	
15~19歳		1-3	
総計	480	528	514

肺 ステージ別 年次推移



	2016	2017	2018
0期		1~3	71
I期	734	811	714
II期	116	111	132
III期	203	203	220
IV期	426	436	435
不明	34	48	59
該当せず		1~3	
合計	1,513	1,613	1,631

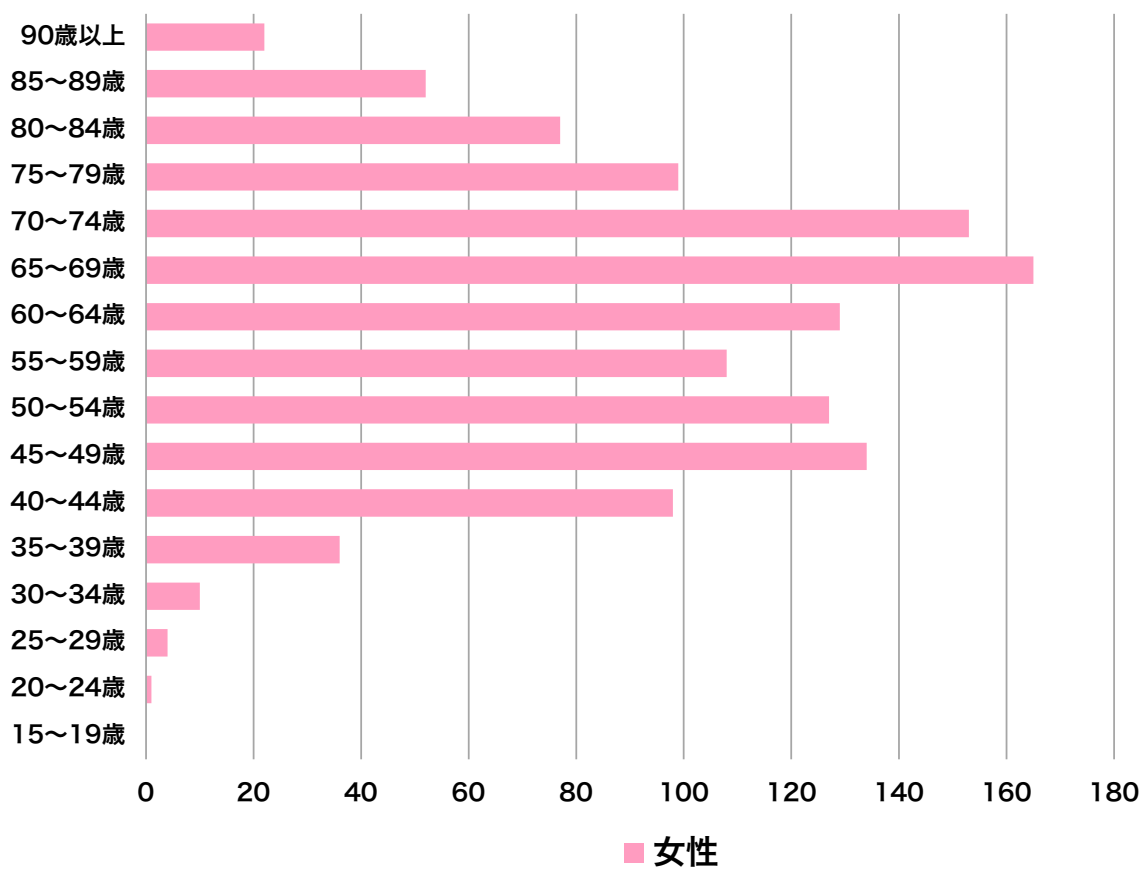
肺 発見経緯別 年次推移



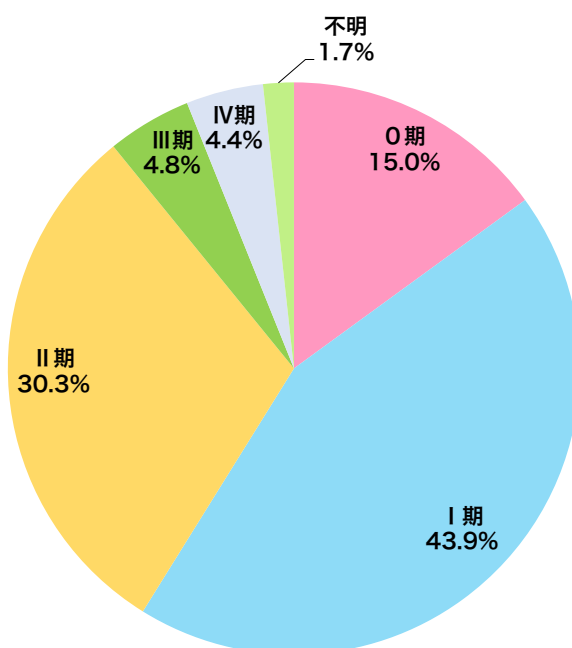
	2016	2017	2018
がん検診・健康診断・人間ドック	275	302	288
他疾患経過観察中の偶然発見	727	822	842
その他	507	480	494
不明	4~6	7~9	7~9
合計	1,513	1,613	1,631

乳房

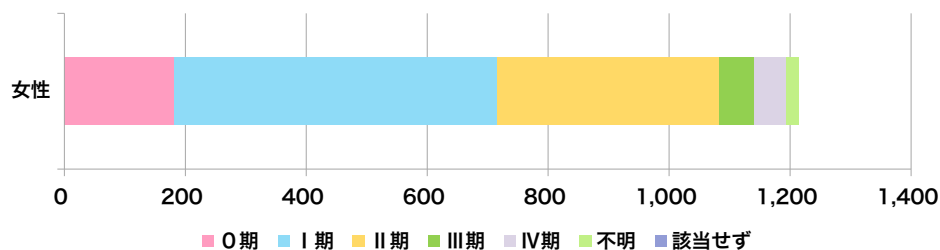
乳房 年齢階級別



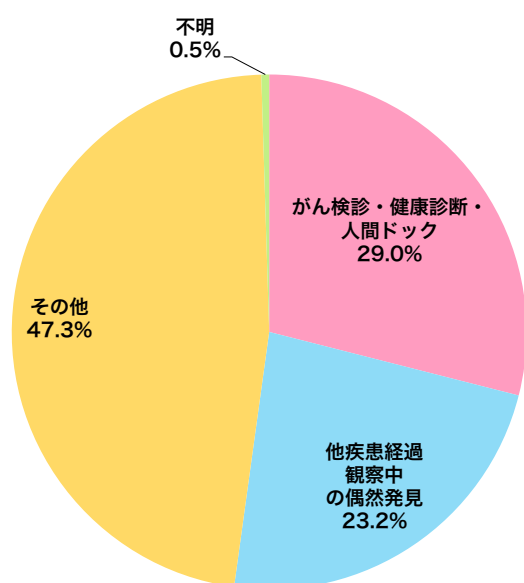
乳房 ステージ 全体



乳房 ステージ 性別



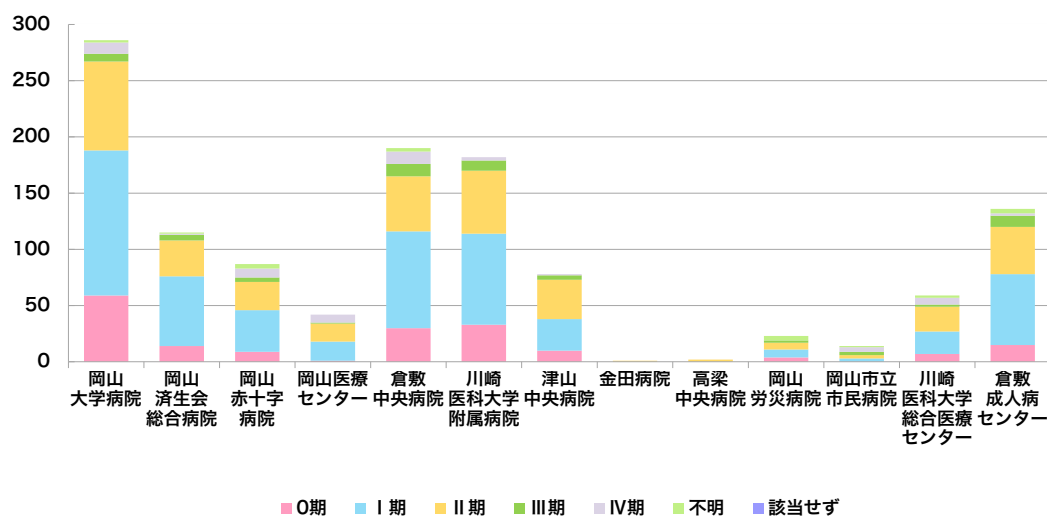
乳房 発見経緯 全体



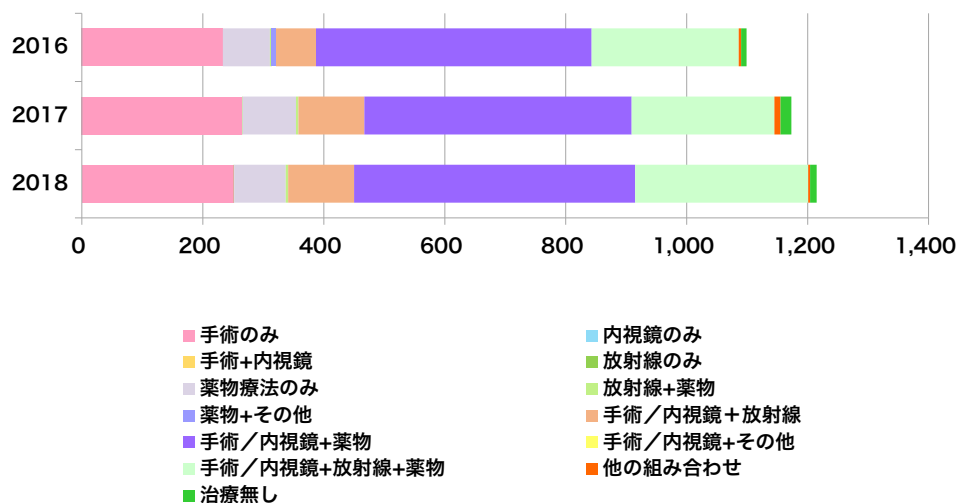
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	352
他疾患経過観察中の偶然発見	282
その他	575
不明	4-6
合計	1,215

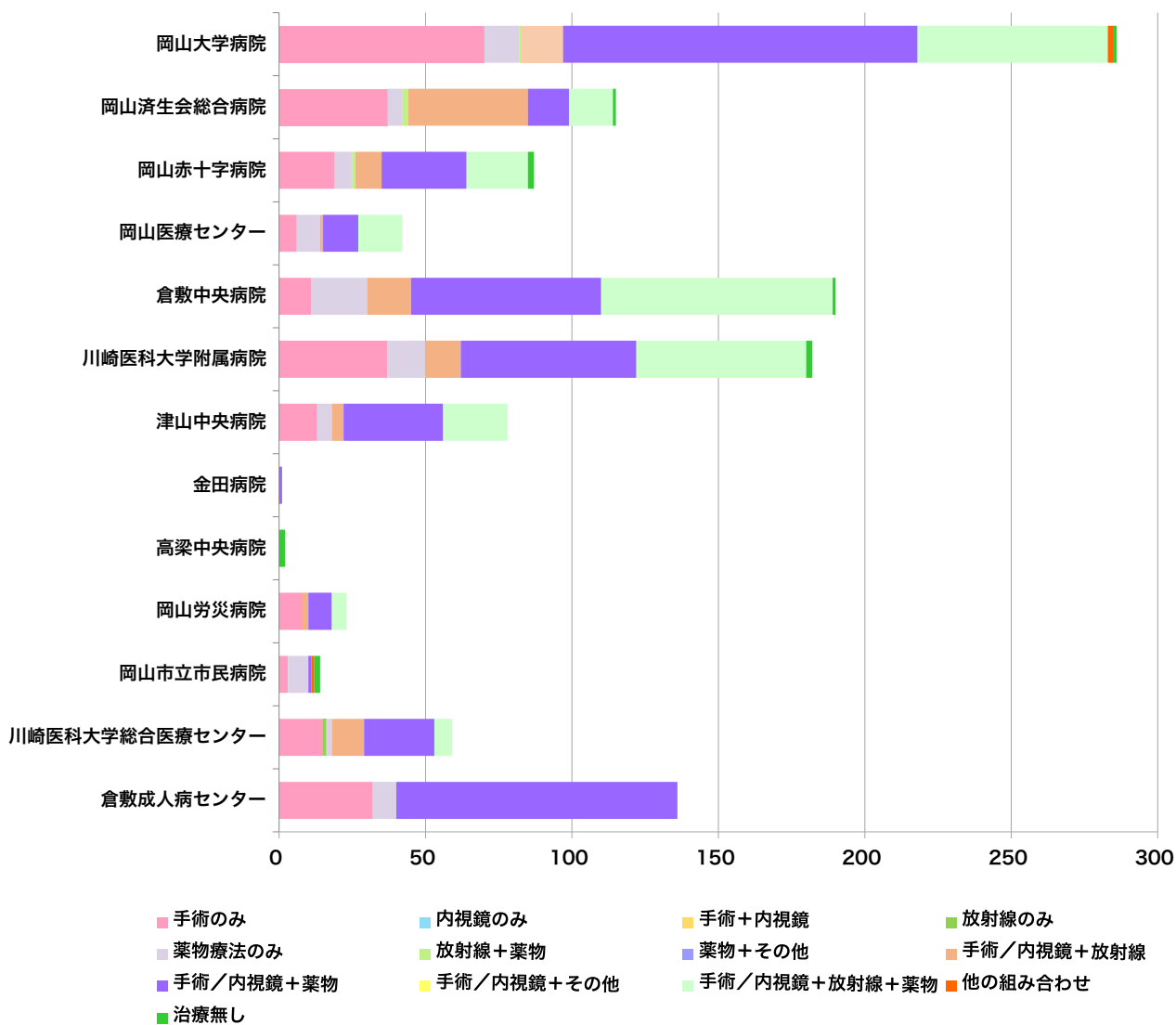
乳房 ステージ 施設別



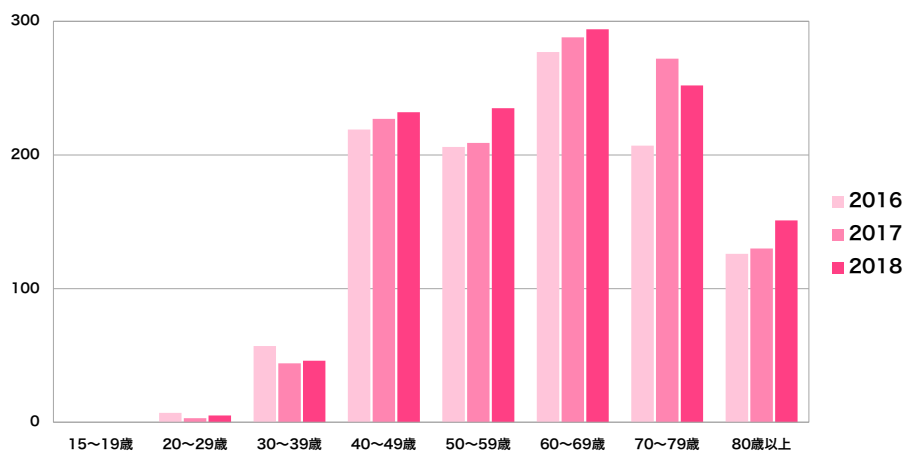
乳房 初回治療法 年次推移



乳房 初回治療法 施設別

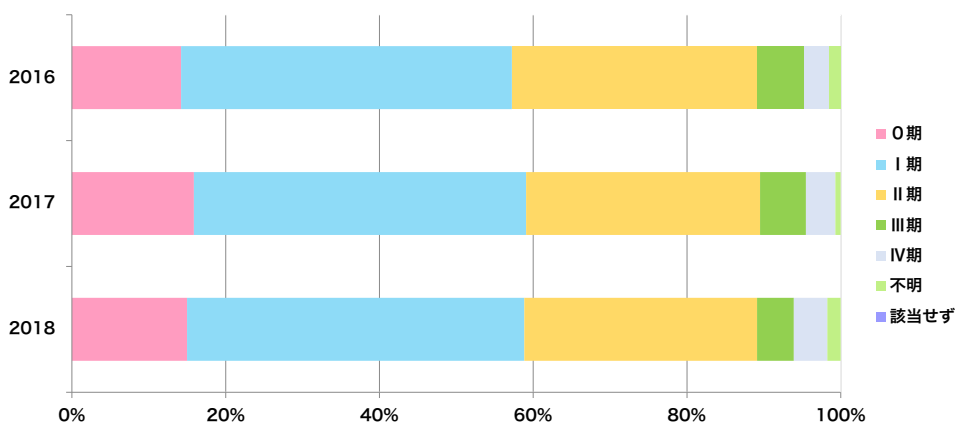


乳房 年齢階級別 年次推移



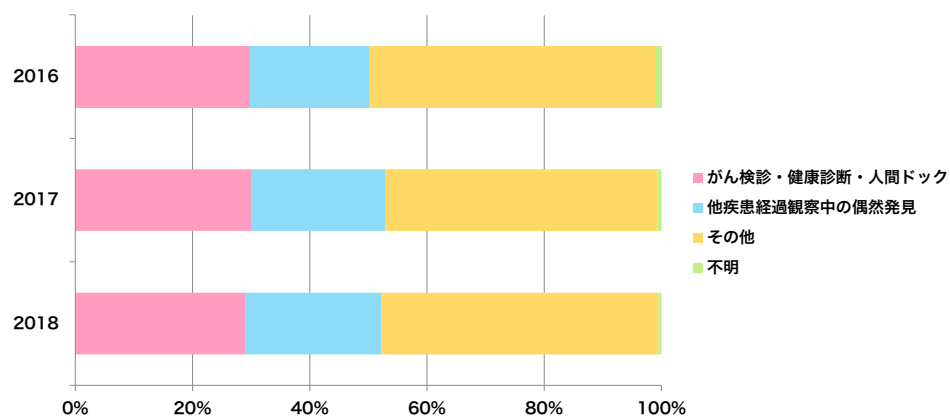
	2016	2017	2018
80歳以上	126	130	151
70~79歳	207	272	252
60~69歳	277	288	294
50~59歳	206	209	235
40~49歳	219	227	232
30~39歳	57	44	46
20~29歳	7~9	1~3	4~6
15~19歳			
総計	1,099	1,173	1,215

乳房 ステージ別 年次推移



	2016	2017	2018
0期	156	186	182
I期	473	507	533
II期	350	357	368
III期	67	70	58
IV期	37	45	53
不明	16	7~9	21
該当せず			
合計	1,099	1,173	1,215

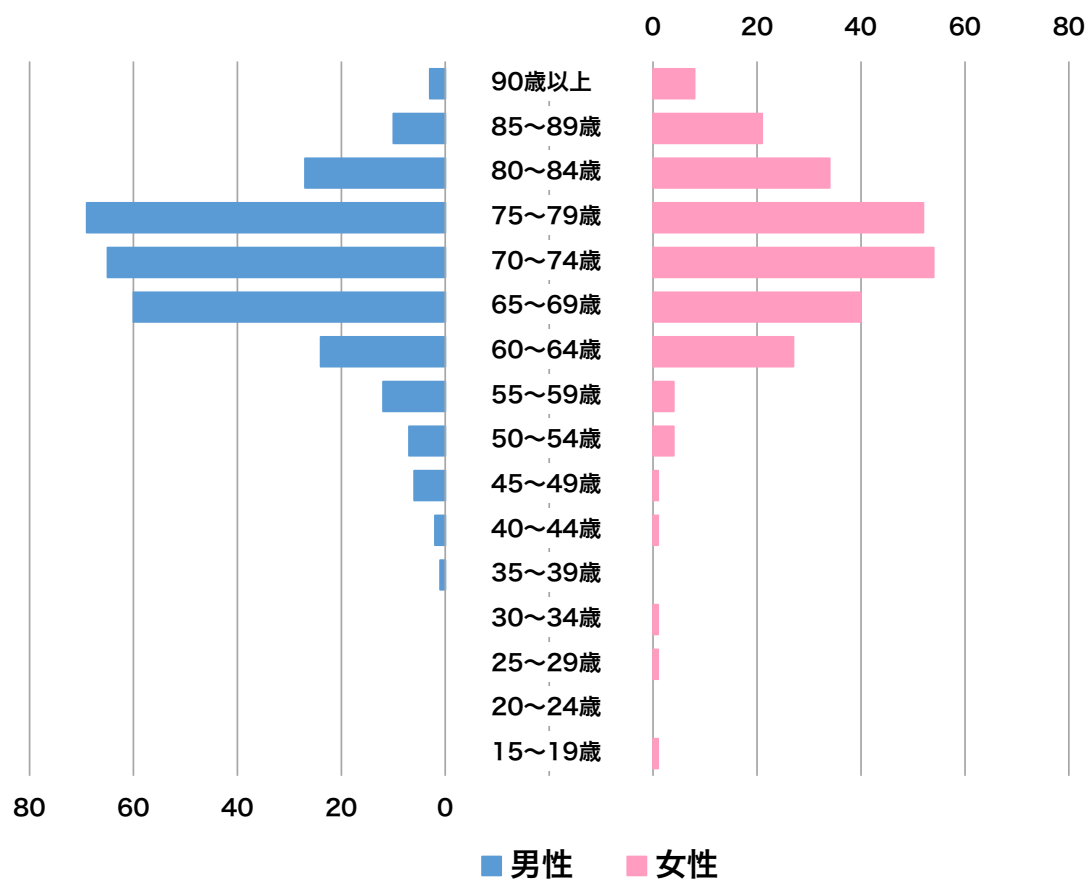
乳房 発見経緯別 年次推移



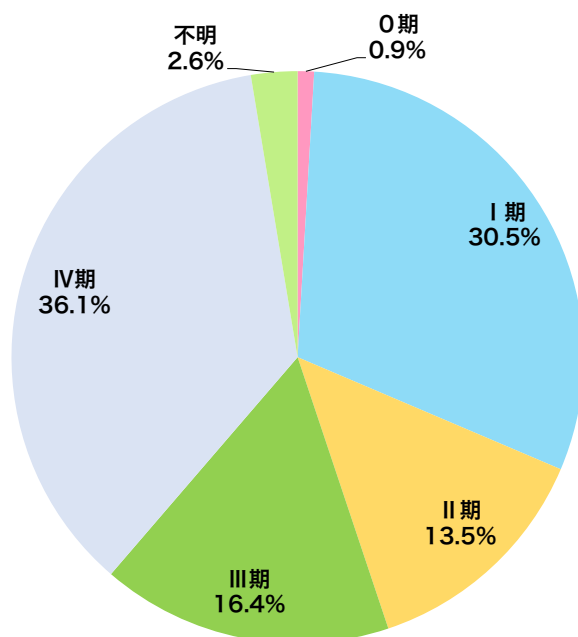
	2016	2017	2018
がん検診・健康診断・人間ドック	328	353	352
他疾患経過観察中の偶然発見	223	268	282
その他	537	544	575
不明	11	7~9	4~6
合計	1,099	1,173	1,215

臍臍

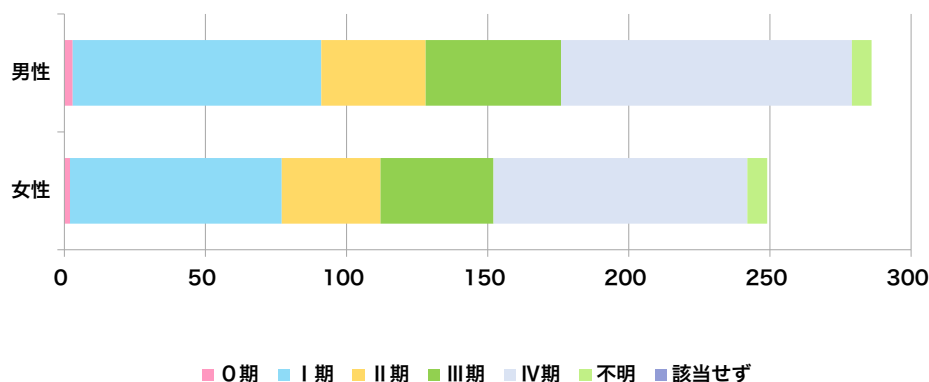
膵臓 年齢階級別



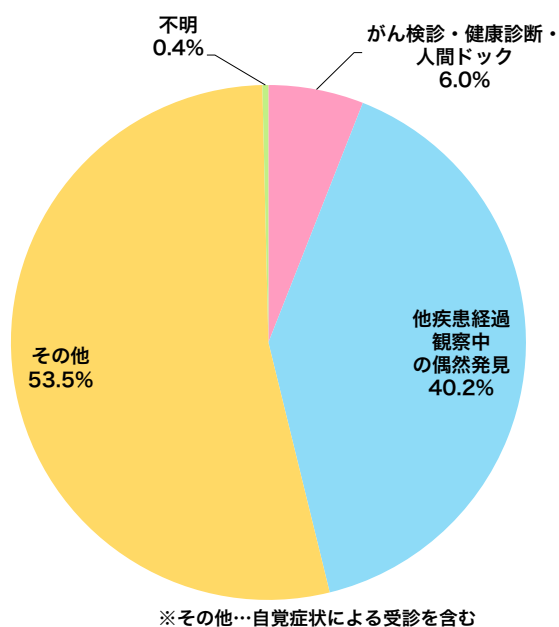
膵臓 ステージ 全体



膵臓 ステージ 性別

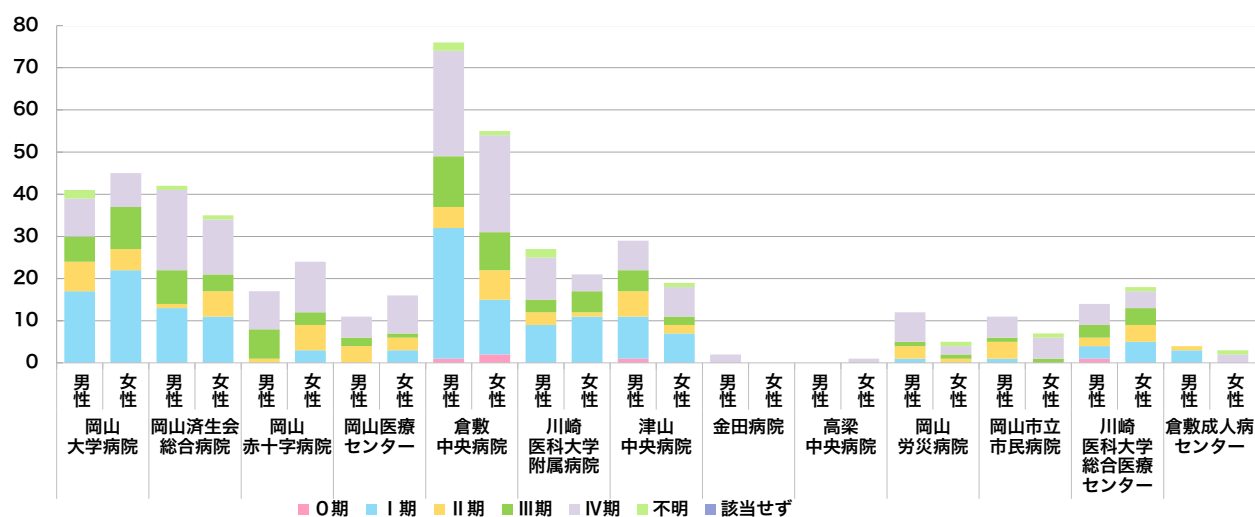


膵臓 発見経緯 全体

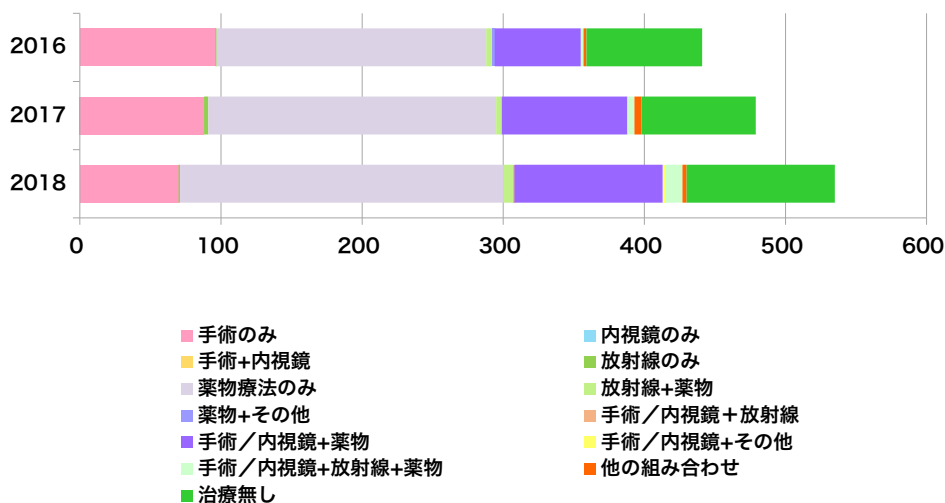


発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	32
他疾患経過観察中の偶然発見	215
その他	286
不明	1~3
合計	535

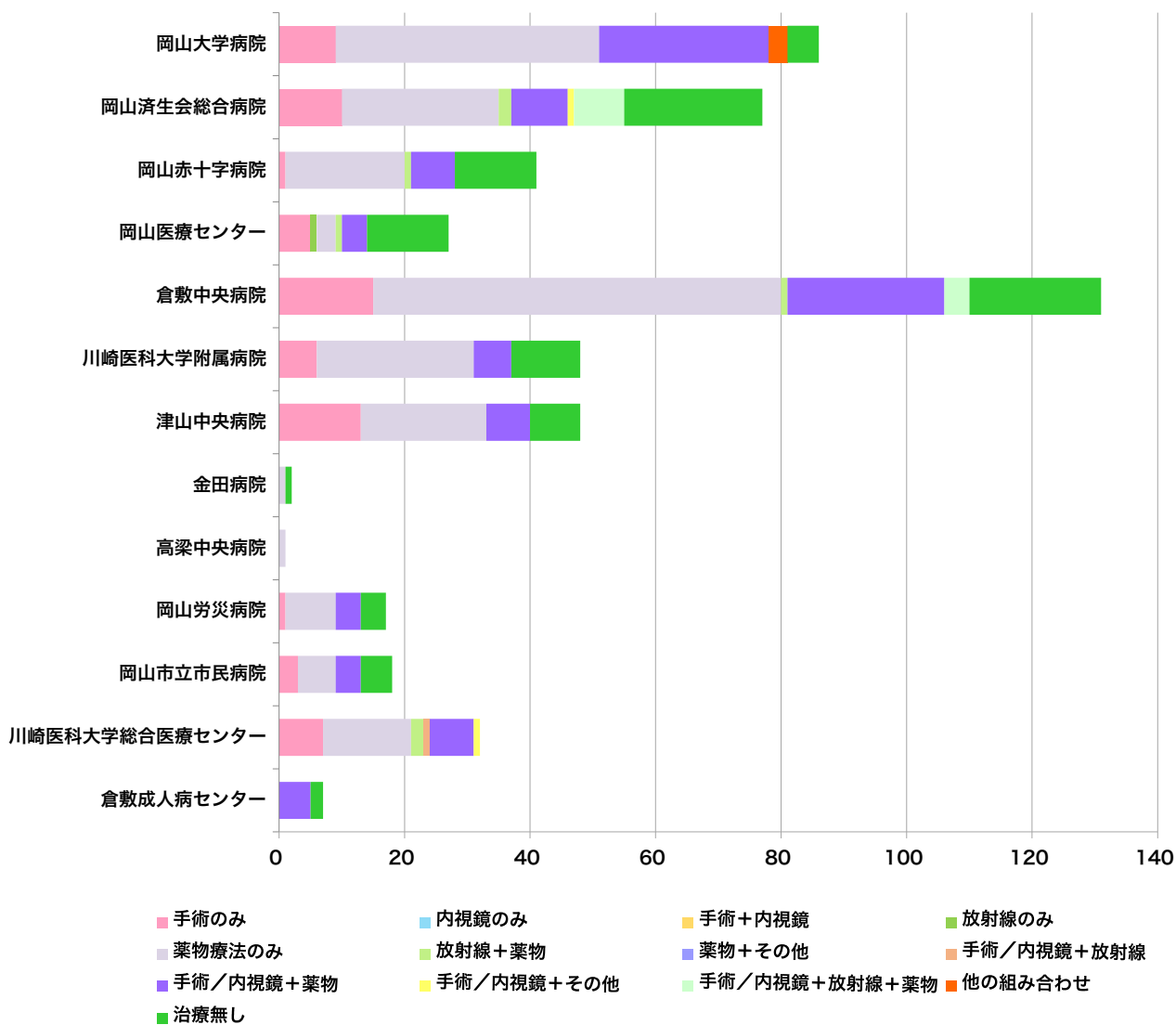
膵臓 ステージ 施設別 (がん診療連携拠点病院)



膵臓 初回治療法 年次推移

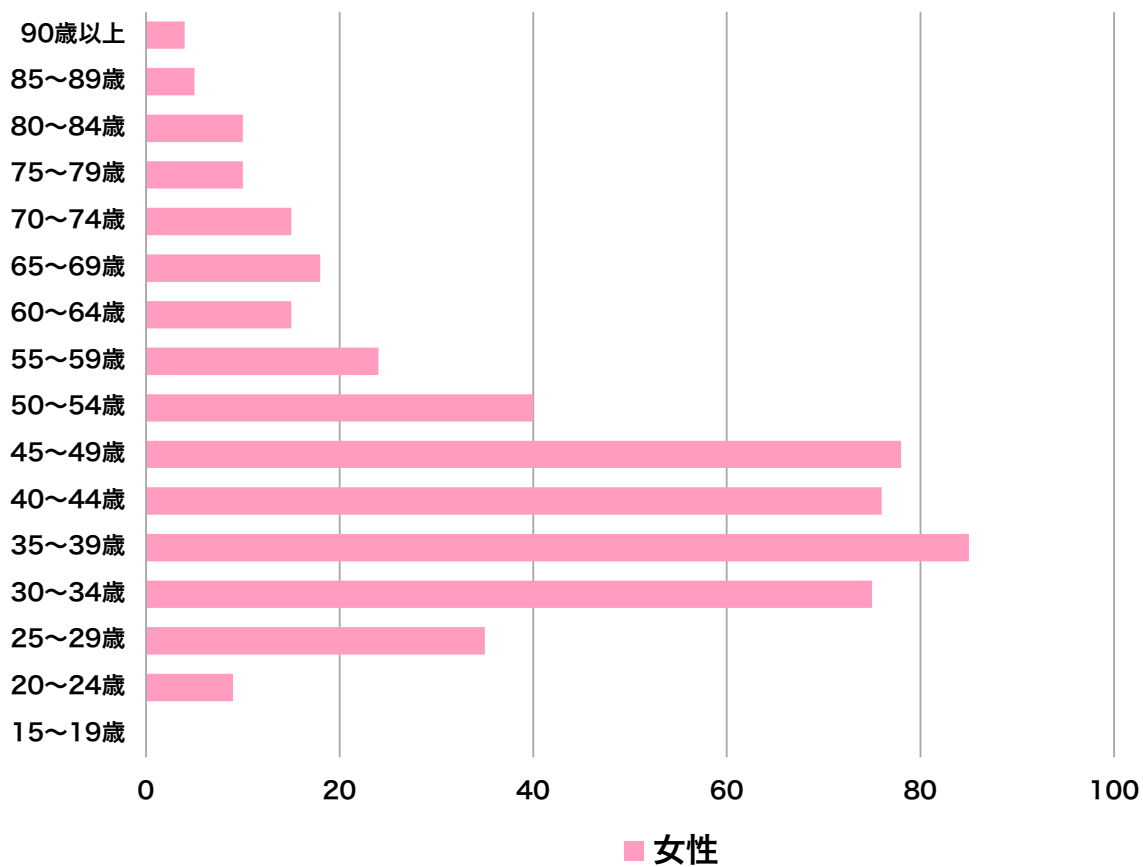


膵臓 初回治療法 施設別

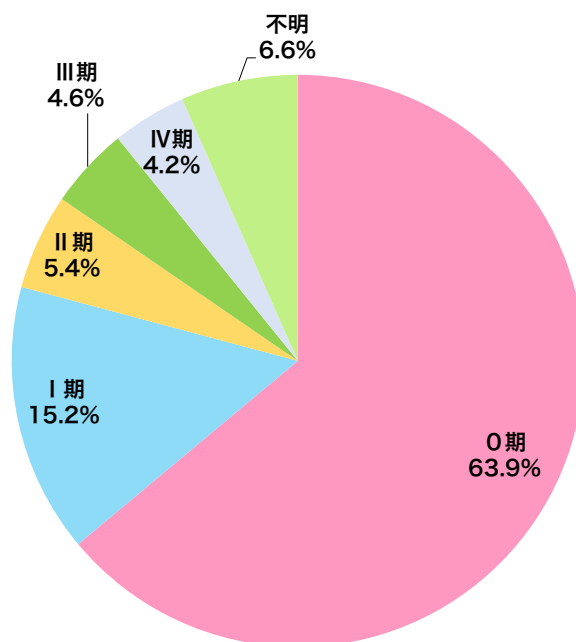


子宮（頸部）

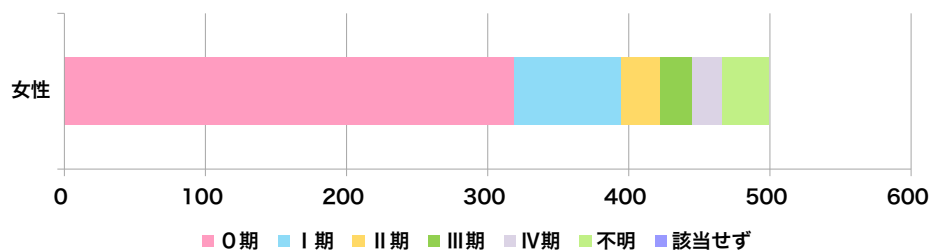
子宮（頸部） 年齢階級別



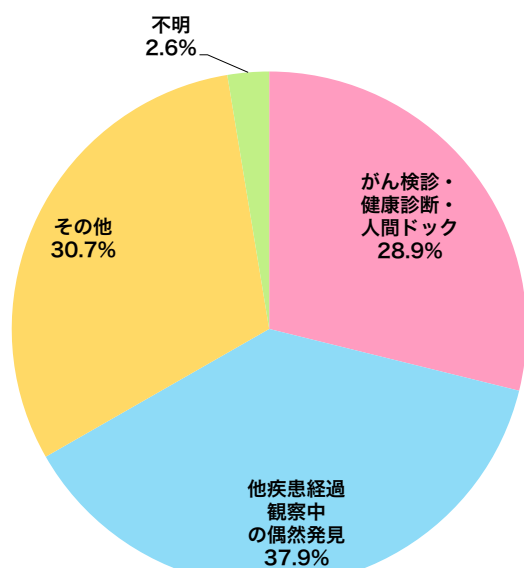
子宮（頸部） ステージ 全体



子宮（頸部） ステージ 性別



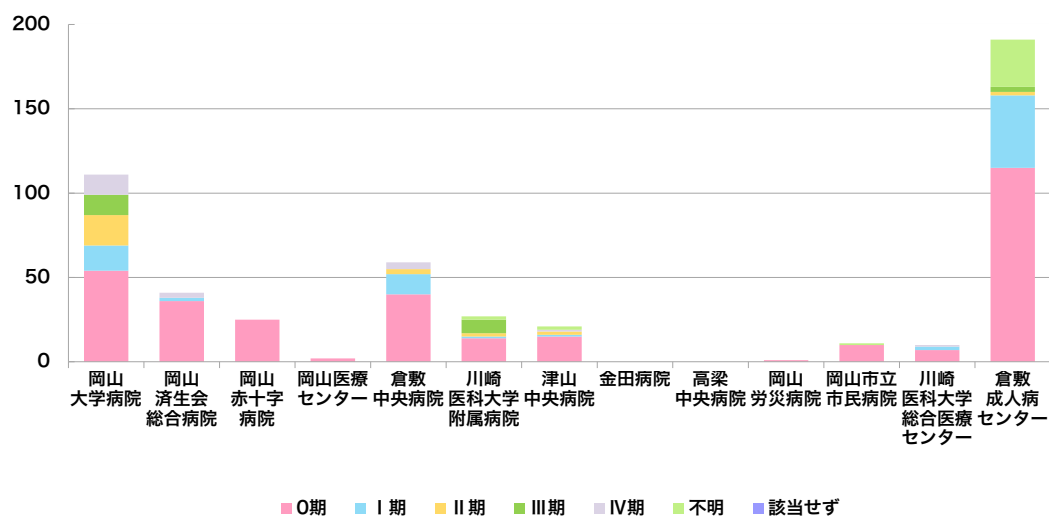
子宮（頸部） 発見経緯 全体



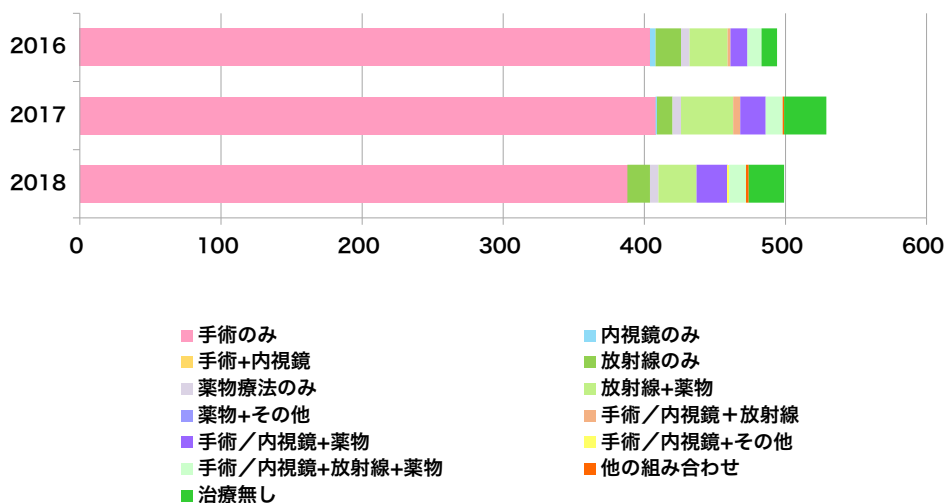
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	144
他疾患経過観察中の偶然発見	189
その他	153
不明	13
合計	499

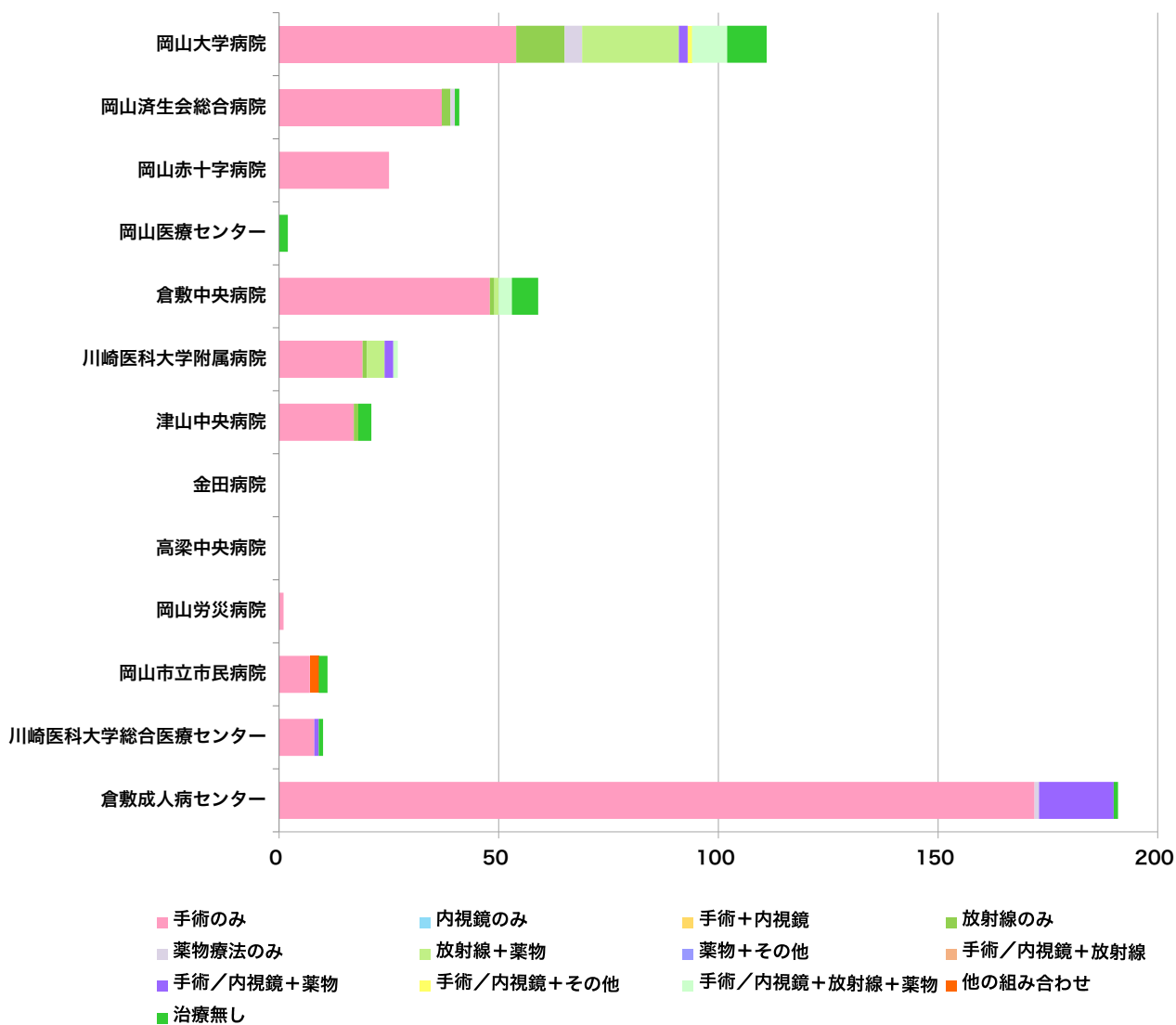
子宮（頸部） ステージ 施設別



子宮（頸部） 初回治療法 年次推移

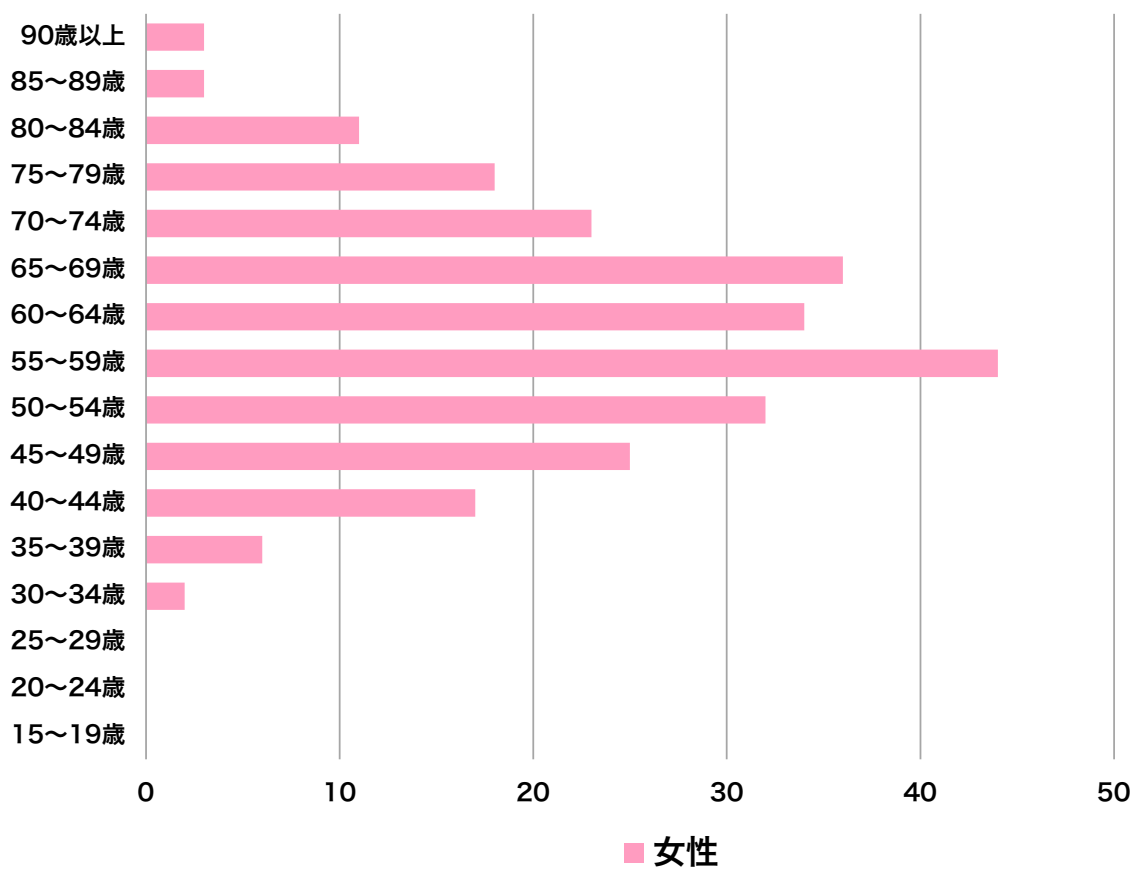


子宮（頸部） 初回治療法 施設別

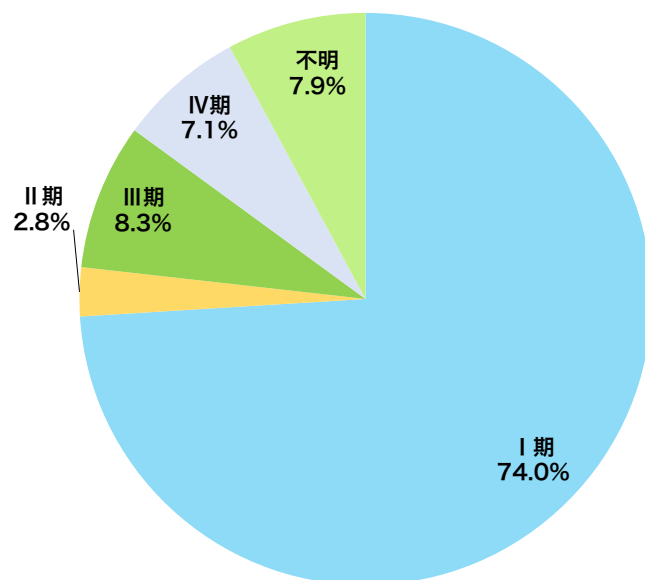


子宮（体部）

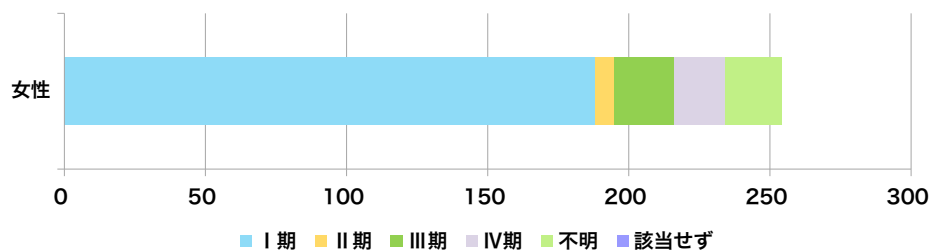
子宮（体部） 年齢階級別



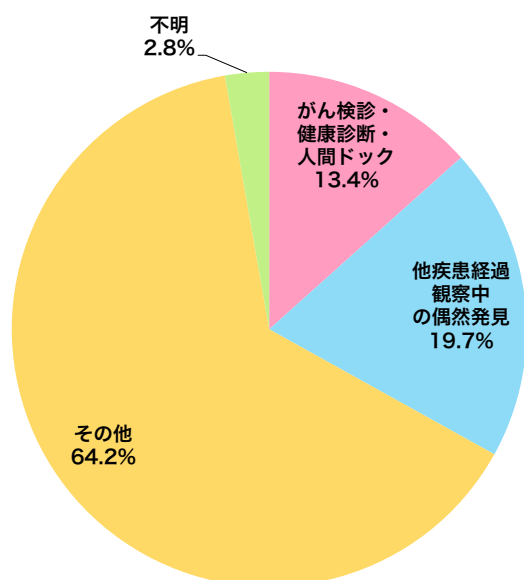
子宮（体部） ステージ 全体



子宮（体部） ステージ 性別



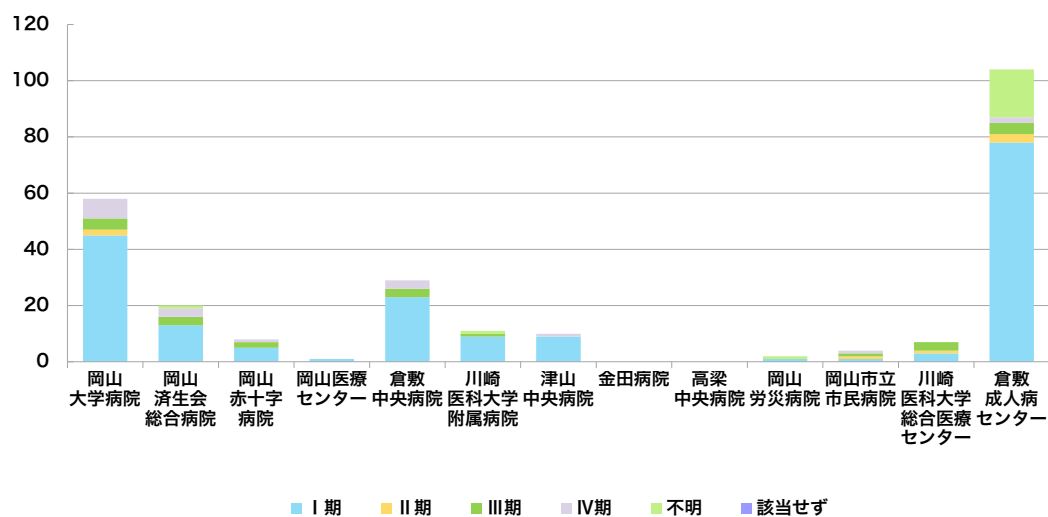
子宮（体部） 発見経緯 全体



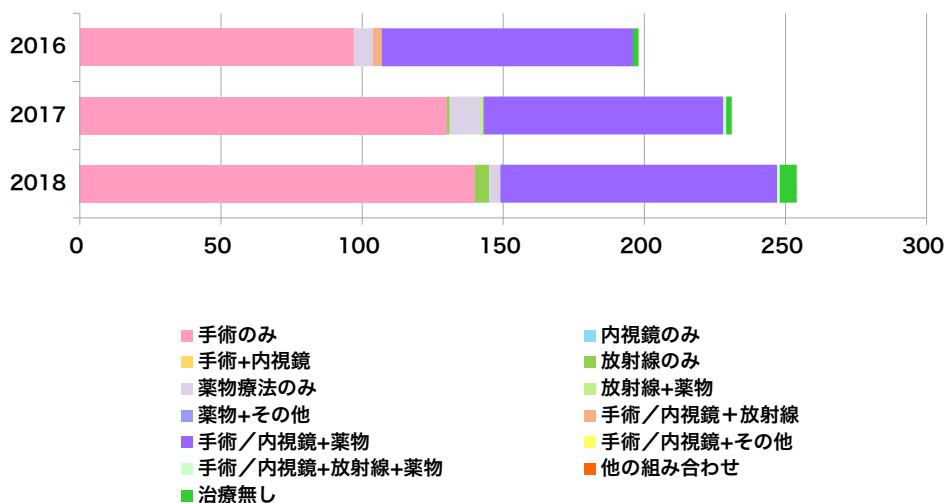
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	34
他疾患経過観察中の偶然発見	50
その他	163
不明	7-9
合計	254

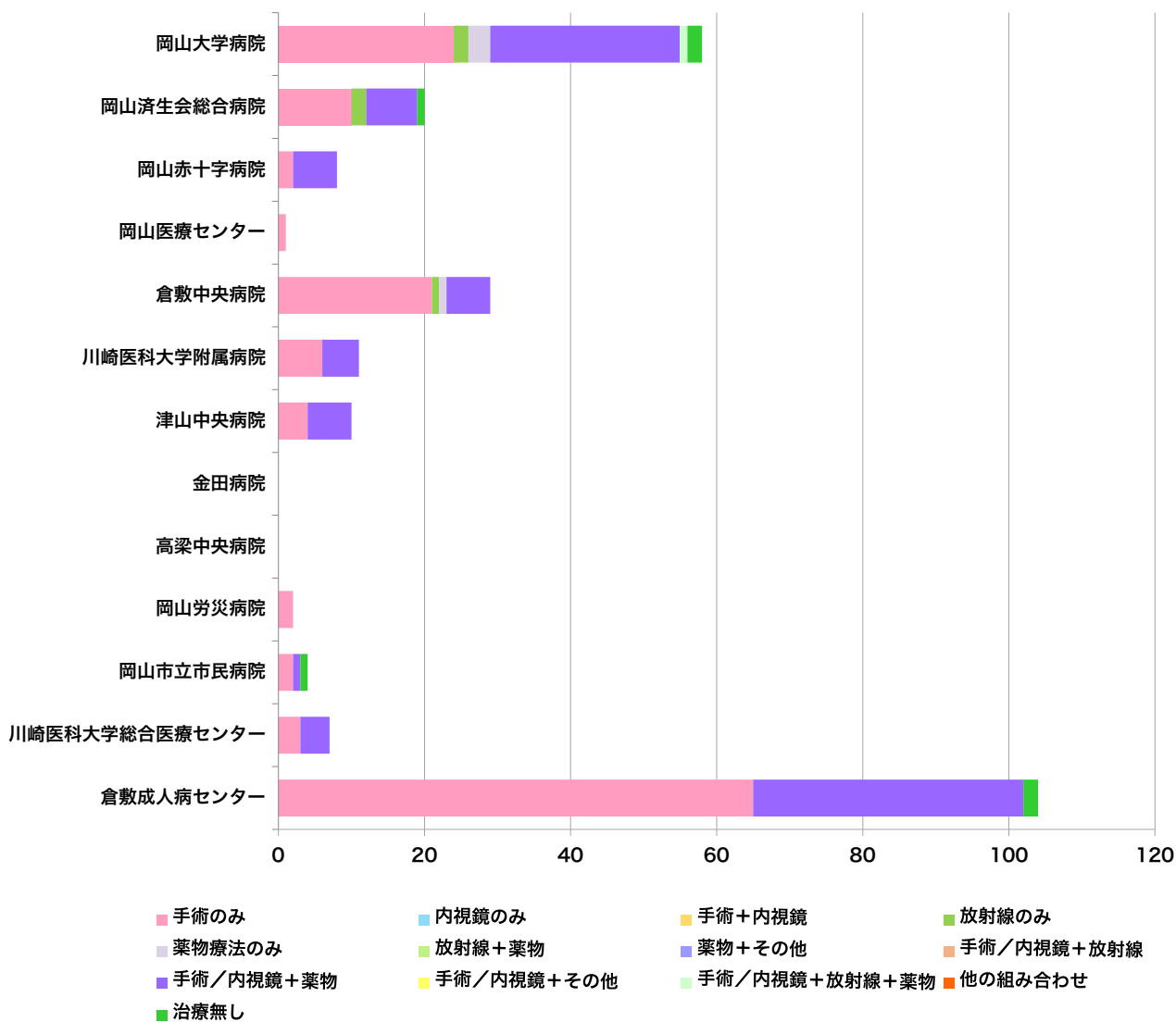
子宮（体部） ステージ 施設別



子宮（体部） 初回治療法 年次推移

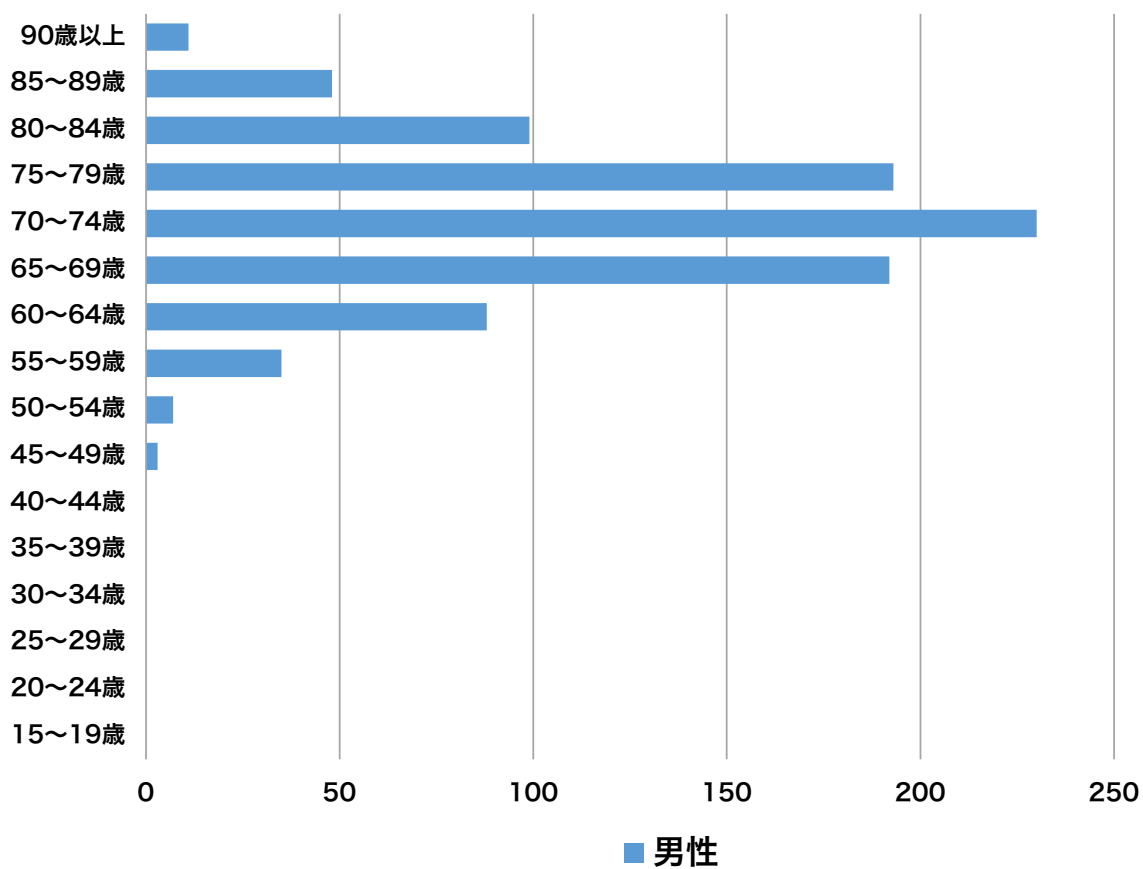


子宮（体部） 初回治療法 施設別

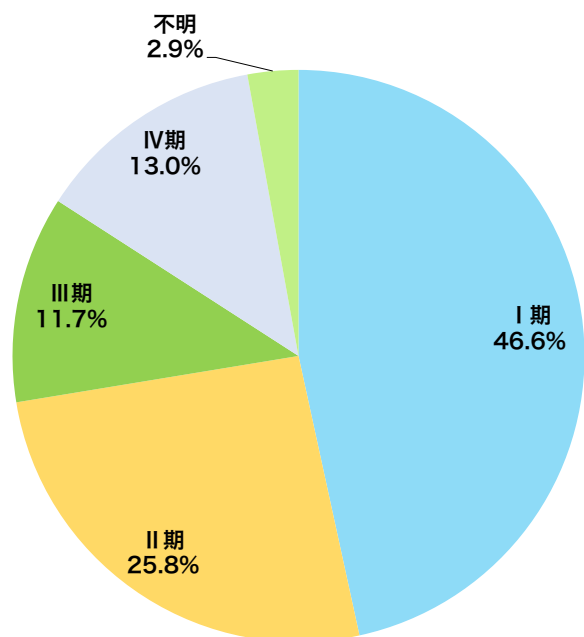


前立腺

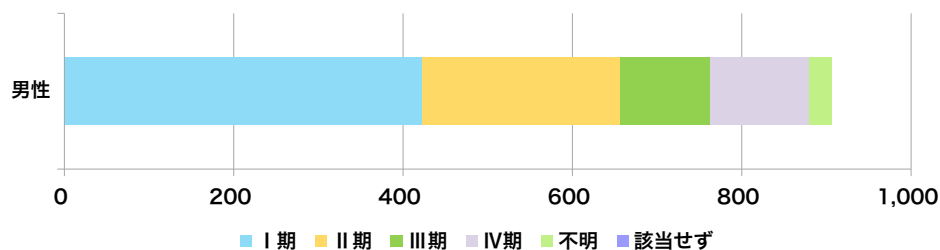
前立腺 年齢階級別



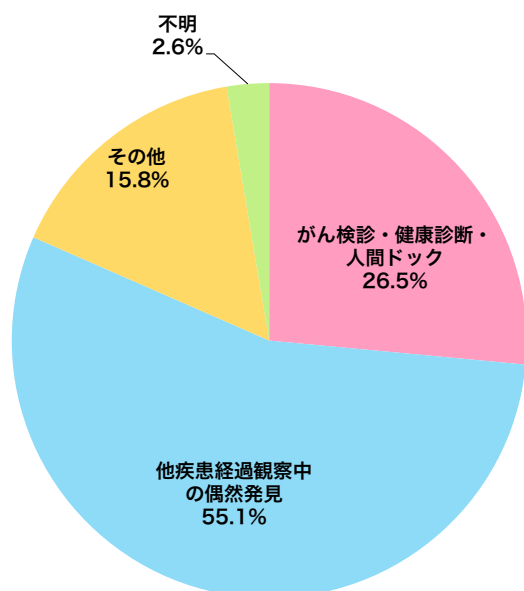
前立腺 ステージ 全体



前立腺 ステージ 性別



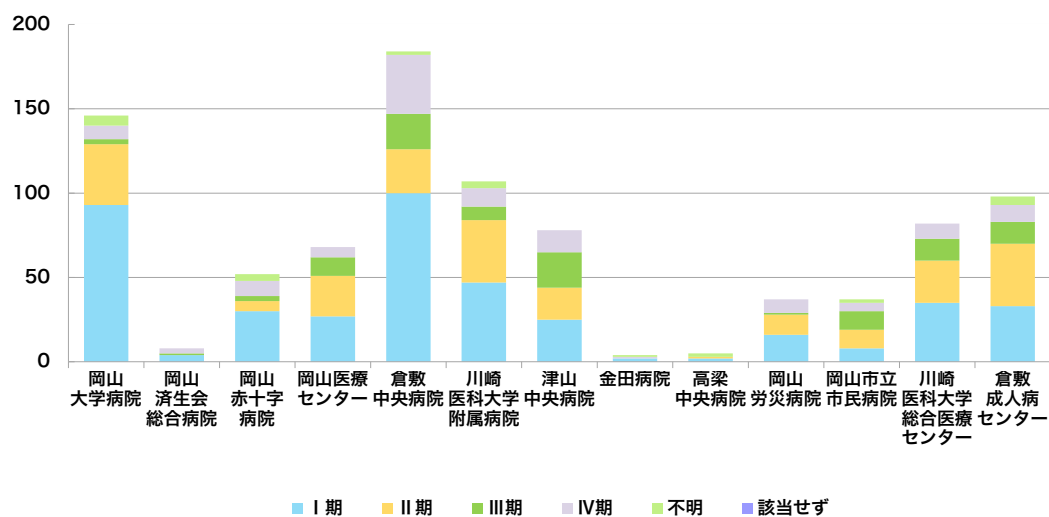
前立腺 発見経緯 全体



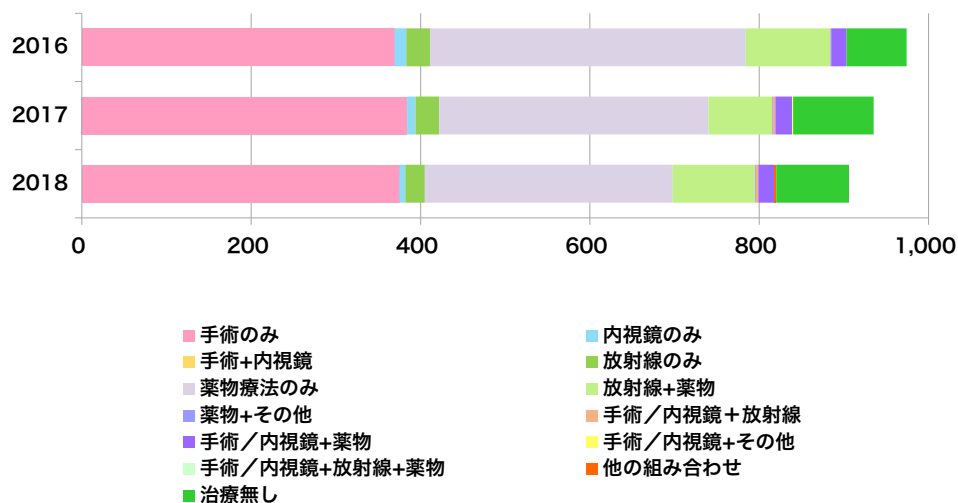
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	240
他疾患経過観察中の偶然発見	499
その他	143
不明	24
合計	906

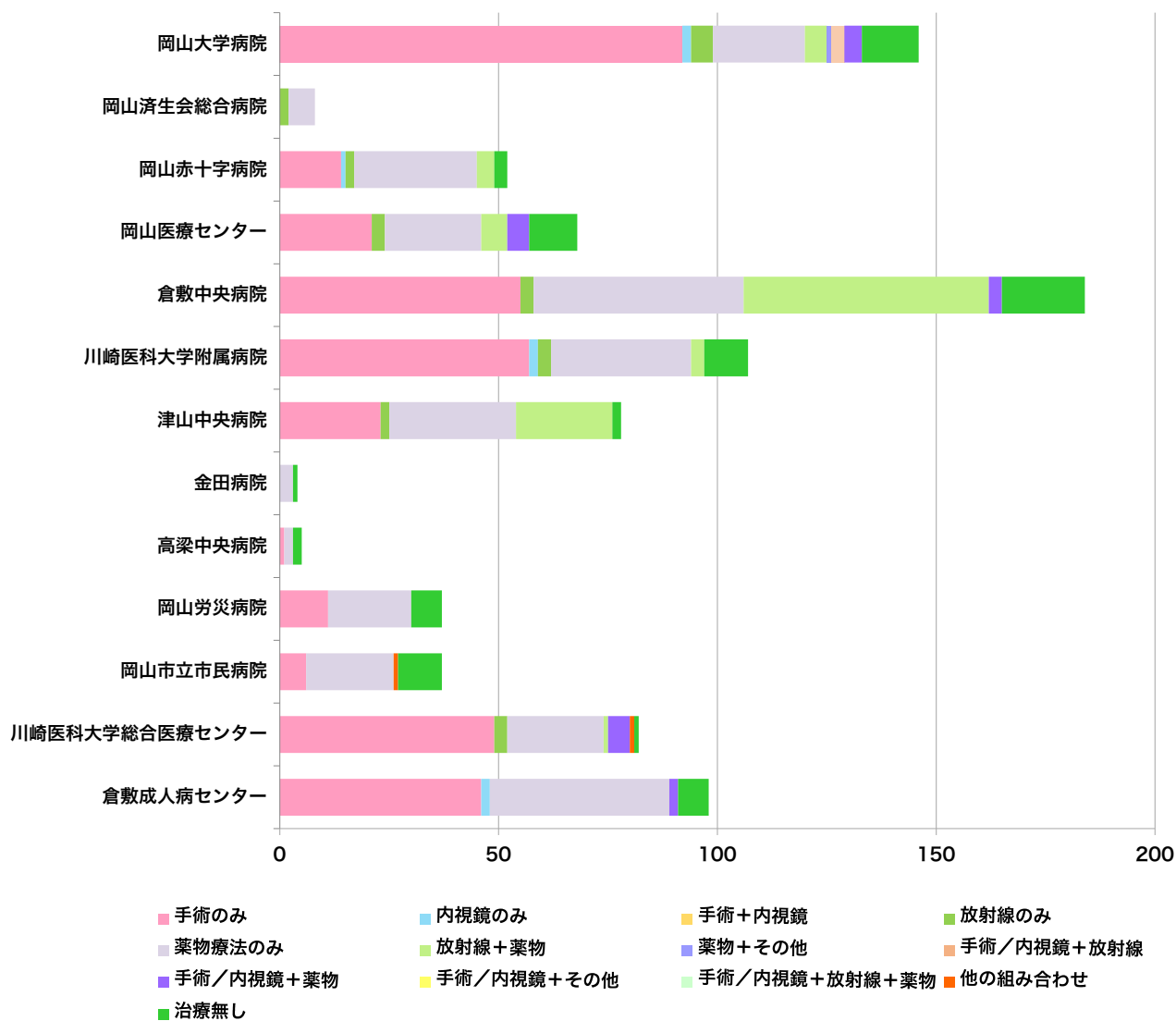
前立腺 ステージ 施設別



前立腺 初回治療法 年次推移

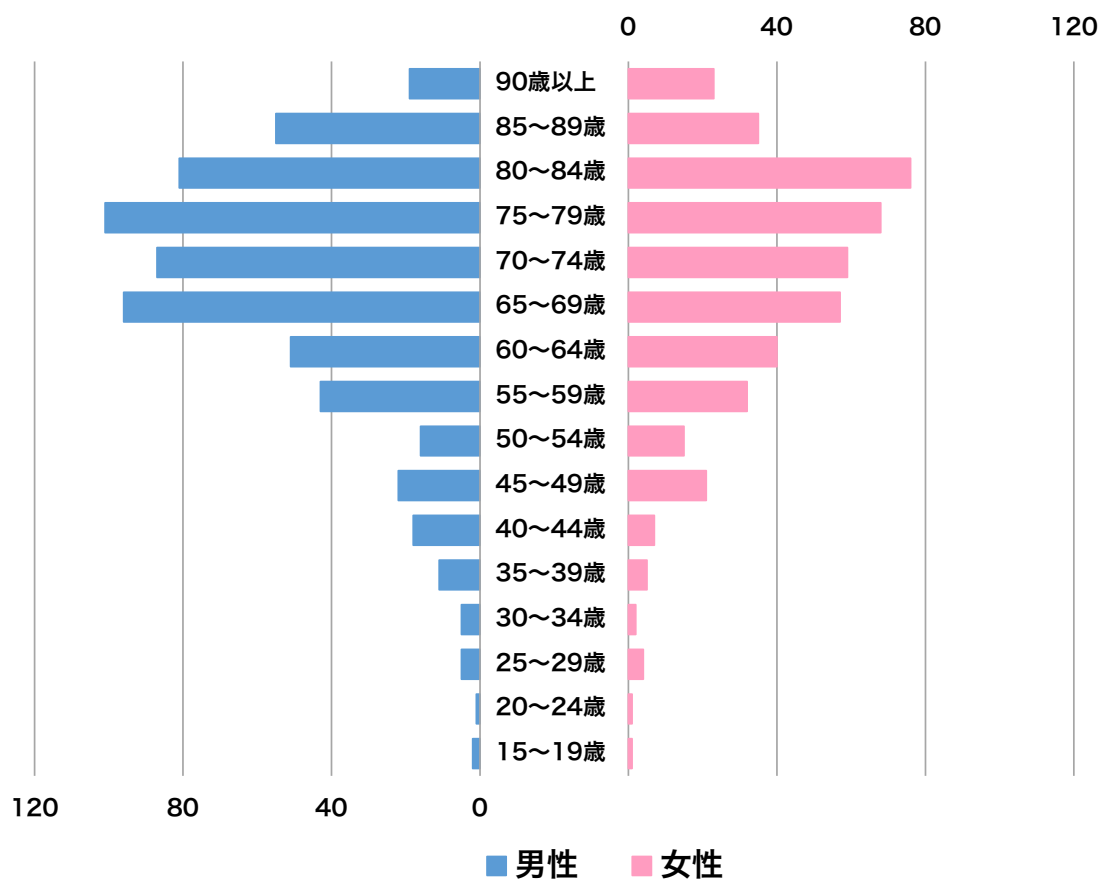


前立腺 初回治療法 施設別



血液腫瘍

血液腫瘍 年齡階級別

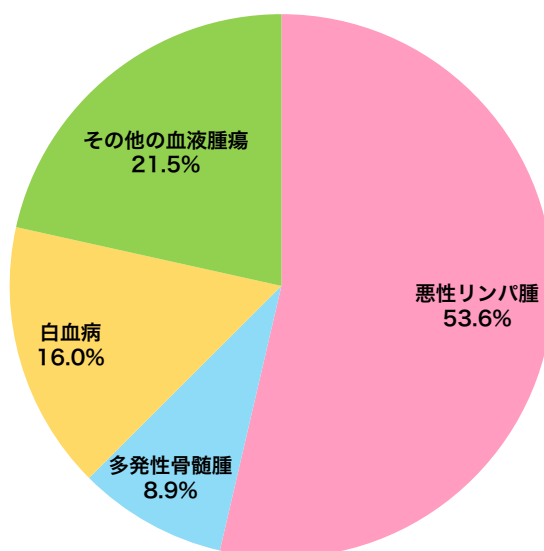


血液腫瘍 組織別登録数 年次推移

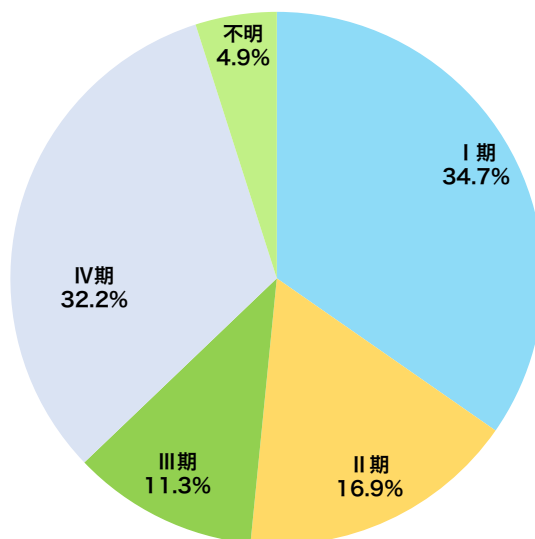
			2016	2017	2018
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	265	241	249
		濾胞性リンパ腫	74	105	116
		辺縁層B細胞性リンパ腫	66	64	82
		成熟B細胞リンパ腫	27	31	28
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		38	43	49
	ホジキンリンパ腫		21	21	26
	悪性リンパ腫他		15	19	18
多発性骨髄腫			107	102	94
成人T細胞白血病／リンパ腫			7~9	4~6	11
白血病	慢性骨髄性白血病		37	37	39
	急性骨髄性白血病		79	76	74
	慢性リンパ性白血病		4~6	7~9	7~9
	急性リンパ性白血病		15	17	26
	白血病他		14	7~9	10
その他の血液腫瘍	骨髄異形成症候群		128	141	146
	慢性骨髄増殖性疾患		39	38	58
	その他※		7~9	18	24
合計			946	974	1,059

※9988/3：骨髄異形成症候群に伴う急性白血球など

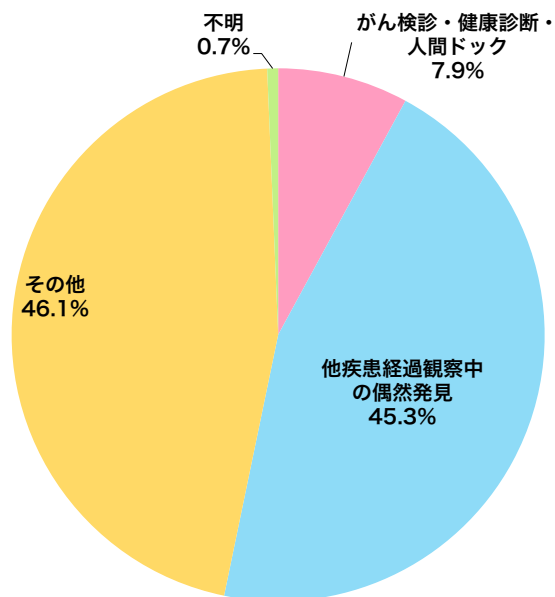
血液腫瘍 組織別登録数 割合（2018年症例）



血液腫瘍（悪性リンパ腫） ステージ 全体



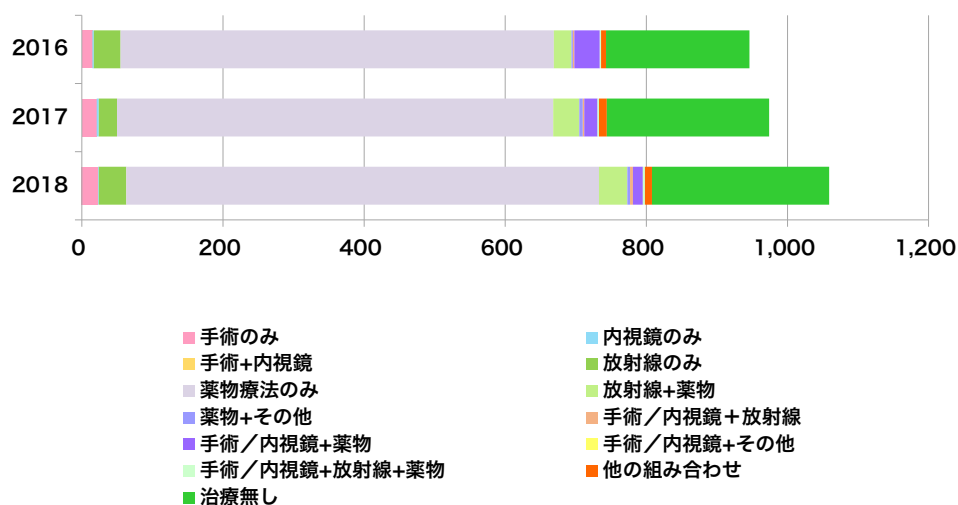
血液腫瘍 発見経緯 全体



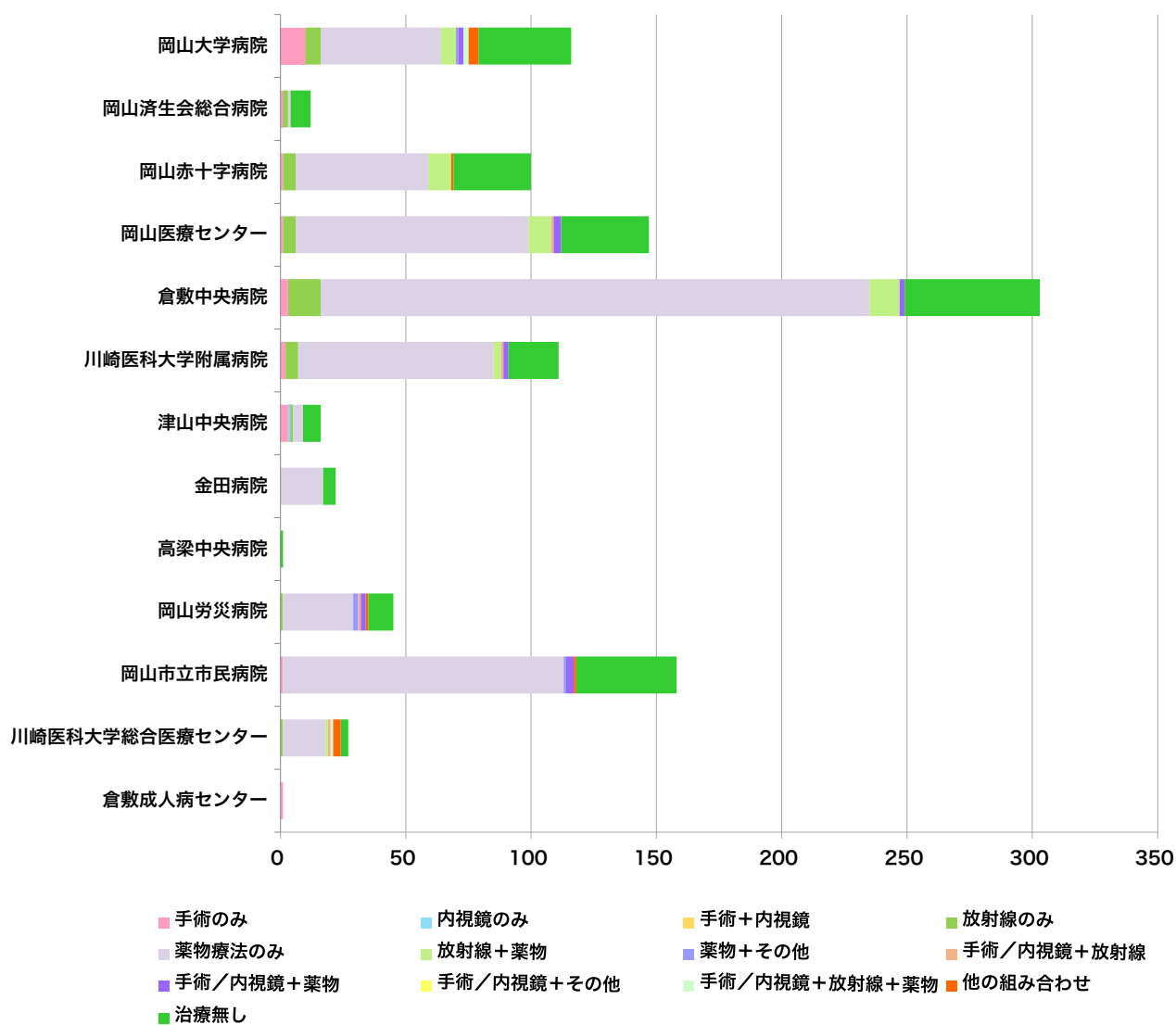
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	84
他疾患経過観察中の偶然発見	480
その他	488
不明	7~9
合計	1,059

※その他…自覚症状による受診を含む

血液腫瘍 初回治療法 年次推移

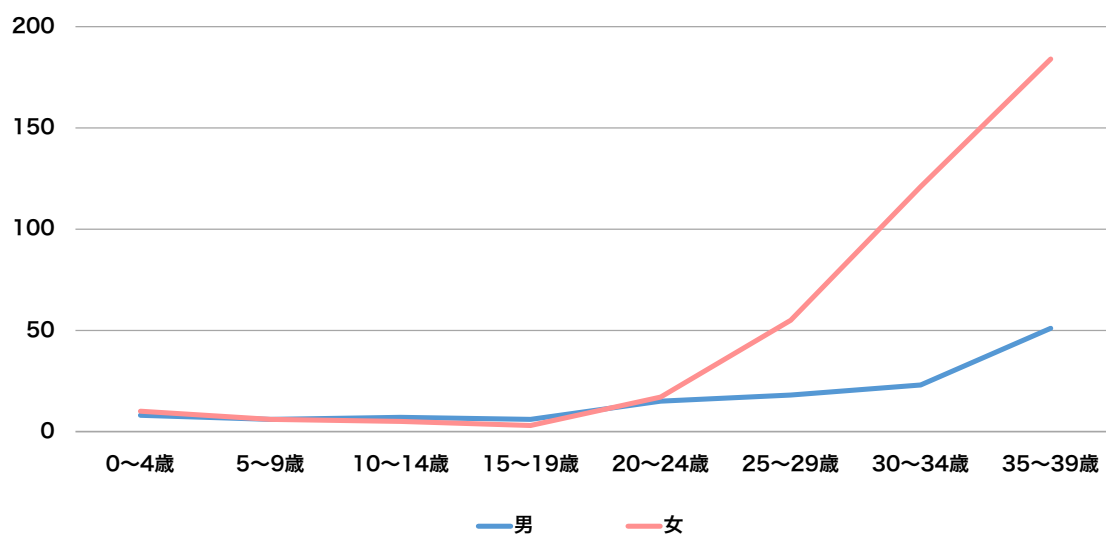


血液腫瘍 初回治療法 施設別

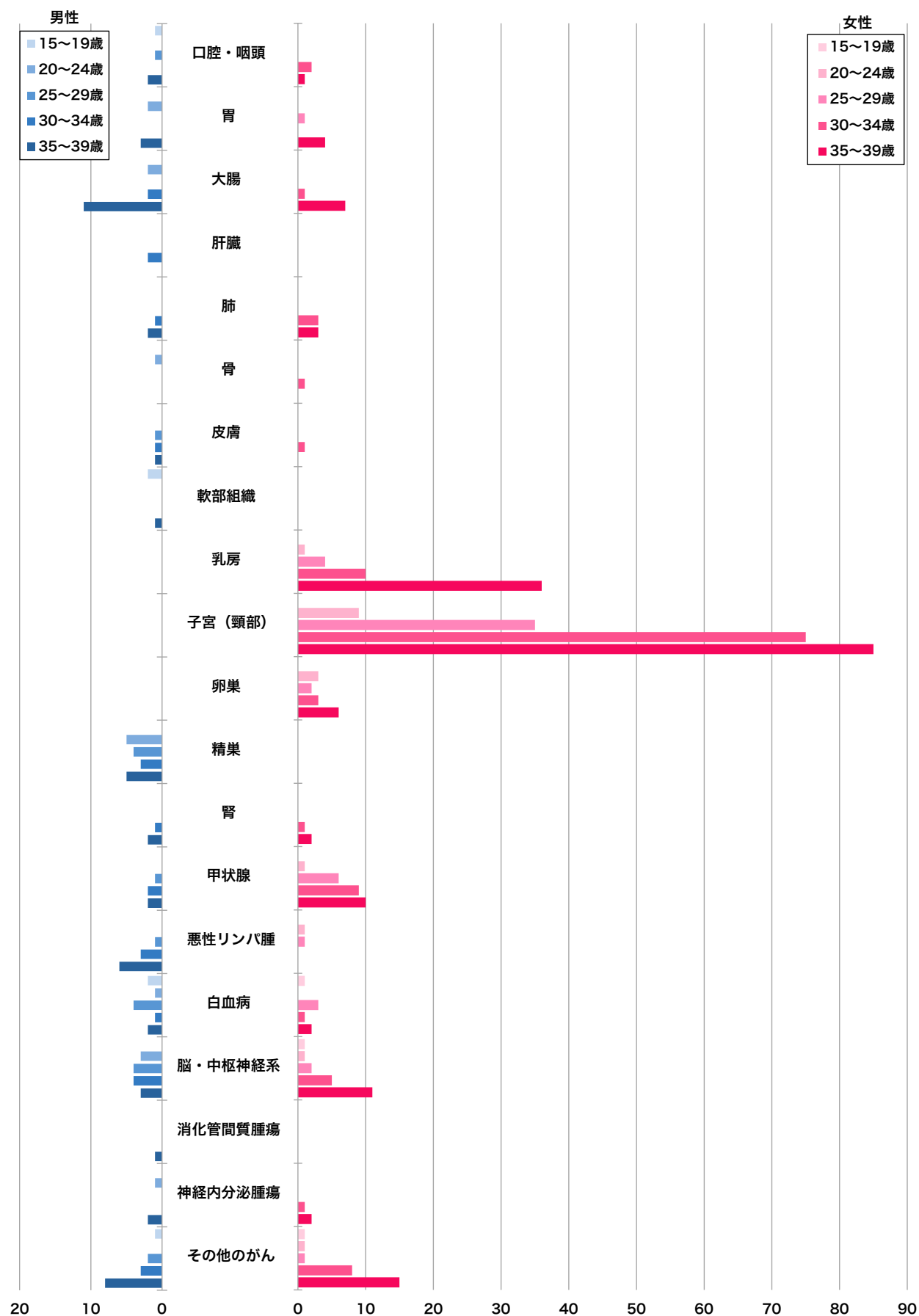


小児・AYA 世代

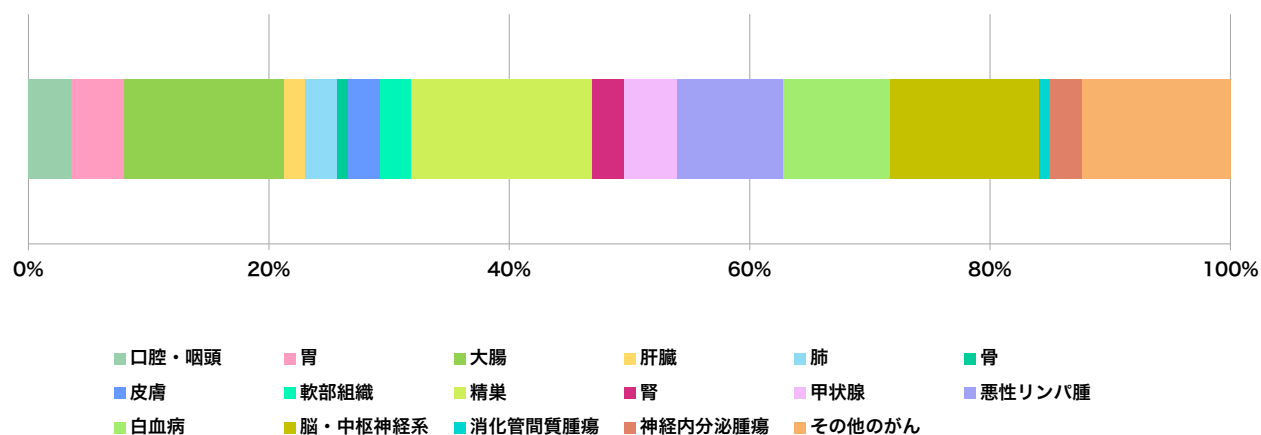
小児・AYA 世代 年齢階級別



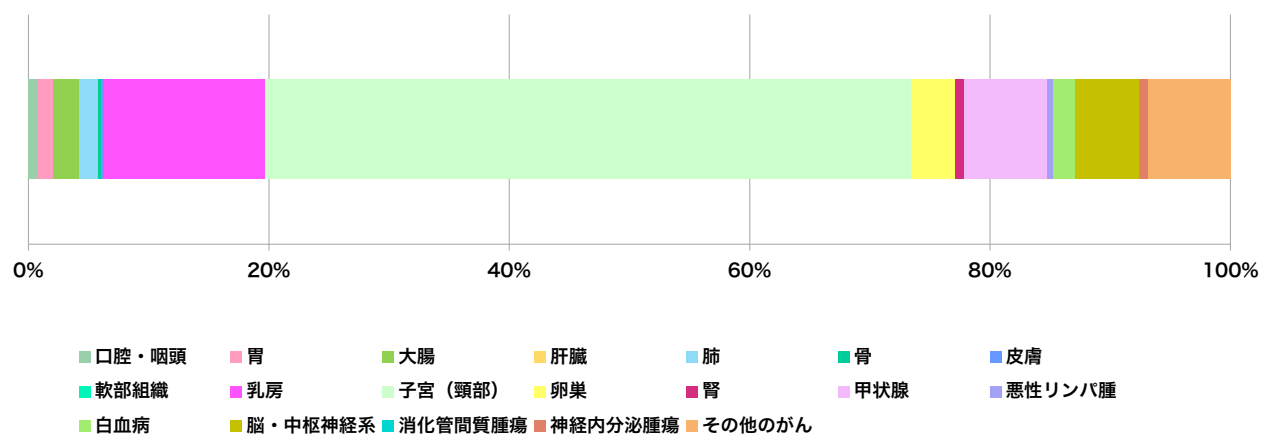
AYA世代 性別 部位別 年齢階級別集計



AYA 世代 男性 部位別割合

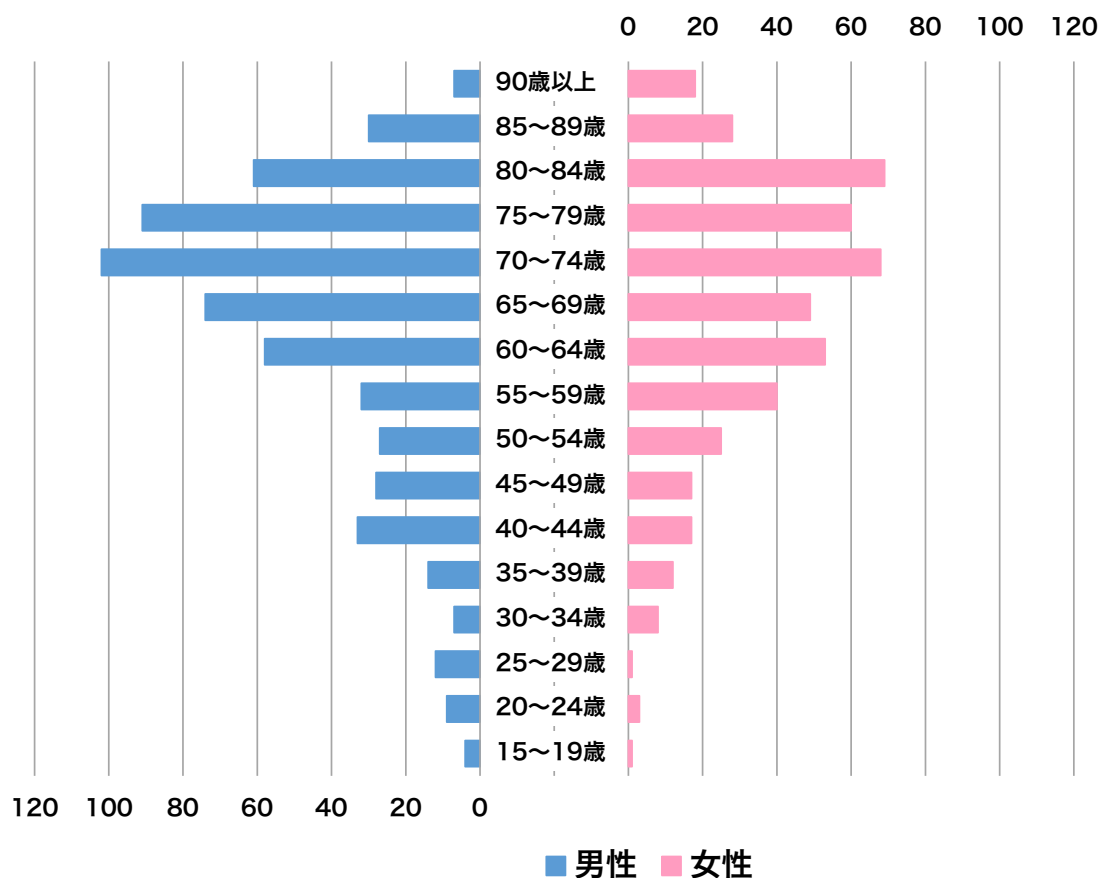


AYA 世代 女性 部位別割合

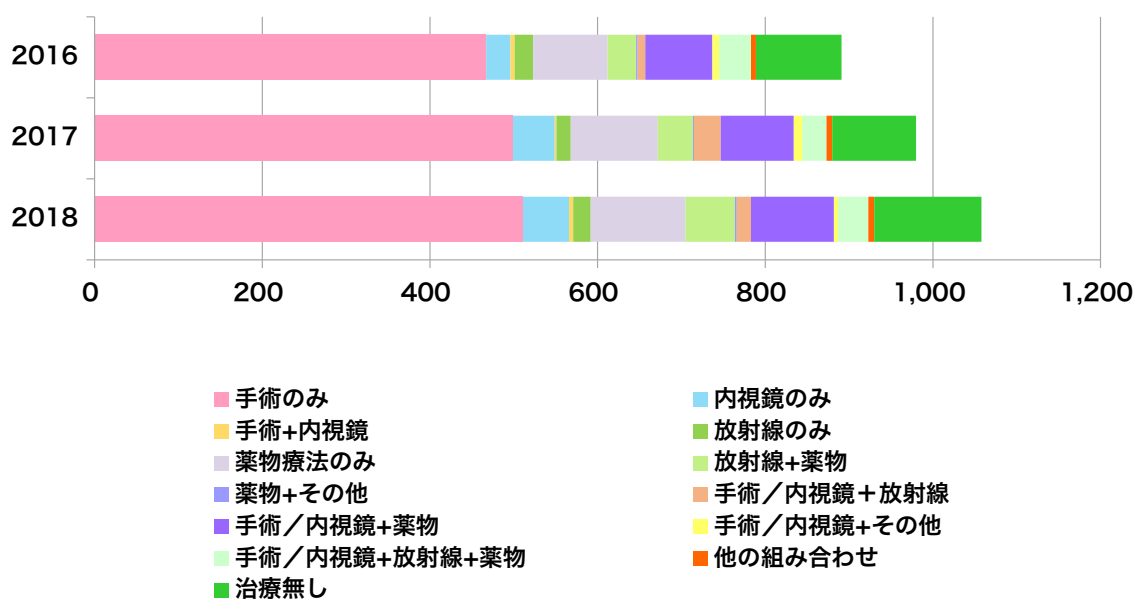


希少がん

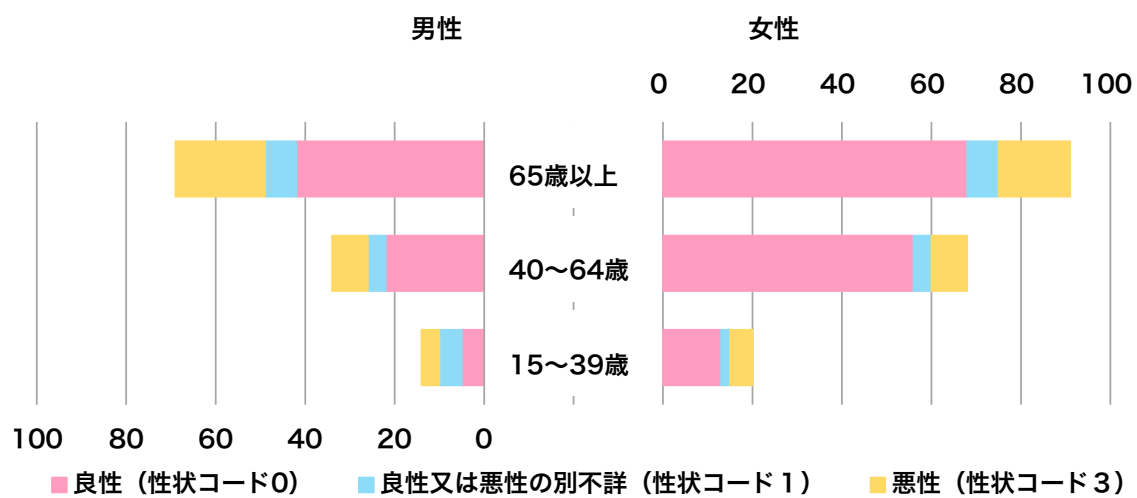
希少がん 年齢階級別



希少がん 初回治療法 年次推移



希少がん 脳・中枢神経 年齢 性別 良悪



発 行 岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

発行日 2021 年 3 月

本報告書に関する問合せ先

岡山県がん診療連携協議会事務局 岡山大学病院医事課

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

電話 086-235-7072

印 刷 友野印刷株式会社